



令和 4 年 5 月 6 日

一般社団法人高知県建設業協会 会長 殿

高知労働局労働基準部健康安全課長

建設工事等におけるガスパ이프損傷による労働災害の防止について

標記については、労働安全衛生規則（昭和 47 年労働省令第 32 号、以下「安衛則」という。）第 355 条に基づき地山の掘削の作業を行う場合の作業箇所及びその周辺の地山についての埋設物等の有無及び状態の調査の実施等、事業者に対してガスパ이프損傷による労働者への危害を防止するための措置の実施が義務付けられており、また、平成 19 年 3 月 22 日付け基発第 0322002 号「建設業における総合的労働災害防止対策の推進について」により、改修工事において、作業計画にガス会社等への事前連絡等についても定めるよう指導しているところです。

今般、別添のとおり、昨年に引き続き経済産業省産業保安グループガス安全室より、建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止に関する事業者等への要請について協力依頼がありました。

つきましては、建設工事におけるガスパ이프損傷事故による労働災害を防止するため、貴協会会員に対し下記の事項について周知徹底してくださるようお願いいたします。

なお、経済産業省ホームページ（建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止について：https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2021/03/20210302-01.htm）に関連情報が掲載されていますので、ご参照ください。

記

1 くい打ち機等によるガス導管等の損壊の防止（安衛則第 194 条関係）

くい打ち機又はボーリングマシンを使用して作業を行う場合は、ガス導管等の有無及び状態を、当該ガス導管等を管理する者に確かめる等の方法により調査し、その結果に適応する措置を講じること。

2 ガスが存在するおそれのある配管の溶断等（安衛則第 285 条関係）

溶接、溶断その他火気を使用する作業又は火花を発するおそれのある作業を行う場合は、ガスが存在するおそれのある配管については、あらかじめ不活性ガス又は水を封入すること等により、爆発又は火災の防止のための措置を講じること。

3 地下作業場等（安衛則第 322 条関係）

可燃性ガスが発生するおそれのある地下作業場において作業を行う場合、又はガス導管からガスが発散するおそれのある場所において明り掘削の作業を行う場合は、爆発又は火災を防止するため、次に定める措置を講じること。

一 ガスの濃度を測定する者を指名し、その者に、毎日作業を開始する前及び当該ガスに関し異常を認めたときに、当該ガスが発生し、又は停滞するおそれがある場所について、当該ガスの濃度を測

定させること。

二 ガスの濃度が爆発下限界の値の三十パーセント以上であることを認めたときは、直ちに、労働者を安全な場所に退避させ、及び火気その他点火源となるおそれがあるものの使用を停止し、かつ、通風、換気等を行うこと。

4 地山の掘削の作業前の調査（安衛則第 355 条関係）

地山の掘削の作業を行う場合は、あらかじめ、作業箇所及びその周辺の地山について埋設物等の有無及び状態を、埋設物等の所有者又は管理者に対して照会し、その結果に応じた手順を定め、これにより作業を行うこと。

5 ガス管による危険の防止（安衛則第 362 条関係）

ガス管に近接する箇所で明り掘削によりガス管を露出させる作業を行う場合は、作業指揮者を指名して、その者の直接の指揮により、ガス管をつり防護、受け防護等により防護し、又は、あらかじめガス管を移設する等の措置を講じてから作業を行うこと。

6 掘削機械等の使用禁止（安衛則第 363 条関係）

明り掘削の作業を行なう場合において、掘削機械、積込機械及び運搬機械の使用によるガス導管等の損壊により労働者に危険を及ぼすおそれのある場合は、掘削機械等を使用しないこと。

7 改修工事における爆発防止（「建設業における総合的労働災害防止対策」関係）

改修工事における作業計画には、ガス会社への事前連絡等についても定め、これに基づく作業を徹底すること。

8 経済産業省からの要請に基づくガス管損傷事故の再発防止

- (1) 工事前には、ガス事業者には、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者には立会を求めること。
- (2) ガス事業者には照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- (3) ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- (4) 敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- (5) 工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者には連絡すること。
- (6) ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者には連絡すること。

経 済 産 業 省

令和 4 年 3 月 4 日

厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課建設安全対策室長 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長

建設工事等におけるガスパ이프損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木関係工事、建築関係工事、解体関係工事、上下水道関係工事その他工事をいう。以下同じ。）において、毎年ガスパ이프を損傷する等の事故が2019年から2021年の3年間で542件（その他の事故も含めた全事故件数：1,763件）発生しており、負傷者数は23名となっています。こうしたガス事業者以外の者（以下「建設工事等事業者」という。）によるガス事故は、全事故件数の約3割を占める状況が続いています。

最近の事故事例では、敷地内水道工事中にガスパ이프を電動工具にて損傷させ、漏えいしたガスに着火し作業員1名が負傷する事故（2021年8月）や、解体工事において、ガスパ이프を損傷して漏えいが発生していることに気づかず、鉄筋裁断のためにトーチバーナーを点火したところ、漏えいしたガスに着火し、作業員1名が負傷する事故（同11月）がありました。

建設工事等に起因する事故の主な原因としては、建設工事等事業者が、①ガスパ이프の存在を知らずに工事に着手した、②目的の配管と誤ってガスパ이프を切断した、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとして誤って着火させた、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火させた、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかった等、建設工事等事業者の確認ミス、作業ミス等となっています。

経済産業省では、このような建設工事等におけるガスパ이프損傷に起因する事故の発生防止の観点から、ガス業界と協力して建設工事等事業者に対する啓発や広報活動を進めているところです。

つきましては、このような建設工事等におけるガスパ이프損傷に起因する事故の発生防止の観点から、建設工事等事業者に対し、以下の要請をお願いします。

- ・ 建設工事等の前には、ガス事業者に対し、ガスパ이프の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、当該建設工事等にガス事業者が立会いを求めること。

- ・ ガス事業者へ照会して得られた情報は、現場の工事作業員全員に周知を行い、適切な工事作業が行われるようにすること。
- ・ ガス管が埋設されている付近では、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・ 敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部の浅い箇所が存在するケースが多いため、特に注意すること。
- ・ 建設工事等の際、ガス管又はガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者へ連絡すること。
- ・ ガスの臭いを感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者へ連絡すること。

(同封資料)

- ・ 参考資料 1 2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 2 2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 3 2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 4 建設工事等事業者向けパンフレット

(参考) 最近のガス事故及び建設工事等によるガス事故の件数等の推移

	2019年	2020年	2021年	計
ガス事故件数	644	541	578	1,763
うち、都市ガス	441	343	366	1,150
液化石油ガス	203	198	212	613
建設工事等によるガス事故件数	206	169	167	542
うち、都市ガス	148	115	105	368
液化石油ガス	58	54	62	174
うち、事前照会無し	173	156	131	460
建設工事等によるガス事故負傷者数	9	10	4	23

(経済産業省ガス安全室調べ)

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
1	1/8	東京都	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から、マンション駐輪場の工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、設備工事業者の作業員が、当該建物排水設備の改善工事に伴う排水管取り出し作業中に、コンクリート内に埋設されていた灯外内管（40mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。（未照会工事） なお、損傷箇所修復のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことで、当該建物内需要家30戸への供給支障が発生したものの。
2	1/10	福井県	エアコン取替作業	LPガス	0	共同住宅において、入居者よりガス臭がするとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、ガス漏えいを確認したため、供給を停止した。後日改めて調査したところ、屋外の未使用末端ガス栓が開放されており、ガス漏えいがあったことを確認した。 原因は、他工事業者がガスエアコンを電気エアコンに変更した際に、取外したガス栓の処理を適切に行っていなかったため、積雪荷重によりガス栓が開放され漏えいしたものと推定される。 なお、エアコンの変更工事について販売事業者への連絡はなかった。
3	1/11	兵庫県	電気工事	都市ガス	0	他工事業者（電柱工事業者）が舗装カッターで、本管管体（中庄、アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。供給支障（454戸・10時間43分）が発生するとともに、周辺道路（道路①車道：幅員7.5m、延長185.0m、道路①歩道：幅員1.6m、延長185.0m、道路②車道：幅員7.6m、延長50.0m、道路②歩道：幅員2.0m、延長50.0m）の交通規制（280分間）及び生徒の避難（30名・部活を切り上げ帰宅）が実施された。アダムスクランプ巻で修繕完了。
4	1/12	栃木県	整地作業	LPガス	0	一般住宅跡地の整備区画空地において、警察よりガス臭がする旨連絡を受けた保安機関が現場へ出動したところ、ガス臭を確認したため、集団供給元の容器収納庫及び供給管のガス栓を閉止し、供給中の31世帯のガス元栓を閉止した。その後、販売事業者が現場に出動し、整地区画のガス管表示杭付近を掘削し、導管から宅地内への引き込み部の供給管が損傷していることを確認したため、修繕工事及び気密試験を実施し、問題がないことを確認した後、供給を再開した。 原因は、整地作業業者が重機により供給管を破損させたものと推定される。 なお、販売事業者への事前連絡はなかった。
5	1/16	福島県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、消費者より庭先からガス臭がする旨連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、ガス臭を確認したことから、先日実施したとされる除染作業に伴う杭打ち及び掘削作業箇所を掘削したところ、ガス管に直径40mmの穴が空いていることを確認したため、応急措置及びガス管の交換作業を行った。 原因は、他工事業者（除染事業者）の掘削及び杭打ち作業によるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかった。
6	1/16	東京都	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から、重機でガス管を損傷したとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、敷地内の根切り工事中に埋設されていた灯外内管（50mm）を重機にて引っ掛けた際、供給管（50mm）が引っ張られたことで損傷したことを確認した。（未照会工事） なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：54.5m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
7	1/18	千葉県	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から通報があり出動したところ、敷地内でのカッター入れ作業中、誤って灯外内管を損傷し、漏出したガスがカッターから発生した火花により引火し、水道工事業者が砂をかけて消火したが、引火場所付近の物損はなかった。 同時に建物内部で火災が発生したが、灯外内管の損傷によりガスが漏出引火した事象と、建物火災との因果関係は不明であった。
8	1/20	大阪県	解体工事	LPガス	0	空地において、解体業者よりガス臭がするとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、ガス臭及びガス検知器の反応を確認したため、敷地内で破損した埋設配管の破損箇所を特定し、プラグ止めによる応急処置を行った。 原因は、解体業者が作業中に誤って重機で埋設配管を損傷させたもの。 なお、解体業者より事前連絡があったため、事故翌日に敷地内埋設管を取り除く予定であったが、解体業者が確認せず作業を行ったため事故が発生した。
9	1/21	鳥取県	解体工事	LPガス	0	解体中の一般住宅において、ガス臭に気付いた近隣住民より連絡を受けた解体業者が販売事業者に連絡し、販売事業者が現場に出動したところ、ガス臭及び漏えいを確認した。 原因は、解体業者が給水管撤去のため重機により地盤面下を掘削した際、誤って埋設供給管を損傷したものと推定される。 なお、給水管撤去後、埋設管を損傷したことに気付かず、掘削箇所を埋め戻していた。 また、販売事業者は他工事業者から事前連絡を受けており、その際に埋設管の位置を教えていたとのこと。
10	1/22	東京都	外構・門扉工事	都市ガス	0	消防から、ガス事業者へガスパ損傷現場への出動要請があった。 ガス事業者が出動したところ、建築工事業者の作業員が、当該住戸の門扉設置工事に伴うコンクリート研り作業時において、敷地内に埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：25mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。（末照会工事） また、消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：計259.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
11	1/23	大阪府	その他（仮囲い設置工事）	都市ガス	0	他工事業者（建築業者）が杭を抜こうとしたところ、本管管体（ポリエチレン管）に杭が刺さっていたためガスが漏えい。周辺道路（東西道路車道：幅員4.5m、延長100.0m、東西道路歩道：幅員4.2m、延長100.0m、南北道路車道：幅員2.7m、延長100.0m、南北道路歩道：幅員3.2m、延長100.0m）の交通規制が実施された（50分間）。金属テープシールにて仮修繕。
12	1/25	大阪府	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者（建築業者）がバックホーで、灯外内管継手部（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路車道：幅員3.0m、延長119.0m、東西道路歩道：幅員1.0m、延長119.0m）の交通規制が実施された（17分間）。支管取り出し部キャップ止めで修繕完了。
13	1/28	茨城県	掘削作業	LPガス	0	市道において、水道管入替工事のため重機で掘削していた水道工事業者が埋設供給管を破損し漏えいが発生した。 原因は、水道工事業者が入替工事の際、道路埋設物の有無を確認せず、また手掘りによる試験を行わず、掘削を重機で行ったことによるもの。 なお、工事発注者は受注者に道路埋設物の有無を確認するよう指示していなかったとのこと。 また、販売事業者においても、近隣一帯で水道管入替工事が実施されていることを認知した時点で工事業者や道路管理者に問い合わせるべきであったとのこと。

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
14	1/28	茨城県	排水管入替作業	LPガス	0	共同住宅において、排水管の入替作業の準備で土間コンクリートを切断中、誤って埋設供給管を損傷しガスが漏えいしている旨、水道工事業者より連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、全ての容器の容器バルブを閉止した。その後、掘削作業を開始し損傷箇所を特定し、完全復旧までの間、各世帯別に20kg容器を設置し点検及び調査後、仮復旧を行った。 原因は、前の週に水道工事業者から依頼があり、販売事業者がアイソメ図を提供していたが、埋設管の深さの記録が不正確であったため、土間コンクリートを切断中に埋設供給管を損傷したものの。
15	1/29	東京都	その他 (街路灯撤去)	都市ガス	0	街路灯工事会社より、ガスパを損傷したという通報を受け、ガス事業者が出動し調査を行ったところ、低圧不使用供給管が損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定した結果、付近道路約90mの範囲が交通規制となり、車輛の通行に支障をきたした。
16	2/3	東京都	基礎工事	都市ガス	0	建築工事の施工者より、新築工事中にガス臭気があるという通報を受け、ガス事業者が出動し調査を行ったところ、オーガーにて低圧支管が損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定した結果、付近道路約70mの範囲が交通規制となり、車輛の通行に支障をきたした。
17	2/12	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体業者)がバックホーで、灯外内管継手部(アスファルトジュート巻き鋼管)を破損し、ガスが漏えい。周辺住民の避難(2名・10分間)が実施された。破損箇所上流部にてプラグ止め完了。
18	2/16	山口県	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、漏水対応を行っていた水道工事業者が、水道管とガスパを誤って切断し、火災が発生した。 原因は、水道工事業者による供給管の誤切断によるもの。 なお、販売事業者は当該共同住宅の管理人に対し、工事の際は施工予定を連絡するよう周知文を依頼していたが、連絡はなかった。今回の工事は集合住宅の管理人ではなく、不動産会社が発注しており、当事者意識が薄かったため連絡を忘れていたとのこと。 また、水道工事業者が漏水に対応する際、供給管が水にぬれていたため、供給管を漏水している水道管と思い込んだとのこと。
19	2/18	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガスパを損傷したとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、建物基礎の解体作業をしていた際、敷地内に埋設されていた灯外内管(被覆鋼管:32mm)を重機にて損傷させたことでガスが漏出したことを確認した。(未照会工事) なお、本件は安全確保のため付近住民2名の避難誘導を実施したものの。
20	2/18	千葉県	整地・造成工事	都市ガス	0	消防から、ガス臭気現場への出動要請を受けた。 ガス事業者が出動したところ、造成工事現場の敷地内に埋設されていた灯外内管(被覆鋼管:25mm)が損傷しており、そこからガスが漏出していることを確認した。なお、その後の調査により、造成工事業者が日中の重機作業中において、損傷させたことを確認した。(未照会工事) また、本件は消防による安全確保のため警戒区域を設定し、付近道路(市道:49.4m)が規制されたことで、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
21	2/18	兵庫県	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(改装業者)がチッパーで、灯内内管管体(塩ビダイニング鋼管)を破損し、ガスが漏えい。周辺道路(東西道路歩道:幅員3.8m、延長6.0m)の交通規制が実施された(47分間)。破損箇所上流部にて切断プラグ止め完了。

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
22	2/19	東京都	駐車場等工事	都市ガス	0	舗装工事業者から、工事中に重機でガスパを傷つけたとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、舗装工事業者の作業員が、当該現場を駐車場とするためのアスファルト舗装工事中、敷地内に埋設されていた灯外内管（白管：32mm）を重機にて損傷したことを確認した。（未照会工事） また、本件は安全確保のため消防による警戒区域の設定により付近道路（区道：計117.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
23	2/19	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）がバックホウで、灯外内管管体（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員4.2m、延長15.0m、南北道路：幅員4.3m、延長30.0m）の交通規制が実施された（72分間）。破損箇所切断キャップ止め完了。
24	2/22	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者（建築業者）がバックホウで、灯外内管継手部（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員3.9m、延長120.0m、南北道路：幅員3.9m、延長90.0m）の交通規制が実施された（38分間）。破損箇所切断プラグ止め完了。
25	2/25	栃木県	解体工事	都市ガス	0	警察から、現場にてガス臭ありとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷しガスが漏えいしていた。復旧のため特定製造所出口のバルブを閉止したことにより団地内需要家69戸において供給支障となった。 原因は解体工事業者が日中に実施した建物解体の際に重機にてガスパを損傷させたことによるもの。地境の灯外内管継手部にプラグ止めを行い復旧済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
26	3/2	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガスパを損傷したとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、敷地内へのH鋼打ち込み作業を重機にて作業していた際、埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：30mm）を損傷させガスが漏出したことを確認した。（未照会工事） なお、本件は安全確保のため、消防による警戒区域の設定により付近道路（区道：100.0m）が規制されたことで、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
27	3/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、作業中に重機でガスパを引っ掛けたとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、建物基礎解体工事中に埋設されていた灯外内管（25mm）を重機にて引っ掛け損傷したことを確認した。（未照会工事） なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：109.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
28	3/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事現場にて非常にガス臭いとの通報を受付けた。ガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、建物の解体作業を重機にて行っていた際、敷地内に埋設されていた灯外内管（白管：25mm）を損傷し、ガスが漏出したことを確認した。 なお、本件は安全確保のため付近住民4名の避難誘導を実施したこと、並びに出動要請した消防による警戒区域の設定により付近道路（区道：53.0m）が規制されたことで、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
29	3/3	埼玉県	水道工事	都市ガス	0	水道工事会社より、集合住宅敷地内において受水槽向けに送水する水道管を埋設中に既設灯外内管のガスパ上部を掘削機にて損傷したとの通報がコールセンターに入る。直ちに保安係員2名が緊急出動し、損傷部のガス漏洩が確認されたため仮止め作業を行い、その後、損傷箇所の本修理を施工するため、58戸の保安閉栓を行ったもの。 本修理完了後、閉栓作業を開始し3月18日に全件閉栓完了。

2021年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
30	3/4	兵庫県	配管切断作業	LPガス	0	一般住宅において、リフォーム工事業者より、作業中にガスパ管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、配管が切断され、養生シートの一部に着火していたことを確認した。 原因は、リフォーム工事業者が、床下から立ち上がっているガスパ管を既に使用されていないものと思い込み、電動サンダーで切断したことによるもの。 なお、リフォーム工事業者はガス栓を切断する前にガス栓を瞬間的に開けたが、勢いよくガスが流れなかったため、使用していない配管であると思い込み、切断作業を行った。
31	3/5	山口県	水漏れ修理作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者から緊急時連絡業務委託先へ埋設管を損傷したとの連絡があり、そこから販売事業者に連絡があった。原因は、水道工事業者が埋設水道管水漏れ修理作業中に、配管を古い水道配管と誤認してグラインダーで配管を損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者は販売事業者に対し工事の事前連絡を行わなかった。 また、埋設配管については、埋設深さが30cmであり、また標識シートはなかったとのこと。
32	3/6	新潟県	駐車場等工事	都市ガス	0	3月6日、外構工事業者が駐車場整備のための整地作業中に、バックホーでガスパ管を損傷し、ガス臭がするとの通報がガス事業者に入る。ガス事業者社員が出動したところ、灯外内管25mmのねじ接続部の損傷及びガス漏えいを確認し、応急措置後、入替による復旧を行った。なお、当該工事は未照会工事であった。 3月16日、ガス事業者は三条市消防本部から連絡を受け、ガス事業者が現場到着前に、外構工事業者が漏えい箇所付近のコンクリートを電動研り機で折った際に着火し、車庫のシャッターの一部を焼損したことにより火災認定されたことを知り、報告が必要な事故と覚知した。
33	3/6	大阪府	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者（道路工事業者）がバックホーで、供給管継手部（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員9.0m、延長50.0m）の交通規制が実施された（27分間）。破損箇所取替修繕完了。
34	3/12	熊本県	建設工事	LPガス	0	分譲宅地区画において、空き区画にあった供給管よりガスが漏えいし、ガス切れが発生し供給圧力不足となり、各供給世帯のメーターが圧力低下遮断（BCP表示）した。 原因は、隣の空き区画で行われている建築工事用の置機や大型トラックにより、配管を覆う塩ビ管が踏まれ、中にあった配管が変形したことによるものと推定される。 なお、他工事業者からの事前連絡はなかった。
35	3/13	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者（道路工事業者）がバックホーで、支管継手部（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路①：幅員6.5m、延長30.0m、東西道路②：幅員3.8m、延長20.0m、南北道路：幅員4.5m、延長46.0m）の交通規制が実施された（92分間）。破損箇所両側切断プラグ止め完了。
36	3/14	愛知県	水道工事	都市ガス	0	一般住宅敷地内の給水工事にて、プレーカーにてハツリ作業中に灯外内管（30mm）を損傷してガスが漏えい。他工事業者にてガス噴出を止めたことを確認し、火気厳禁を要請。その後、プレーカーにてハツリ作業を再開したため、漏えいしたガスに着火し、需要家所有のプラスチック製バケツが一部溶解。当該工事業者のガス管に対する危険性の認識が甘く、ガス管位置・深さが曖昧なまま作業したため発生したもの。ガス事業者への事前照会無し。
37	3/15	東京都	下水工事	都市ガス	0	下水道工事会社より、カッター作業中にガス臭気があるとの通報を受け、ガス事業者が出動し調査を行ったところ、低圧供給管が損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定し付近住民8名の避難誘導を実施した。また、付近道路約43mの範囲が交通規制となり、車輛の通行に支障をきたした。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
38	3/17	宮崎県	電気工事	LPガス	0	介護施設において、電気工事業者より、コンセントの新設工事の際に壁内にあった配管用フレキシ管を誤って損傷し、ガスが漏えいしている旨、連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、容器バルブの閉止を行った後、周囲を換気するとともに火気及び電気機器の使用を禁止し、損傷した配管を撤去した。 原因は、電気工事業者が壁内の配管用フレキシ管の位置について事前確認を怠り、損傷させたもの。 (バルク貯槽 298kg×1基)
39	3/18	和歌山県	掘削作業	LPガス	0	公民館において、リフォーム工事業者が屋外に手すりを設置する工事中に電動ホールソーにて地盤面を掘削中、誤って配管を破損させ、ガスが漏えいした。 原因は、リフォーム工事業者が配管敷設位置を確認せず、土間に孔を開けたため発生したもの。なお、施設管理者及び工事業者から販売事業者に対して事前照会はなかった。
40	3/20	愛知県	その他 (需要家)	都市ガス	1	需要家が自宅の風呂改装作業時に、水道管と誤認した灯肉内管(20mm)をサンダーにて損傷しガスが漏えい。漏えいしたガスに着火し、作業を行っていた需要家本人1名が顔面と両手に軽度のやけどを負った。需要家が水道管と誤って灯肉内管を損傷したため発生したもの。
41	3/25	島根県	植木移設 作業	LPガス	0	一般住宅の敷地において、消費者から周辺がガス臭いとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し確認したところ、事故発生場所で植木の移設作業をしていた造園業者が重機により掘削中に埋設供給管を破断させ、ガスが漏えいしたことを確認したため、容器バルブを閉止して供給管の交換作業を行い、供給を再開させたもの。 なお、消費者から販売事業者に対し他工事に関する連絡はなかったとのこと。
42	3/29	山口県	下水改修 工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者が浄化槽から下水へ改修工事中に埋設供給管をコンクリートカッターにて損傷したため、他工事業者が容器バルブを閉止した。その後、販売事業者が現場に到着し、状況確認後復旧工事を行った。 なお、当日の朝、販売事業者が現場立会いによる事前打ち合わせをしていたが、施工時には立会いを行っていなかったとのこと。 また、埋設部の位置は確認したが想定より深度が浅く、コンクリートカッターにより損傷したとのこと。
43	4/5	福岡県	下水道工 事	LPガス	0	共同住宅の敷地内において、下水道の付け替え工事の際に設備工事業者がエンジンカッターにてコンクリート通路切断中、ガス管3箇所を切断しガスが漏えいしたもの。 設備工事業者は切断に気付かず工事を進めていたが、共同住宅の消費者より販売事業者がガスが止まったとの連絡があり、出動し現場を確認したところガスメーターが合計・増加流量オーバー遮断(C表示)を行っていた。 なお、他工事業者から事前連絡はなかった。
44	4/5	静岡県	電柱設置 工事	都市ガス	0	工事業者から仮設電柱を立てるため道路を掘削したところガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本管が損傷していた。その後、到着した消防が付近道路の交通規制を実施した。損傷部についてプラグ止めを行い仮設供給を実施。損傷部の修理については未定。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
45	4/7	栃木県	リフォーム工事	都市ガス	0	戸建住宅（現在空き家）において、建築リフォーム工事を実施していた。その際、灯外内管：プラスチック被覆鋼管 25mm（露出管）が外壁工事に妨げの為、電動サンダーにて損傷してしまい、ガスに引火し、壁の一部を焼損した。 当該現場には消防と警察が出動しており、周辺道路の交通規制を実施していた。 ガス事業者にて損傷箇所上流側でポリエチレン管 30mm キャップ止め応急措置を実施、安全確認後、交通規制解除。 なお、当該他工事業者からの事前照会はなかった。（未照会工事）
46	4/8	埼玉県	下水配管更新作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者による下水配管の更新工事に伴い、埋設下水配管の上層コンクリート面をコンクリートカッターで切断していたところ、埋設供給管を誤って損傷しガスが漏えいた。 なお、水道工事業者は事前に図面等により配管の埋設状況を確認しておらず、販売事業者への事前照会もなかったとのこと。
47	4/14	奈良県	下水工事	都市ガス	0	他工事業者（下水道業者）がカッターで、灯外内管管体（ポリエチレン被覆鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（幅員 4.0m、延長 210.0m）の交通規制が実施された（160分間）。破損箇所取替修繕完了。
48	4/16	兵庫県	水道工事	LPガス	0	集団供給の一般住宅（空き家）において、他工事業者が埋設管を破損したため、他工事業者が粘度で応急措置を行った。 原因は、水道工事業者が電動カッターで埋設管を切断したことによるもの。 なお、水道工事業者はオール電化住宅への建て替えのため、ガス配管が不要と思い込み撤去しようとしたもの。また、ガス配管はメーター立上り管があった箇所までプラグ止めされており、水道工事業者が確認を十分行っていないかった。
49	4/17	大阪府	設備工事	都市ガス	0	他工事業者（衛生設備工事業者）がコアドリルで、灯外内管管体（ポリエチレンライニング鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（南北道路歩道：幅員 1.5m、延長 35.0m、南北道路車道：幅員 7.0m、延長 35.0m、東西道路：幅員 10.0m、延長 55.0m）の交通規制（129分間）及び住民の避難（29名・129分間）が実施された。上流部にて切断プラグ止め完了。後日に本修繕実施予定。
50	4/20	島根県	オール電化切り替え作業	LPガス	0	一般住宅において、作業していた水道工事業者から埋設管を破損させた旨連絡を受けた販売事業者が現場に出動し確認したところ、オール電化切替作業の一環として工事を行っていた水道工事業者が敷地内掘削作業中に誤って工具を供給管に接触させ、供給管継手部埋設部を破断させたことを確認したため交換作業を行い、当日中に供給を再開させた。 なお、消費者がオール電化への切り替えを行う際、販売事業者への連絡を躊躇したため、連絡がないまま当該工事が進められたとのこと。
51	4/21	群馬県	防草シート施工工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者がこんろを使用したところ点火しないため、メーターの復帰操作を数回繰り返すが復帰しないことから、販売事業者へ連絡した。連絡を受けた販売事業者が現場に出動し再度復帰操作を繰り返すが改善しないため、容器バルブを閉止し、メーター下流における給湯器配管付近を確認したところ、防草シート固定用の杭が刺さっていることを確認したことから、販売事業者が配管を取り換え、復旧作業を完了した。 原因は、防草シート施工業者が施工の際に防草シート固定用の杭でメーター下流の給湯器用配管を刺したことによるものと推定される。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
52	4/22	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	設備工事業者から、ガス管を損傷したとの通報を受け付けた。ガス事業者が出動したところ、設備工事業者の作業員が当該建物地下1階の空き店舗へゴルフスクール用の練習ネットを張るアンカー打ちの際に、床下に配管されていたガス管（灯外内管：25mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。（未照会工事） また、安全確保のため消防へ出動要請を行うと共に、同建物1階店舗従業員等計6名の避難誘導を実施した。 なお、到着した消防により警戒区域が設定され（市道：計44.0m）車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
53	4/22	北海道	水道工事	都市ガス	0	水道工事にて施業者が機械掘削を行い、掘削範囲に埋設されていたガス管を折損した。他工事巡回員が臭気によるガス漏れ・ガス管折損を感知したため出動した。粘土による折損部の閉塞でガス噴出停止後、掘削箇所の拡張を行いテープ巻き修理を実施。その間消防にて交通規制を実施、緊急避難なし。水道工事業者が試掘した際、ガス管と近接していることは認識しながら掘削溝内に露出しないと思い込み、手掘りを行わず機械掘削を行ったことにより折損に至った。
54	4/23	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受け付けた。 ガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、新築工事に伴う土留め作業中に、敷地内に埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：25mm）を重機にて損傷させガスが漏出したことを確認した。（未照会工事） なお、本件は安全確保のため、消防による警戒区域の設定により付近道路（区道：30.0m）が規制されたことで、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
55	4/28	三重県	解体工事	LPガス	0	集団供給を行っている閉栓中の一般住宅において、解体工事業者よりガスメーターが設置されている付近でガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し確認したところ、敷地内に埋設された供給管からガスが漏えいしているのを確認した。テープ巻きで応急措置を実施し、その後スクイズオフ工法にてガス供給を遮断、プラグ止めを行った後、ガス検知器により周辺にガスに漏えいがないことを確認した。 原因は、解体作業のための足場組み立ての際、仮囲い用固定パイプにより埋設管を損傷したものと推定される。 なお、解体工事業者とは事前に敷地内への埋設管の経路、ガスメーターの位置、ガス管の注意杭などについて説明を現場で行っていたが、解体工事業者内で作業員への周知が不足していたため、仮囲い用固定パイプ打ち込み時に埋設管の確認が不足していたとのこと。
56	5/6	大阪府	その他（需要家）	都市ガス	0	需要家が洗濯機の排水管の工事をしていたところディスクグラインダーで、灯内内管管体（亜鉛めっき鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺住民の避難（4名・22分間）が実施された。破損箇所取替修繕完了。
57	5/11	栃木県	屋外給水配管工事	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が屋外給水配管工事中に、給水配管を基礎下部に固定するため穴を開けたところ、埋設供給管に接触したため、他工事業者がすぐに気付き容器バルブを閉止した。消費者から連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、容器バルブの閉止を確認した後、漏えい試験を実施するも供給管に孔があるため加圧できなかったことから、漏えい箇所を確認し露出供給管を引き直した。 なお、通常は、販売事業者は、消費者又は他工事業者より事前連絡や相談等を受けて立会いや作業を行っているが、今回は連絡等が無く、立会い等が出来なかったとのこと。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
58	5/11	山口県	排水工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が敷地内で排水工事を行うためアスファルト舗装をカッターで切断した際、埋設供給管を損傷させガスが漏れ出した。水道工事業者がすぐに気づき、ガスの供給を停止した。 なお、水道工事業者及びアパートの所有者から当該工事の事前連絡はなかったとのこと。
59	5/12	京都府	掘削作業	LPガス	0	集団供給区域内の一般住宅において、他工事業者が重機で植木を掘り起こす際に埋設供給管を損傷させたため、損傷部を木栓とテープで応急処置した。現場に到着した販売事業者が確認したところ、プラスチック被覆鋼管の折損を確認した。応急処置部からのガス漏れ及び滞留ガスがないことを確認した後、破損部を撤去し、供給管のプラグ止めを行い修繕を完了した。その後、復旧修理作業を行うため、20kg容器による仮設供給設備を設置した。 なお、他工事業者から販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
60	5/12	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事現場でガス臭気があるとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、新築工事に伴う地盤改良作業時において、当該敷地内に埋設されていた灯外内管（白管：25mm）を重機にて引っ掛け損傷し、また、その時に引っ張られた供給管（25mm）も接続部が損傷しガスが漏出したことを確認した。（未照会工事） なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による付近住民12名の避難誘導実施、並びに警戒区域の設定により付近道路（私道：計105m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
61	5/15	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）がバックホウで、灯外内管継手部（亜鉛めっき鋼管）を破損し、ガスが漏れ出した。周辺道路（東西道路歩道：幅員3.5m、延長50.0m）の交通規制が実施された（38分間）。本管取り出し部にてプラグ止め完了。
62	5/21	千葉県	掘削作業	LPガス	0	基礎のみを残した集団供給の一般住宅において、予定外の場所の基礎も破られていることを確認した。 原因は、基礎に沿って埋設されていたポリエチレン管が移動しており、継手による引き込み部分の工作部分も変形していたことから、解体工事業者が引き込み部付近の基礎の掘り作業を行った際、想定外の外圧が加わったことによる変形に耐え切れず、継手部分からガスが漏れ出したものと推定される。 また、当該漏れ箇所のパイプ継手部はエレクトロフュージョンによる接合場所であったことから、ポリエチレン管敷設時における接合が不完全であったため、外圧により接合部が割れ他のではないかと推定されたとのこと。
63	5/26	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中に重機でガス管を損傷したとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が建物解体工事中に敷地内に埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：25mm）を重機にて損傷させ、接続部からガスが漏出したことを確認した。（未照会工事） なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：47.6m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
64	5/28	東京都	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、ガス臭がするとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動し確認したところ、50kg容器5本中3本が空になっていた。 原因は、事故当日、土木工事業者が共同住宅の敷地内駐車場の掘削作業をしていたところ、埋設供給管の位置を確認しないまま作業を行い、誤って損傷させたことによるもの。 なお、漏れについては、次回配送予定日が6月13日であることから、3本全てが漏れにより空になったものではないと推定される。 なお、他工事業者からの事前連絡はなかったとのこと。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
65	5/29	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	通行人から工事現場付近でガス臭気ありとの通報を受け調査したところ、灯外内管管体破損に伴うガスの漏えいを確認。周辺道路（南北道路：幅員9.0m、延長140.0m、東西道路：幅員12.1m、延長127.0m）の交通規制が実施された（9分間）。取り出し部にて切断プラグ止め完了。原因調査中（他工事業者（建築工事業者）がバックホウで破損と推定）。
66	6/2	千葉県	解体工事	都市ガス	0	消防より、他工事施工者が建物解体中にガス管を損壊したとの通報を受けガス事業者が出動。 現場到着時、安全確保のため消防による付近道路の交通規制を確認。（幅員5.5m×長さ90m） ガス事業者にて、灯外内管の損壊箇所及び当該他工事施工者による応急止めを確認。 消防による安全確認完了後、交通規制解除。
67	6/2	兵庫県	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者（建築工事業者）がオーガで、支管管体（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路歩道：幅員3.8m、延長20.0m）の交通規制が実施された（31分間）。上流部にて切断プラグ止め完了。
68	6/7	福岡県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、都市ガス事業者より、他工事業者が当該事故住宅の隣の造成地にて掘削作業中、供給管に重機が接触したことによりガス漏れが発生したとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、直ちにガス供給を停止した。漏えい部を確認したところ、壁立下り部の露出供給管ねじ込み部が破損しており漏えいしていることが判明したため、破損部を仮設供給管にて補修対応し、気密試験及び漏えい試験を行ったが異常がなかったため、供給を再開した。 原因は、掘削部埋め戻しの際、重機先端のパケットが供給管に接触し、破損したものの。 なお、他工事業者からの事前連絡はなかったとのこと。
69	6/7	鳥取県	塗装作業	LPガス	0	共同住宅において、所有者より「給湯器から爆発音がした」と連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、給湯器前面パネルが変形しているのを確認した。原因は、外壁塗装工事業者により瞬間湯沸器の排気口が養生テープで覆われたことで排気不良を起こし、不着火を繰り返した際に滞留した未燃ガスに引火し小爆発したものと推定される。
70	6/9	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建築工事業者より、ガス管を損傷し着火した旨の通報があり出動したところ、現場到着時着火が確認されたため、引込管ガス遮断バルブを閉止し供給支障となった。原因は、リフォーム工事のため使用していた電動工具により灯外内管及び灯内内管が損傷し、灯外内管から漏出したガスに着火したものと推定。灯外内管を一部取替し復旧済み。 人損なし。火災認定あり。消防・警察出動あり。報道なし。
71	6/10	大阪府	下水工事	都市ガス	0	他工事業者（下水工事業者）がバックホウで、本管管体（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（南北道路①：幅員18.0m、延長22.0m、南北道路②歩道：幅員4.0、延長35.0m、東西道路①：幅員18.0m、延長22.0m、東西道路②：幅員8.0m、延長18.0m）の交通規制が実施された（14分間）。金属テープシール工法にて仮修繕。後日、本修繕。
72	6/15	埼玉県	防草シート施工作業	LPガス	0	一般住宅において、販売事業者がバルク貯槽の定期供給設備点検時に流量式微小漏えい警告表示を確認したためガス検知器を使用しバルク貯槽周りを調査したが、漏えい箇所が確認できなかった。消費者へ聞き取りを行ったところ、防草シート施工工事を行っていた消費者がいたため、当該消費者宅内で漏えいを調査したところ、防草シート施工時にシート固定用のピンが埋設供給管に刺さっており、漏えいしたことを確認したため、損傷箇所を交換し復旧した。 なお、他工事業者から販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。 (バルク貯槽 980kg×1基)

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
73	6/16	北海道	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	ガス事業者より、他工事でバーナーを使用し舗装を温め中、マンホールが飛んで爆発音がしたとの連絡があったとのホットラインを受けて出動した。他工事で道路陥没復旧工事中、40cm程度掘り下げた地点で原因がわからず、さらに下の地点に地盤の硬みがないか金テコにて確認した際にガスパを貫通させてしまいガスパを貫通させそのまま埋めてしまったものと思われる。支管撤去して修理完了。緊急避難80名程度。警察・消防出動あり。
74	6/17	神奈川県	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から、工事中にガスパを損傷したとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が、当該建物1階事務所の排水工事に伴う床コンクリートのコア抜き作業中、埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：25mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。 なお、損傷箇所修復のために当該建物の引込管ガス遮断装置を閉止したことで、当該建物内需要家71戸への供給支障が発生したもの。
75	6/18	大阪府	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者（カーポート設置業者）がコンクリートコアドリルで、灯外内管管体（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（南北道路：幅員3.0m、延長19.0m）の交通規制が実施された（40分間）。取替修繕完了。
76	6/23	埼玉県	エアコン撤去作業	LPガス	0	飲食店において、消費者よりガス漏れの連絡が入った。すでに消費者が容器バルブを閉栓していることを電話で確認後、販売事業者が現場に出動した。現場にて漏えい状況を確認したところ、エアコン撤去業者が取り外した2台目のガスエアコン室外機を道路へ移動させた際、LPガス配管立上り部にぶつかったため、配管が大きく動き、接続のネジ山部分が破損し、漏えいしたことを確認した。 原因は、エアコン撤去業者が取り外した室外機を移動中に、LPガス配管埋設部からの配管立上り部にぶつけ、配管が大きく動いたことにより接続のネジ山部分が破損したことによるもの。
77	6/24	岐阜県	解体作業	LPガス	0	集団供給の一般住宅において、取り壊し中に解体工事業者が配管を傷つけ、供給管の一部が断裂し、ガスが漏えいした。解体工事業者は漏えいに気付かず撤収し、近隣住民がガスの臭いとガス漏れの音に付き119番通報した。消防は販売事業者が到着するまで仮処置を実施し、その後到着した販売事業者が漏えいを停止させた。 原因は、解体工事業者が作業を誤ったもの。 なお、解体工事業者は解体を行う際に、販売事業者へ事前確認を行わなかったとのこと。
78	6/24	兵庫県	電気工事	都市ガス	0	簡易ガス団地において、他工事業者から電柱移設作業中にガスパを破損したとの通報を受けて調査した結果、本支管（PE管）からのガスの漏えいを確認。直近の本管バルブを閉止したため、供給支障（70戸・2時間）が発生した。本支管一部取替完了。
79	6/25	東京都	解体工事	都市ガス	0	近隣建物の従業員から、解体現場付近でガス臭いとの通報を受けた。ガス事業者が出動し調査したところ、当該敷地内に埋設されていた灯外内管（白管：32mm）の接続部からガスが漏えいしていること確認した。なお、その後の調査により、解体工事業者が日中の重機作業中において損傷させたことを確認した。 （未照会工事） ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請、並びに近隣住民1名の避難誘導を行った。また、到着した消防による近隣建物従業員26名（計27名）の避難誘導実施、並びに警戒区域の設定により付近道路（市道：127.7m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
80	6/26	福岡県	雨水路設置作業	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が雨水路の設置工事中、コンクリート部分にカッターを入れたところ、配管の一部に接触したことによりガスが漏えいした。他工事業者から連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、メーターガス栓及び容器バルブを閉止してガス止めを行い、漏えい箇所を確認した後、埋設配管損傷部を仮復旧し、供給を再開した。 なお、メーターは合計・増加流量オーバー遮断を行っていたとのこと。 また、工事実施前に施主及び他工事業者から販売事業者への事前連絡がなかったとのこと。
81	6/27	茨城県	その他（需要家）	都市ガス	0	消防から、ガス臭気現場への出動要請を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、お客様が敷地内に埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：30mm）をつるはしにて損傷させ、ガスが漏出していることを確認した。 なお、本件発生に伴い消防による警戒区域の設定により付近道路（市道：140.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
82	6/28	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者より、改修工事中ガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、広範囲に臭気があるため消防に出動を要請すると共に、当該建物店舗従業員の避難誘導を実施した。 原因は建物改修工事中に、油圧ピックにて灯外内管を損傷したものの、引込み管ガス遮断装置を閉止後、一部取替修理により復旧済み。人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
83	6/29	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体業者より、解体中の現場でガス漏れしているとの通報があり出動したところ、強い臭気あり供給管が引き抜かれている疑いがあるため、消防に出動を要請。到着した消防が現場周辺（道路含む）において警戒区域を設定し付近道路の交通が規制された。 原因は、敷地内解体工事中に建設機械にて灯外内管が引っ張られ、灯外内管及び供給管が損傷したものの、外面修理テープにより応急措置済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
84	6/30	京都府	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、建設工事業者より宅地内の掘削作業中にガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、ガス臭を確認したため、供給を停止し漏えい箇所の確認を行った。 原因は、建設工事業者の掘削作業により供給管が損傷したものの、 なお、工事の実施前に建設工事業者から販売事業者への連絡はなかった。 （バルク貯槽 485kg×2基）
85	6/30	埼玉県	コンクリート切断作業	LPガス	0	一般住宅において、消費者からメーターが復帰しないとの連絡を販売事業者が受け、消費者にメーター表示の確認と容器の閉栓を指示し、訪問する旨伝えた。販売事業者は現場到着後、工事のコンクリート切断部分で埋設配管が切断されていることを確認したため、営業所及び工事の担当者へ連絡した。 原因は、下水道工事業者がメーター横の建物隙まで土間コンクリート部を切断したことにより埋設配管を切断したことによるもの。 なお、販売事業者に対して下水道の繋ぎ変え工事が行われる旨の連絡がなく、消費者、下水道工事業者ともにガス配管の埋設箇所を把握していなかった。
86	7/2	兵庫県	水道工事	都市ガス	0	他工事業者（水道工事業者）がバックホウで、供給管継手部（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員5.5m、延長41.0m）の交通規制が実施された（95分間）。本管取り出し部プラグ止め完了。

2021年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
87	7/2	広島県	その他 (ガード パイプ設 置工事)	都市ガス	0	道路工事中にガードパイプを打設するために道路上から地中に穿孔を行っていたところガスパ管を損傷したとの通報を受け出動。 2次災害防止のため消防・警察にて車両交通規制(道路幅12m、延長270m)実施。 交通困難時間:35分(16:30~17:05)
88	7/6	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事会社から、敷地内解体工事中ガス臭いとの通報があり出動したところ、道路上排水溝にガス検知反応あり、臭気範囲が広範囲に及ぶことから消防に出動を要請。到着した消防が現場周辺(道路含む)において警戒区域を設定し、付近道路の交通が規制された。 原因は建設機械にて灯外内管を損傷したものの、支管上の供給管取出し部にてプラグ止めを行い復旧済み。 人損なし、消防・警察出動あり。報道なし。
89	7/7	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、基礎解体工事中にガスパ管を損傷したとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が、建物基礎解体工事中に、敷地内に埋設されていた灯外内管(被覆鋼管:25mm)を重機にて損傷させ、ガスが漏出したことを確認した。 なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路(区道及び私道:計50.2m)が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
90	7/8	愛媛県	穿孔作業	LPガス	0	共同住宅において、防蟻処理のため防蟻施工業者が共同住宅周囲のコンクリート地盤面をドリルにて約30cm穿孔した際、誤って埋設供給管を貫通させLPガスが漏えいした。漏えいに気付いた防蟻施工業者は容器バルブを閉止し、販売事業者へ連絡した。 連絡を受けて出動した販売事業者立ち合いの下、コンクリート地盤面の掘削作業を実施し、漏えい箇所を特定、復旧作業を完了させた。
91	7/8	埼玉県	土間工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が土間工事の際にカッター入れ作業で埋設配管を破損させたため、漏えいが発生した。 なお、漏えい量はマイコンメーターによって遮断されたため少量と推定されたとのこと。
92	7/10	東京都	電柱設置 工事	都市ガス	0	電柱設置工事会社より、ガス臭気があるとの通報を受け、ガス事業者が出動し調査を行ったところ、オーガーにより低圧供給管が損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定し付近道路約70mの範囲が交通規制となり、車両の通行に支障をきたした。
93	7/13	東京都	解体工事	都市ガス	0	東京消防庁から、ガス事業者へガスパ管損傷現場への出動要請通報があった。 ガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、建物の解体作業を重機にて行っていた際、敷地内に埋設されていた灯外内管(ポリエチレン管:30mm)を損傷させガスが漏出したことを確認した。(未照会工事) なお、本件は消防による安全確保のため警戒区域を設定し、付近道路(私道:計15.4m)が規制されたことで、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
94	7/16	東京都	その他 (ガード パイプ設 置工事)	都市ガス	0	ガス事業者協力企業員より、ガードパイプ設置工事会社からガスパ管を損傷したという申し出を受けたとの通報を受付。ガス事業者が出動し調査を行ったところ、低圧支管がオーガーにより損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定した結果、付近道路約320mの範囲が交通規制となり、車両の通行に支障をきたした。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
95	7/19	愛知県	土間コンクリート 研り作業	LPガス	0	一般住宅において、リフォーム工事業者が土間コンクリート研り作業中に埋設供給管に穴を開けたためガスが漏えいした。 原因は、リフォーム工事業者が埋設供給管を損傷したことによるもの。 また、他工事業者から販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
96	7/21	東京都	外構・門 扉工事	都市ガス	0	消防署より住宅新築の外構工事にてガス管損傷しガスが漏洩との連絡があり、現地に出勤。(未照会工事) ガス事業者到着時、警察による交通規制が実施されていた。調査の結果、灯外内管が損傷しガスが漏洩していた。 敷地境界付近にてスクイズ止め。PE管破損部33cmを切断し、ソケットを用いて再接続にて完了。
97	7/23	大阪府	その他 (需要 家)	都市ガス	0	土地管理者が草刈り機で、灯外内管管体(ポリエチレン管)を破損し、ガスが漏えい。周辺道路(南北道路:幅員4.5m、延長:90.0m、東西道路①:幅員6.0m、延長220.0m、東西道路②:幅員2.7m、延長10.0m、東西道路③:幅員4.0m、延長40.0m)の交通規制が実施された(53分間)。破損箇所一部取替完了。
98	7/24	埼玉県	給水管漏 水復旧作 業	LPガス	0	共同住宅において、遠隔監視よりメーター遮断を受信したため販売事業者が現場に出勤し確認したところ、給水管漏水復旧工事を行っていた水道工事業者が土間研り工事の際に埋設配管をハンマードリルで破損させたため漏えいしたことを確認した。 なお、販売事業者への事前連絡はなく、水道工事の際に、埋設配管に気付かず工事を進めたとのこと。 また、漏えい量はマイコンメーターによって遮断されたため少量と推定されるとのこと。
99	7/26	石川県	浴室リ フォーム 作業	LPガス	0	一般住宅において、浴室リフォームのためリフォーム工事業者による解体工事が行われていた際、供給管を損傷し、リフォーム工事業者が容器バルブを閉止した。 リフォーム工事業者から連絡を受けた販売事業者が現場に出勤し、損傷部分の修繕を行い、供給を再開した。 原因は工事時の注意不足によるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかった。
100	7/26	広島県	水道工事	都市ガス	0	敷地内水道工事でコンクリートを舗装カッター切断中、ガス管を破損した。ガス管を破損した付近を研った際に漏えいしたガスに着火した。消防により前面道路の交通規制を実施した。 交通困難時間:75分(10:33~11:48)規制区間(幅6m×延長50m(廿日市市道))
101	7/28	京都府	解体作業	LPガス	0	空き地において、外構工事業者より、家屋の解体工事で掘削作業をしていたところ、隣の空き地の埋設供給管を掘削機で破損したため、破損部を粘土とテープにて応急処置したとの連絡が販売事業者にあった。販売事業者は現場に出勤し、埋設供給管の破損及び外構工事業者による応急処置を確認した。破損部を調査し、応急処置部からの漏えい及び滞留ガスがない事を確認した。 なお、解体工事について販売事業者と外構工事業者で事前に打合せを行ったが、隣地の埋設管の情報提供はされていなかった。
102	7/28	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体業者)がバックホウで、灯外内管管体(ポリエチレン管)を破損し、ガスが漏えい。周辺道路(南北道路:幅員6.8m、延長266.0m、東西道路:幅員1.0m、延長27.1m)の交通規制が実施された(65分間)。破損箇所キャップ止め完了。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
103	8/1	東京都	その他 (需要家)	都市ガス	0	東京消防庁から、ガス事業者にガス管損傷現場へ出動要請の通報があった。 ガス事業者が出動したところ、お客様が当該建物の面格子取外しに伴う室内側での作業の際、建物内に露出配管されていた灯外内管（白管：32mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。（未照会工事） また、消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：47m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
104	8/3	愛知県	駐車場アスファルト打ち直し作業	LPガス	0	共同住宅において、販売事業者立ち合いの下、共同住宅の駐車場のアスファルト打ち直し工事を行っていたところ、コンクリートカッターの刃が埋設供給管に接触しガスが漏えいした。 すぐに元栓を閉止し供給を停止後、供給管の修繕を行い、漏えい試験及び気密試験にて異常がない事を確認し、供給を再開した。 なお、古い配管図面を基に配管敷設位置を確かめたが、細かい部分で不正確なところがあったとのこと。 また、供給を停止せずに作業を行ったとのこと。 さらに、土木工事業者との打合せが不十分であったとのこと。
105	8/3	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	設備工事業者から、給食室改修工事中にガス管を損傷したとの通報を受けた。ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が躯体の解体作業を行っていた際、敷地内に埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：80mm）を重機にて引っ掛け、その先の上流側灯外内管（白管：80mm）が引っ張られたことで接続部が損傷し、ガスが漏出していることを確認した。（未照会工事）
106	8/3	山口県	水道工事	都市ガス	0	水道給水管入替工事において敷地内でコンクリートカッターを施工中、ガス事業者が管理できていなかったガス管（灯外内管）切断に伴い、ガスが漏えいした。修理完了するまでの間、当該前面道路について警察により交通規制。
107	8/3	愛知県	下水工事	都市ガス	1	水道工事会社よりガス事業者へ連絡があり、需要家宅の下水道工事を行っている際にガス管（PE管）を損傷、ガスが漏えいし、引火したとのこと。直ちに消火したものの、ガス漏えいは継続（消防に通報）。ガス事業者社員が出動、粘土にてガス漏えい箇所を閉塞、その後テープ巻きにて応急措置。当日中にガス管損傷箇所の入替修理完了。人損・物損なしを確認済み。
108	8/5	東京都	水道工事	都市ガス	1	設備工事業者から、敷地内水道工事中にガス管を損傷し着火したとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が、当該建物の給水管入替工事に伴うコンクリート切断作業中に、敷地内に埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：25mm）を電動工具にて損傷させた際、漏出したガスに着火したことで火傷を負ったことを確認した。（未照会工事）また、工事業者にて、濡れたマットを被せて消火したことを確認した。
109	8/6	山梨県	水道工事	都市ガス	0	市水道課による耐震水道管入替工事に伴い、工事業者が公道部をバックホーで掘削していたところ、バケット先端部が本管（PE50A）に接触し損傷を受けた。現地に出勤したところ、管の損傷が激しいことから安全確保のため、特定製造所のガス遮断弁を閉止し、204戸が供給支障となった。
110	8/11	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス臭気がするとの通報がガス事業者にあった。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が建物基礎の解体作業を重機にて行っていた際、敷地内に埋設されていた灯外内管（白管：40mm）を損傷し、ガスが漏出したことを確認した。 なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により付近道路（区道：56.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
111	8/13	神奈川県	その他 (需要家)	都市ガス	0	横浜消防局から、ガス臭気現場への出動の要請を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、当該お客様宅の敷地内に埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：30mm）に損傷があり、そこからガスが漏出していることを確認した。（未照会工事） また、本件は消防による安全確保のため警戒区域を設定し、付近道路（市道：20.0m）が規制されたことで、車両及び住民の通行に支障をきたしたものの。
112	8/17	神奈川県	下水工事	都市ガス	0	下水道工事の施工者から、雨水管布設工事の施工中に誤ってガス管を損傷したとの通報を受けて出動。現地調査の結果、低圧本管が建設機械により損傷されていることを確認した。 一時的にガスが噴出、供給圧力が低下したことによりマイコンメーターが作動し、供給支障に至ったものの。
113	8/21	福岡県	解体作業	LPガス	0	集合供給範囲内の空き家の一般住宅において、集合供給の他の消費者より「ガスが使えない」との連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、集団供給上流の親メーターによりガスが遮断されていることを確認した。事故発生物件にて解体工事を行っていたので確認すると、重機により宅地内の供給管立上り部が折れ破損していたため、緊急の修繕工事を行い、供給を再開した。 原因は、解体工事業者により供給管が損傷したことによるものの。 なお、工事前に販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
114	8/23	神奈川県	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から、工事中に敷地内のガス管を損傷し着火したとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が水道メーター取替工事に伴うコンクリート研り作業中、灯外内管（被覆鋼管：25mm）を電動工具にて損傷した際に着火し、消火器にて消火済みであることを確認した。（未照会工事） また、安全確保のため消防による警戒区域の設定により付近道路（市道：110.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
115	8/26	鳥取県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者による敷地内下水道工事（掘削作業）中に、重機が埋設供給管に接触、破損しLPガスが漏えいした。 漏えい発覚後すぐにガス止めを行い、破損場所を復旧し、当日18時に復旧作業を完了した。 なお、現場での打合せは行っていたが、供給管付近は手掘りで作業するように指示するべきであったとのこと。
116	8/26	島根県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、7月12日、大雨により、裏山で土砂崩れが発生し、容器、調整器及びガスメーターが土砂で埋没した。 8月30日に土砂撤去作業が終了したため改めて確認したところ、回収した供給設備のうち、供給側容器のバルブ折損のほか、予備側容器と調整器の接続部折損を確認した。 後日、土砂撤去作業を行った土木工事業者に確認したところ、土砂撤去作業中、容器バルブ及び調整器に重機を接触させ、予備側容器からガスが漏えいしたため、土木工事業者の作業員が当該容器バルブを閉止し、漏えいを止めていたことが判明した。
117	8/31	奈良県	カーポート 新設	LPガス	0	一般住宅において、カーポートを新設していた他工事業者が、重機により誤って住宅敷地内の埋設管を損傷させLPガスが漏えいした。他工事業者から連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、漏えい状況を確認後、修繕作業を行った。 なお、事故後、当該一般住宅はオール電化に移行工事が行われたとのこと。 また、他工事業者から販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
118	9/4	千葉県	下水道工事	LPガス	0	一般住宅において、集中監視センターが合計・増加流量オーバー遮断の情報を受信したため、消費者へ電話連絡したところ、下水工事中に配管を切断したことを確認したため、容器バルブの閉栓及び安全を確認したうえで待機を依頼した。 原因は、他工事業者による配管の損傷。 コンクリート埋設部のカッター入れの際に埋設配管にもカッターを入れてしまったとのこと。 なお、消費者及び他工事業者から事前連絡はなかったとのこと。
119	9/5	東京都	その他（電線共同溝工事）	都市ガス	0	ガス事業者の他企業工事路線巡回員より、低圧バルブの放散管が損傷されたとの通報を受け、ガス事業者が出動し調査を行ったところ、電線共同溝工事の掘削時に、放散管が損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定し付近道路約50mの範囲が交通規制となり、車輛の通行に支障をきたした。
120	9/7	群馬県	伐採作業	LPガス	0	弁当店において、敷地内の立木を伐採するため夜間作業中であった伐採工事業者が地中の根を取り除く際、埋設配管を破損したためガスが漏えいしメーターにより遮断された。 連絡を受けた販売事業者は現地へ出動し修繕工事を行った。 なお、伐採工事業者は配管経路を確認しておらず、また事前調査の必要性も認識していなかったため、販売事業者への確認も行わずに作業を実施したとのこと。 また、定期供給設備点検時や訪問時等での周知、注意喚起が不足していたとのこと。 なお、弁当店は営業中であったが、ガスを使用しない販売可能な商品で閉店時間まで営業していたとのこと。
121	9/10	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者（総合建設業）がバックホウで、灯外内管継手部（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（南北道路：幅員3.6m、延長31.0m、東西道路①：幅員4.2m、延長125.0m、東西道路②：幅員3.4m、延長65.0m）の交通規制が実施された（44分間）。破損箇所上流にてプラグ止め完了。
122	9/11	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）がバックホウで、灯外内管継手部（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員12.0m、延長150.0m）の交通規制が実施された（54分間）。支管面にてプラグ止め完了。
123	9/15	愛知県	鉢植え植物の植え替え作業	LPガス	0	美容院において、従業員より、花壇掘り返し作業中に他工事業者が配管を破損させガスが漏えいしていると連絡を受けた販売事業者がガスの使用を止めさせた後、現場に出動し漏えい箇所を確認した。破損箇所の取り外し及び修復工事を行い施工完了後、漏えい試験を行い漏えいがないことを確認して供給を再開した。 原因は、他工事業者（外構施工業者）が鉢植え植物の植え替え作業のための掘り返し作業時にハンマードリルにより損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
124	9/16	愛知県	白蟻駆除作業	LPガス	0	共同住宅において、白蟻駆除業者が作業中にドリルで配管に穴を開け、容器バルブ等を閉止後、販売事業者へ連絡した。連絡を受けた販売事業者が出動し、漏えい箇所を確認し、仮設供給を設置後ポリエチレン管を一部入れ替えて修繕工事を完了させた。 原因は、白蟻駆除業者が駆除作業中に地面をドリルで穿孔したところ、供給管が穿孔箇所が存在していたため、それにより穴が空き漏えいしたものの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
125	9/21	東京都	解体作業	LPガス	0	以前集団供給にて供給されていた空き家の一般住宅において、解体作業中に解体工事業者が重機により敷地内に残存していた埋設供給管を破損させ、LPガスが漏えいした。 なお、一般住宅は以前オール電化への転換を行っており、その際、再度LPガスに切り替わる可能性もあることから、道路の埋設管より分岐した敷地内引き込み埋設部のバルブは開の状態のまま、ガスメーター下のバルブのみを閉状態としてガスメーターを撤去してプラグ止めを行っていた。 また、販売事業者への事前連絡はなく、解体工事業者は配管埋設位置の確認も行なっていなかった。
126	9/21	静岡県	建物改修・改修工事	都市ガス	0	消防署から直通電話「ガス漏れによる出動」報告により、緊急出動した。現場は鉄筋4階建の雑居ビルであり、ガス漏れ現場である1F店舗内で内装工事を実施していたリフォーム業者に話を聞いたところ「誤ってガス管を電動工具で折損してしまい、ガスが噴出した。あわてて消防に連絡した」とのことであった。現場到着時には、既にガス漏れはマイコンメーターの作動により遮断されていることを確認し、また警察により建物前の道路が交通規制され（市道200m幅員12m）、消防によりガス栓、電気の開止及び建物の入居者の避難誘導（8戸、5名）がされた。
127	9/22	千葉県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受付けた。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が、隣地との敷地境の支柱を撤去作業中、埋設されていた灯外内管（白管：25mm）を重機にて引っ掛けた際に損傷させ、その際に引っ張られた供給管（白管：25mm）の接続部からガスが漏出したことを確認した。 なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路（市道：72.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
128	9/24	福岡県	水道管入替作業	LPガス	0	複数の戸建住宅への集団供給を行っている小規模団地において、水道入替工事を行っている水道工事業者から、誤って重機で管を破損させたとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、埋設供給管が破損されていることを確認した。当該水道工事業者が応急処置（破損箇所テープ巻き）を実施しており、販売事業者は破損箇所を入れ替えて修繕を行った。 原因は、水道工事業者が道路の掘削作業中に重機によりガス管を破損したものの、 なお、水道工事業者とは事前に打合せを行い、工事現場周辺のガス管の埋設位置をマーキングして指示していたが、供給管の埋設深さを見誤って重機で掘削したことにより破損したとのこと。
129	9/25	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）がバックホウで、灯外内管管体（亜鉛めっき鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員3.8m、延長50.0m）の交通規制が実施された（5分間）。切断プラグ止め完了。
130	9/27	大阪府	下水工事	都市ガス	0	消防より「住民から道路でガス臭気。」で受付け、緊急出動。ガス事業者の保安要員が現場到着、供給管（32mmアスファルトジョイント巻鋼管）ねじ継手部の破損を確認。粘土・テープ巻きにて、応急措置実施。下流の2戸が、圧力低下によりマイコンメーターが遮断し、供給支障。破損箇所を取り替え、修繕完了。2戸開栓完了、復旧完了。消防にて警戒区域設定実施、警察にて下記の通り交通規制を実施。
131	10/2	兵庫県	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者（道路工事業者）が舗装カッターで、本管管体（鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員6.0m、延長80.0m）の交通規制が実施された（117分間）。金属テープシール工法にて修繕。後日、本修理予定。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
132	10/4	埼玉県	不明	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事業者が工事中に誤って埋設供給管を損傷しガスが漏えいした。下水道工事業者が容器バルブを閉止し、販売事業者へ連絡した。販売事業者は現場に出動し、容器バルブ閉止の状態でガスの臭い及びガス検知器での漏えいがないことを確認した。7世帯のうち6世帯入居中の共同住宅で当日中の修繕が困難な状態であるため、個別で仮設供給の旨、消費者へ説明を行った後、販売事業者は各戸のガスメーター入口手前より5kg容器と単段式調整器で仮設供給作業を行い、復旧作業を完了した。 後日、復旧工事を完了した。 なお、下水道工事業者から事前の通知や埋設管照会等はなかったとのこと。
133	10/4	京都府	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者（地盤調査業者）がボーリングマシーンで、灯外内管管体（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員6.0m、延長103.0m）の交通規制が実施された（27分間）。破損箇所取替修繕完了。
134	10/6	和歌山県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、外構工事業者が掘削作業中誤って埋設供給管を破損させガスが漏えいした。外構工事業者が応急処置を行い漏えいを止めた。その後、到着した販売事業者が改めて処置を行った。 なお、外構工事業者は工事箇所の供給管の埋設状況を確認せず、掘削作業を行ったとのこと。 また、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
135	10/7	鳥取県	解体作業	LPガス	0	土蔵解体中にガス漏れ発生との連絡を受けた販売事業者が現場に出動し確認したところ、埋設配管の損傷及びガスの漏えいを確認したため、漏えいを停止し、上流側埋設バルブを閉めて当該ガス供給ラインを閉止した。 なお、当該漏えい箇所においては、解体工事業者によりテープ巻き処置が施されており、漏えいの初期段階で漏えいが止まったものと推定されたとのこと。 また、解体工事業者は集団供給地区だとの認識がなく、事前連絡なしに作業を行ったとのこと。
136	10/8	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）がバックホウで、灯外内管管体（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員7.5m、延長50.0m）の交通規制が実施された（9分間）。破損箇所切断プラグ止め完了。
137	10/8	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）が大型破砕機で、供給管管体（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（南北道路：幅員7.0m、延長48.0m、東西道路：幅員4.0m、延長62.0m）の交通規制が実施された（15分間）。破損箇所切断キャップ止め完了。
138	10/12	兵庫県	浄化槽交換作業	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が庭で浄化槽交換工事のため地面コンクリート部を掘削した際に、埋設されていた供給管を破損し、ガスが漏えいした。ガスメーターによりガスが遮断され、同時に他工事業者が容器バルブを閉止した。連絡を受けた販売事業者が現地に到着し、供給管の破損状況等を確認後、復旧工事を行い、気密試験を実施し、漏えいがないことを確認して供給を再開した。 原因は、他工事業者が掘削工事実施部の埋設管の有無を確認しなかったことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
139	10/15	東京都	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	地盤改良工事業者から、ガス管を損傷したとの通報があった。ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が当該敷地内の地盤改良工事中に、埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：25mm）を重機にて損傷したことを確認した。 なお、ガス事業者は安全確保のため消防へ出動の要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：70.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。

2021年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
140	10/18	山口県	掘削	LPガス	0	市道において、電柱工事業者がボーリング掘削していたところ、戸建17戸に供給するため設置された市道を横断する埋設供給管を損傷させてしまいガスが漏えいした。 なお、電柱工事業者は都市ガス事業者には確認を行っていたが、販売事業者に対しては連絡がなく、LP関係の配管が埋設されているという認識はなかったとのこと。 また、消費者には他工事業者による工事の際には販売業者に連絡するよう周知していたが、敷地外の工事が影響するという認識がなかったため連絡がなかったとのこと。
141	10/23	東京都	解体工事	都市ガス	0	当該建物の管理会社から、解体工事中にガスパ管を損傷したとの通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が当該建物地下1階の店舗解体工事に伴うコンクリート研り中に、シンダー内に配管されていた灯外内管（白管：40mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。（末照会工事） なお、ガス事業者は安全確保のため消防への出動要請を行い、到着した消防による警戒区域の設定により、付近道路（区道：63.7m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
142	10/26	宮城県	リフォーム工事	都市ガス	0	閉栓中のマンションの1室でリフォーム工事中、灯外内管を電動工具（ディスクグラインダー）で切断したことによりガスが漏えいして着火し、隣接する水道管の保温材を焼損したものの、人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
143	10/27	千葉県	草刈り作業	LPガス	0	共同住宅において、植栽清掃業者が草刈をしていたところ、地面から立ち上がっていた配管用フレキ管を草刈り機で切断した。ガスメーターが合計・増加流量オーバー遮断を行い漏えいが停止した。集中監視システムにより漏えいを検知した。 なお、草刈りを行う連絡はあったが、その際、実施日時についての連絡はなかったとのこと。
144	10/29	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	消防からガス臭気ありとの通報を受け調査したところ、灯外内管管体（ポリエチレン管）の杭打ち（10年前頃に実施）による穴あきからのガスの漏えいを確認。周辺道路（東西道路：幅員6.0m、延長108.0m）の交通規制が実施された（27分間）。破損箇所取替修繕完了。
145	11/2	千葉県	下水工事	都市ガス	0	造成会社より下水道工事会社がガスパ管を損傷したとの通報を受け、ガス事業者が出動し調査を行ったところ、低圧バルブ本体に亀裂損傷があることを確認した。 ガス事業者の要請により出動した消防が安全確保のため警戒区域を設定した結果、付近道路約160mの範囲が交通規制となり、車両の通行に支障をきたした。
146	11/10	東京都	その他（需要家）	都市ガス	0	東京消防庁から、ガス事業者にガスパ管損傷現場へ出動要請の通報を受けた。 ガス事業者が出動したところ、お客様が敷地内に埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：30mm）を鋸にて損傷させ、ガスが漏出している状況を確認した。（末照会工事） また、消防による警戒区域の設定により、付近道路（私道：計160.0m）が規制され、車両及び住民の通行に支障をきたしていることを確認した。
147	11/17	和歌山県	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体業者）がバックホウで、灯外内管管体（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（南北道路：幅員8.0m、延長105.0m、東西道路：幅員6.0m、延長43.0m）の交通規制が実施された（9分間）。本管面にてプラグ止め完了。

2021年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
148	11/18	福島県	水道工事	都市ガス	0	水道工事事業者が事前照会なく、敷地を掘削し、埋設されているガスパ（灯外内管）をバックホウにて損傷させ、損傷部よりガスが漏えいし、対象の団地全40戸中閉栓中の34戸において供給支障が発生したもの。2時間40分後に本復旧完了。
149	11/20	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より、解体工事中に不明管が出てきてユンボにて引っ張ったらガスが噴出したとの通報を受け出動したところ、広範囲にガス臭気があるため消防に出動を要請。到着した消防が警戒区域を設定し付近道路の交通が規制された。支管上の取出し部にてプラグ止め修理済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
150	11/23	神奈川県	建物改修・改装工事	都市ガス	0	屋内改修工事業者より、ガスパを損傷し応急措置出来ず、メーターガス栓の位置も不明との通報があり、ガスパ損傷場所が地下1階であったため避難するよう依頼を実施。事業者到着時には他工事業者及びビル内の従業員が前面の歩道上に避難していた。 原因は室内解体作業中、解体したものガスパ上に落下し、損傷したことによるもの。ガスパを切断し復旧済み。 人損なし。消防・警察出動なし。報道なし。
151	11/24	埼玉県	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、外構工事業者より「新築物件、外構工事中に重機にてガスパを引っ掛けてしまいガスが漏えいしている」との連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、損傷箇所がタールと融着テープでガス漏えいを一時停止している状態だったため、スクイズオフにてガス止めを実施した。その後、漏えい箇所を撤去しポリエチレン管にプラグ止めを行い損傷箇所を修繕後、ガス検知器を使用しガス漏えいがないことを確認して復旧を完了した。 なお、埋設管の端部と埋設表示杭の距離は50mm程度だったが、他工事業者が掘削時に埋設配管を避けることが出来なかったとのこと。
152	11/26	大阪府	掘削作業	LPガス	1	小規模導管供給団地の解体作業現場において、住宅の解体工事業者が配管を引っかけてガスが漏えいした。解体工事業者はその漏えいに気付かず溶接のトーチバーナーを使用し、ガスに着火したため作業員が火傷を負ったもの。 原因は、LPガスの供給地域であったが後に都市ガスの配管が入り、解体工事業者は都市ガス配管のみの埋設と判断して撤去作業を行っていたが、LPガス配管が埋設されていることに気付かず掘削作業中にLPガス配管を損傷させたもの。その際ガスが漏えいしたにも関わらず、鉄筋切断の作業のため、トーチバーナーに点火したため、その火がガスに着火したものの。
153	11/27	大阪府	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者（建築工事業者）がバックホウで、供給管継手部（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員6.0m、延長70.0m）の交通規制が実施された（30分間）。破損箇所取替修繕完了。
154	11/29	大阪府	土木工事	都市ガス	0	他工事業者（側溝工事業者）がバックホウで、灯外内管管体（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。周辺道路（東西道路：幅員2.0m、延長85.0m）の交通規制が実施された（57分間）。破損箇所取替修繕完了。
155	11/29	大阪府	下水工事	都市ガス	0	他工事業者（下水工事業者）が電動チッパーで、支管管体（ポリエチレンライニング鋼管）を破損し、ガスが漏えいし着火。周辺道路（南北道路①：幅員5.4m、延長50.0m、南北道路②：幅員3.5m、延長15.0m、東西道路①：幅員5.4m、延長20.0m、東西道路②：幅員5.4m、延長20.0m）の交通規制が実施された（80分間）。人損なし。火災認定有り。支管にガスバック挿入しガスを応急遮断し消火、破損箇所取替修繕完了。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
156	11/29	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事会社作業員より、敷地内でガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、広範囲に臭気があることから消防に出動を要請。到着した消防が警戒区域を設定し付近道路の交通が規制された。 原因は解体作業中建設機械にて灯外内管を損傷したことによるもの。地境部にて切断プラグ止め修理済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
157	11/30	和歌山県	下水工事	都市ガス	0	解体工事会社作業員より、敷地内でガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、広範囲に臭気があることから消防に出動を要請。到着した消防が警戒区域を設定し付近道路の交通が規制された。 原因は解体作業中建設機械にて灯外内管を損傷したことによるもの。地境部にて切断プラグ止め修理済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
158	12/2	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事会社より、解体工事中ガス管を折損し着火したとの通報を受け出動したところ、消防にて警戒区域が設定され、現場付近の道路の交通が規制されていた。解体工事中、建設機械にて灯外内管を折損し漏れたガスに着火したもの。解体作業員にて消火器で消火し、物損はなかった。地境部にて切断キャップ止めを行い復旧済み。 火災認定なし。人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
159	12/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	東京消防庁より、1階のガス管から火が出ているとの通報を受け出動したところ、消防にて警戒区域が設定され、現場付近の道路の交通が規制されていた。解体工事中、建設機械にて灯外内管を折損し漏れたガスに着火したもの。物損被害はなし。灯外内管途中にて切断プラグ止めを行い復旧済み。 火災認定なし。人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
160	12/4	東京都	解体工事	都市ガス	0	建物オーナーより「ガス管から火が出ている。現在水をかけて消火中」との通報を受付、通報者へ消防への連絡を要請。 ガス事業者到着時、消防先着にて消火済み。 調査の結果、解体工事中、建設機械にて25mmプラスチック被覆鋼管灯外内管損傷漏れが判明。 灯外内管損傷箇所の上流側にて切断、プラグ止め。 千住消防佐藤大隊長より「漏洩ガスによる火災」「交通困難招来なし」との見解あり。
161	12/5	栃木県	換気口新設作業	LPガス	0	病院において、他工事業者より空調工事中に配管を切断してしまつたと連絡を受けた販売事業者が現場に出動後、ガスの供給を止め該当箇所を確認するとともに、空調工事業業の一時中止を指示した。 原因は、他工事業者にて空調工事（換気口新設作業）を行っており、天井点検口より配管等の経路確認をしつつ作業を進めていたとの事だが、内壁・外壁開口作業時に側面を見ておらず、配管に電動工具の刃が接触して切断されたものと推定される。
162	12/7	神奈川県	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者からマンホール付近でガス臭がするとの通報を受け出動したところ、マンホール付近で検知器反応があったことから、災害防止のため2カ所のバルブを閉止した結果、57戸が供給支障となった。 調査の結果、本管の継手部がズレて漏えいしており、水道工事に伴う道路の掘削、埋戻しによる土圧の影響と推定。 12月7日20キロボンベによる仮設を実施し、12月10日漏えい箇所の入替完了。人損なし。消防・警察出動なし。報道なし。
163	12/8	鹿児島県	排水接続作業	LPガス	0	一般住宅において、当該敷地内の排水接続工事中、重機を移動させる際に重機の一部が容器と接触し容器が損傷した。連絡を受けた販売事業者が現場に出動し損傷状況を確認したところ、損傷した容器のガスは全て無くなっていた。容器以外の設備に被害がないことを確認後、破損した容器を新しい容器に交換した。

2021年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
164	12/8	神奈川県	水道工事	都市ガス	0	他企業作業員より、水道工事時、掘削内にてガス臭気ありとの通報を受け出動したところ、ガスが噴出し広範囲にガス臭気があることから消防に出動を要請。到着した消防が現場周辺において警戒区域を設定し付近道路の交通が規制された。 原因は建設機械にてガス管が引っ掛けられ、支管継手部が抜けガスが噴出したもの。外面修理テープにより応急措置済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
165	12/14	広島県	水道工事	LPガス	0	その他店舗において、集中監視センターにメーター遮断の連絡が入ったことにより連絡を受けた販売事業者が現場に出動し確認したところ、配管が損傷していることを確認したため復旧作業を実施し、気密試験を行い作業を完了した。 原因は、他工事業者が水道管と間違えて配管を電動カッターにより切断したことによるもの。 なお、他工事業者からの事前連絡はなかったとのこと。
166	12/20	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	工事業者より新築工事時非常に臭いとの通報があり出動したところ、強い臭気あり消防に出動を要請。到着した消防が警戒区域を設定し、付近住民の避難及び交通規制を実施した。 原因は、新築工事施工時、建設機械にて不使用灯外内管が引っ張られ供給管部分より損傷し漏えいしたもの。本管上の供給管取出し部プラグ止めにより復旧済み。 人損なし。消防・警察出動あり。報道なし。
167	12/23	千葉県	水道工事	都市ガス	0	工事業者から雨水マンホール敷設工事の際、本管を折損した旨の通報があり、現地での応急措置後に近隣の需要家よりマイコン作動の申し出があった。調査の結果35戸が供給支障となっていた。 原因は他工事による本管折損により、ガス供給圧力が低下したことによるものと推定。損傷箇所の入替修理を行うとともに、開栓巡回完了。 人損なし。消防・警察出動なし。報道なし。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
1	1/6	大阪府	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「増改築工事業者より道路工事中、ガス管に3cmほどの穴を開けた。手当なし。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管（32mmポリエチレン管）の継手部の破損を確認した。 原因は、増改築工事時に、ディスクグラインダーにてコンクリートを切断中、誤って灯外内管を破損したものと推定される。 なお、増改築工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し、配管工事にて復旧完了。
2	1/7	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、ガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、当該敷地内管の建物基礎解体作業中に、敷地内に埋設されていたガス管（灯外内管：25mm）の接続部を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、元請け業者の建設工事業者から解体工事業者の作業員に、ガス管位置についての引継ぎが適切になされていなかったことから、ガス管があることを認識してはいたが、作業範囲内にはないものと思い、作業した結果重機にてガス管を損傷したものの。
3	1/8	鳥取県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体業者より作業中にガスの配管を折損した旨の連絡を受け、販売事業者が現場へ出動し補修作業を行った。 原因は、解体業者が作業中重機により立ち上がり配管を折損させたことによるもの。 なお、解体事業者は販売事業者に事前の確認と連絡を行わなかった。 （バルク貯槽 980kg×1基）
4	1/11	千葉県	水道工事	都市ガス	0	他工事施工者より、建物の給水管工事に伴いコンクリートへカッター入れ作業において誤ってガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該建物の灯外内管の損傷を確認した。 原因は、水道工事施工者が、工事範囲にガス管がないと思い込みガス管の位置を確認をせず、カッター入れ作業を行ったため。
5	1/11	東京都	解体工事	都市ガス	0	当該住所付近を通行されていた方から、道路上でガスの臭気を感じたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者が建物及び基礎の解体作業中に、敷地内に埋設されていたガス管（灯外内管32mm）を重機にて引っ掛けたことで、ガス供給管が損傷したことを確認した。 原因は、敷地内の建物及び基礎の解体作業範囲内にはガス管が埋設されていないと思い込んでガス管の位置を確認をせず作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
6	1/11	千葉県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管（25mm）を重機にて損傷させた際、供給管（25mm）が引っ張られたことで接続部より抜けたことを確認した。 原因は、元請け業者の建設工事業者から解体工事業者の作業員に、ガス管の位置についての引継ぎが適切になされていなかったことから、ガス管があることを認識してはいたが、作業範囲内にはないものと思い、作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
7	1/14	埼玉県	水道管切断工事	LPガス	1	特別養護老人ホームにおいて、水道設備業者から工事を請け負っている解体業者がガス給湯設備の給水管を撤去する際、誤って電動カッターでガス配管2か所を切断したことにより漏えい火災が発生し、作業員1名が軽度の火傷を負った。また、発火した炎により給湯器2台が一部焼損した。 原因は、解体業者が給水管と並列している配管がガス配管であることに認識がなく、切断を続けたところ、2回目の切断で電動カッターの火花に漏えいしたガスが引火したものの。 なお、事故当日に販売事業者が作業員全員に注意喚起を実施していた。 (バルク貯槽 985kg×1基)
8	1/14	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中に地盤沈下しガスの臭気があるとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該敷地内の建物基礎等の解体作業中に、廃材等の重みにより地盤が崩れ敷地内に埋設されていたガス管(灯外内管:40mm)が損傷したことを確認した。 原因は、敷地内にガスの通じたガス管の位置について認識していたため、ガス管を避けて作業を行っていたが、建物基礎等の廃材を敷地内の端へ寄せたところ、付近の地盤が崩れたことでガス管が損傷したもの。
9	1/15	秋田県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、設備工事業者による浄化槽設置作業中に埋設供給管を損傷させた旨の通報を消防が受け、消防から連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、供給設備の元バルブを閉止した。 原因は設備工事業者がバックホーにより掘削作業を行ったところ、誤って供給管を損傷させ、漏えいしたことによるもの。 なお、設備工事業者は埋設供給管の状況を確認せず作業を行ったとのこと。
10	1/22	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者から作業中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を販売事業者が受け、当該水道工事業者にバルブを閉止するよう指示し、その後、現場へ出動し補修作業を行った。 原因は、水道工事業者が給水管の掘削作業中に、ハンマードリルにより誤って埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者より販売事業者に事前の連絡はなかった。
11	1/23	兵庫県	解体作業	LPガス	0	一般住宅において、解体工事中に埋設供給管(25A)を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、シールテープによる応急処置及び修繕作業を行った。 原因は、解体工事業者が工事中に埋設管の位置を十分確認せずに、重機により損傷させ漏えいしたことによるもの。 なお、当該住宅は解体工事後オール電化住宅に切り替わる予定で1月11日にガス取引解約に伴い、埋設管を宅地内に導管切除していた。
12	1/28	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「屋外臭気。」で受付けガス事業者が出動したところ、解体工事現場よりガス臭気反応を確認。灯外内管(25mm防食テープ巻きされた白管:不使用管)のねじ継手部の破損を確認した。 不使用管につき、破損箇所上流側で切断プラグ止めを実施し、復旧完了。 原因は、擁壁取壊し中、掘削機(バックホウ)にて誤って灯外内管を破損したもの。

2020年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
13	1/31	愛知県	整地・造成工事	都市ガス	0	市営住宅の建替えに伴う造成工事において、下水管撤去工事中に灯外内管を損傷。ガス導管内の圧力が一時的に低下したことにより、周辺の需要家のガスメーターの遮断機能が作動し、38件が供給支障となったもの。 原因は、他工事に伴う事前立会の際、ガス事業者の担当者が、他工事施工者に対し、既設ガス導管の撤去状況を誤って伝達した（撤去未実施であったが実施済みと伝達した）ため、ガス導管は撤去済みと認識し、重機にて掘削を行ったため、ガス導管の損傷に至ったもの。
14	2/3	愛知県	下水工事	都市ガス	0	マンションの下水管入替工事にて地中梁をブレーカーで研っていたところ灯外内管を損傷。漏えいしたガスを停止するため、引込管ガス遮断装置を閉止し、同マンションの3棟153戸が供給停止となった。 原因は、下水管施工業者が、ガス管は地中梁より深い位置に埋設しているものと思い込んでおり、事前の照会を実施しないまま研り作業を行ったため、ガス管の損傷に至ったもの。
15	2/4	京都府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体作業中、ガス管を破損した。」で受け付けガス事業者が出動したところ、敷地内で整地作業中に灯外内管（32mm塩化ビニルライニング鋼管：不使用不明管）を引き抜いたため、供給管（32mm塩化ビニルライニング鋼管：不使用不明管）が破損したことを確認した。 原因は、解体工事後の整地作業中にバックホウにて灯外内管を引き抜いたため供給管のねじ継手部を破損したものの、不使用管につき、破損箇所上流側にて1切断プラグ止めを実施し、復旧完了。
16	2/5	神奈川県	解体作業	LPガス	0	事務所兼家屋（ショールームスペース）において、リフォーム工事業者から解体作業中にガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が、ガス栓や容器バルブを閉止するように伝え現場へ出動したところ、ガスメーターに合計・増加流量オーバー遮断がされており、漏えい箇所を確認した。 原因は、リフォーム工事業者が当該建物の解体作業中に、ガスファンヒーター用の配管用フレキ管（10A）を損傷させたことによるもの。
17	2/7	兵庫県	水道工事	都市ガス	0	ガス事業者他工事担当者より「掘削時にバックホウでガス管を破損。ガス管が元から抜けており、手当てできず。」で受け付けガス事業者が出動したところ、破損箇所周辺で滞留ガスを確認した。また、ポータブルファンにて強制排出、常時監視を実施。破損箇所上流側で掘削し、供給管（32mm塩化ビニルライニング鋼管：不使用不明管）継手部の折損を確認した。 原因は、水道工事中、バックホウにて供給管を破損したものの、不使用管につき本管取出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
18	2/8	岐阜県	穴開け作業	LPガス	0	リサイクル工場において、水道工事業者が室内で壁の穴開け作業を行っている際、室外側にある50kg容器2本のうち1本に誤ってドリルで穴を開けてしまいガスが漏えいした。
19	2/10	群馬県	その他（需要家）	都市ガス	0	需要家から、畑において枯草等の焼却をしていたら、ガス管に火がついたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該現場敷地内の畑にて着火事象を確認したため、消火器により消火の措置を実施。 また、ガス管（灯外内管：25mm）が損傷しており、そこからガスが漏出していることを確認した。 原因は、需要家にて敷地内の畑を耕す作業の際に、耕運機にてガス管を損傷させた可能性があり、事故発生日、当該現場敷地内の畑で枯草等の焼却をしていた火が、損傷していたガス管から漏出したガスに着火したものと推定。損傷箇所の上流側での切断措置完了。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
20	2/12	宮城県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅の空き家（集団供給）において、解体工事業者より作業中にガス臭がする旨の連絡を販売事業者が受け、現場へ出動したところ、集団供給の枝管立ち上がり部が折損していることを確認した。 原因は、既に閉栓済みの空き家を解体工事業者が解体する際、重機により埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、解体工事業者は供給配管が埋設されていることを確認せず掘削作業を行ったとのこと。
21	2/19	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「側溝工事作業中、ガス管を引き抜いて、噴出している。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管（25mm亜鉛引き鋼管：防食テープ巻き：不使用管）継手部の破損を確認した。 原因は、地工事業者が側溝整地作業中、バックホウにて灯外内管のねじ継手部を破損したものと推定される。 なお、整地工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所上流側でプラグ止めを実施し、復旧完了。
22	2/19	大阪府	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中、バックホウにて25mmのガス管を曲損した。」で受付けガス事業者が出動したところ、供給管（25mm塩化ビニルライニング鋼管）の曲損を確認すれど、漏れ箇所特定できず。破損箇所へガスバック挿入し供給遮断を行い応急措置を完了した。 原因は、水道工事業者が、引込管工事時バックホウにて道路掘削中に、供給管のねじ継手部を破損したものの。 なお、水道工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所を一部取替え、復旧完了。
23	2/21	東京都	解体工事	都市ガス	1	設備工事業者から、ガス管を損傷し着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、設備工事業者より依頼を受けた解体工事業者の作業員が、当該建物内の改修工事中に灯外内管（32mm）を電動工具にて切断した際に着火し、火傷を負ったことを確認した。 原因は、当該建物内の改修工事作業範囲内にガス管があることを確認していたものの、ガスの通じたガス管ではないものと思い、電動工具にてガス管を切断した結果、着火・火傷した。また、引き込み管ガス遮断バルブを閉止したことで供給遮断も発生。
24	2/24	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「家屋の解体時に、掘削していると臭気。」で受付けガス事業者が出動したところ、官民境界の敷地側の灯外内管（25mmアスファルトジュート巻鋼管：不使用不明管）のねじ継手部の折損を確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内をバックホウにて掘削中に、灯外内管を破損したものと推定される。不使用管につき、支管面取り出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
25	2/24	大阪府	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	消防から「給湯器が異常着火し、機器が焼損。」で受付けガス事業者が出動したところ、屋外設置の給湯器本体及び周辺物の焼損（火災認定あり）及び当該給湯器行きのフレキ管の管体部を切断した形跡を確認した。 原因は、需要家が電動工具（電動のこぎり）で植木を伐採中に誤って灯内内管（20mmフレキ管）の管体部を破損しガスが漏れ、同時に給湯管も破損し、水が漏れたため機器が給湯使用状態と判断し、温水にすべく着火スパークが発生し、漏えいしたガスに引火し給湯器等の焼損に至ったものと推定される。 なお、需要家から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所上流側で切断・プラグ止めを実施し修繕完了。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
26	2/25	埼玉県	草刈り作業	LPガス	0	一般住宅において、消費者から給湯器周辺からガス臭がする旨の電話を受け、販売事業者が消費者に容器のバルブの閉止とメーターガス栓の閉止を依頼し現場へ出動した。現場で確認したところ、ガスメーターから給湯器へ向かっている配管用フレキシ管（15A）の被覆が破れ穴が開いているを確認し、修繕作業を行った。 原因は、消費者から依頼を受けた植栽業者が草刈りを行った際、誤って配管を損傷したことによるもの。
27	2/25	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅（集団供給）において、水道工事業者が住宅入口私道部の水道管の掘削工事中に誤って埋設供給管を損傷させたもの。水道工事業者は、応急措置を行い、販売事業者に通報し、到着した販売事業者が漏えい検査及び供給管の修繕作業を行い、復旧工事を完了した。 原因は、水道工事業者が供給管があることを確認せずに工事を行ったことによるもの。 なお、販売事業者は今回の工事に対応していたが、入口私道部の掘削工事に関しては把握していなかったとのこと。
28	2/26	新潟県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で地盤面を掘削したところ、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、解体工事業者が埋設供給管の存在を認知していなかったことによるもの。 なお、消費者は以前からガスを使用しておらず、縁切りされた供給管が住宅敷地内に埋設された状態だったとのこと。
29	2/28	大阪府	建物改修・改修工事	都市ガス	0	消防より「改築工事業者から小学校2階でガス管を切ってガス漏洩した。詳細不明、臭気の有無も不明。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯内内管（20mm亜鉛引き銅管：不使用管）の破損を確認した。 原因は、教室の改修工事に伴い床を研削している時に、電動ディスクグラインダにて誤って、灯内内管を破損したものと推定される。 なお、改修工事業者からガス事業者への事前協議はなし。不使用管につき、破損箇所上流側にて切断プラグ止めを実施し、復旧完了。
30	2/29	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管を破損し手当できず。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管（30mmポリエチレン管）破損箇所については消防にてテープ巻き実施済みを確認した。 原因は、敷地内基礎コンクリートを解体中に不使用の灯外内管を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、ガス事業者への事前協議は無し。破損箇所上流側で切断、キャップ止めを行い復旧完了。
31	3/2	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、当該建物地下1階店舗内の排水工事に伴うコア抜き作業中に、シンダー（スラブ）内に配管されていたガス管（灯外内管：40mm）を損傷したことを確認した。 原因は、事前にコア抜き箇所のレントゲン撮影を行い、ガス管が写っていなかったため、作業した結果、ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したもの。また、引込管ガス遮断バルブを閉止したことで、当該建物の供給支障が発生。
32	3/9	埼玉県	配水管修繕工事	LPガス	0	集合住宅において、水道工事業者から配水管修繕工事中に、ガス供給管を損傷させガスが漏えいした旨の連絡を受け、販売事業者は容器のバルブを閉止するよう指示し現場へ出動した。現場に到着し、集合住宅全世帯にガスの復旧作業を行う旨を周知し、損傷部のガス管の引き上げ等修繕作業を行った。 原因は、水道工事業者が作業中、誤って電動カッターで供給管を損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者は配水管修繕工事に関して、販売事業者へ事前連絡をしていなかったとのこと。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
33	3/9	茨城県	その他 (造園)	都市ガス	0	消防から、当該住宅の敷地内にてガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、造園会社の作業員が、当該住宅の庭内に防草シートを敷設する際のピン打ち込みにおいて、敷地内に埋設されていたガス管（灯内内管：20mm）を損傷したことを確認した。 原因は、当該住宅の庭内に防草シートを敷設する際、シートを押さえるピンを打ち込む箇所にガス管が埋設されているとは思わず、作業した結果、ガス管を損傷したものの。
34	3/12	東京都	解体工事	都市ガス	0	付近住民から、建物の解体工事現場よりガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体中の建物地下の天井に配管された灯外内管（25mm）の接続部からガスが漏れいしていることを確認した。 原因は、当該建物解体時の廃材等が1階床部に山積されたことで、その荷重が床部（地下天井付近に配管されていた灯外内管の接続部）に掛かり、ガス管が損傷したと推測される。
35	3/12	鳥取県	解体工事	都市ガス	0	家屋解体時に誤ってガス管を破損したが、気が付かず放置、同日午後9時前ごろ通行人がガス臭いことに気づき消防に通報。消防からの通報でガス事業者が出動し漏洩処理を実施した。 原因は、解体工事業者が建物にLP用のガスメーターが設置されており、都市ガスが埋設されていないと思い込んで、ガス管の位置を確認せず作業を実施したため。
36	3/15	千葉県	伐採作業	LPガス	0	保健福祉センターにおいて、施設担当者より、樹木を伐採したところ倒れた木がガス管を損傷させガスが漏れいしている旨の連絡を販売事業者が受け、現場に出動した。現場で確認したところ、地下埋設式バルク貯槽の液相配管より液が噴出し、周辺が白くなっており噴出箇所を目視できない状況であったため、消防隊に放水の協力を要請した。放水によりガスを拡散させ、プロテクター内の液取り出し弁を閉止し、倒れた樹木を撤去したところ、配管安全弁が元弁から外れていることを確認した。 原因は、他工事業者が地下埋設式バルブ貯槽付近の樹木伐採作業中に、倒れた木が配管安全弁の放出管を損傷させたことによるもの。 (バルク貯槽 2,900kg×1基)
37	3/15	埼玉県	切断作業	LPガス	0	学校において、教員よりガス配管が損傷しガスが漏れいしている旨の連絡を受けた保安機関が販売事業者と連絡し、連絡を受けた販売事業者は現場に出動し、漏れい箇所の確認及び修繕作業を行った。 原因は、水道工事業者が漏水復旧の作業中に水道管とガス管を誤って切断したことによるもの。 なお、工事に関して販売事業者への事前連絡がなかったとのこと。
38	3/19	新潟県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、建築業者が駐車場建築のため、土間コンクリート工事中に重機で地盤面を掘削したところ、誤って埋設供給管を損傷させ漏れいが発生した。 原因は、建築業者が埋設供給管の存在を認知していなかったことによるもの。 なお、消費者は以前からガスを使用しておらず、縁切りされた供給管が住宅敷地内に埋設された状態だったとのこと。
39	3/21	大阪府	解体作業	LPガス	0	保育園において、元請建設業者より給湯室の壁を解体中に天井壁が崩落し、ガス配管を折損させガスが漏れいしている旨の連絡を販売事業者が受け、現場に出動した。販売事業者は現場にてガス供給を停止させた。 原因は、保育園の校舎建て替え工事に伴い、旧園舎の解体工事作業中に誤って配管を折損させたことによるもの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
40	3/24	福岡県	外構撤去作業	LPガス	0	集団供給の戸建て住宅において、解体工事業者が外構撤去作業を行う際、重機で引き抜いた門柱が埋設供給管に転倒したことにより、立ち上がりネジ部が損傷しガスが漏えいした。 なお、販売事業者は工事前に解体事業者と打ち合わせを行い、供給管立ち上がり部のキャップ止め及びガス管の注意テープを貼付し、外構の撤去作業時には事前に連絡するようお願いしていたが、連絡せずに撤去作業を実施していたとのこと。
41	3/27	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が敷地内に埋設されていた灯外内管（40mm）を重機にて引っ掛けた際、供給管（50mm）が引っ張られたことで、接続部が損傷したことを確認した。 原因は、元請の解体工事業者から現場監督及び作業員にガス管の位置についての引継ぎが適切になされておらず、また、ガス管表示杭も見受けられないため、作業範囲にはガス管はないものと思い、作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
42	3/30	大阪府	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「基礎工事中、ガス管が出てきて掘削機で破壊。」で受付けガス事業者が出動したところ、引込み管遮断バルブ上流側にてガスを検知した。 原因は、基礎工事中、アースオーガにて敷地内を掘削していた際、灯外内管（100mmダクタイル鋳鉄管：不使用管）を破壊したものと推定される。 なお、建築工事業者から、ガス事業者への事前協議無し。不使用管にて本管取出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
43	3/31	岐阜県	斫り作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者より地面の斫り作業中に誤って埋設配管を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が現場に出動したところ、容器のバルブが閉められ、ガスメーターにて供給が遮断されていることを確認した。12時頃には破壊した埋設配管の埋め殺して露出配管を敷設し、復旧作業を完了した。 原因は、水道工事業者が工事中、削岩機により誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
44	4/1	宮城県	下水工事	都市ガス	3	当該建物における下水工事の作業員が、コンクリートカッターにより舗装切断作業を行っていたところ、誤って灯外内管を損傷した。 漏えいしたガスを停止しようと、コンクリートはつり作業にてガス管の掘出し中に火花が引火源となり着火、掘り出し作業に従事していた作業員1名と現場に緊急出動したガス事業者1名が顔に火傷を負った。 原因は、下水工事業者が、工事範囲内にガス管がないと思い込み、ガス管の位置を確認をせずにコンクリートヘカッター入れ作業を行ったため。 なお、当該下水工事業者からガス事業者への事前照会はなし。当該下水工事の支障とならない位置に移設工事完了。
45	4/4	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅の空き家において、解体工事業者が地盤面の掘削作業中に埋設供給管を損傷したため、現在供給中の都市ガス会社を通じ、2017年2月までLPガスを供給していた販売事業者と連絡した。販売事業者が現場に出動し損傷箇所の復旧作業を行った。 原因は、解体工事業者が埋設供給管の存在を確認せずに掘削作業を行ったことによるもの。 なお、周辺の家屋には、現在も集中供給方式でLPガスを供給しており、当該空家の敷地内にLPガス供給時の配管が残置された状態で分岐配管の先端部をキャップ止めしている状態であった。

2020年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
46	4/7	大阪府	解体作業	LPガス	0	一般住宅（空家）において、解体工事業者が解体作業を行っているところ、当該住宅敷地内のLPガス立上り供給管を重機により損傷させガスが漏れ出した。解体業者より販売業者に通報し、到着までに破損箇所をテープ巻きにて処置を行い、販売業者が到着後、応急措置及び修繕作業を行ったもの。 原因は、解体工事業者が解体作業中、重機により供給管を損傷させたことによるもの。 なお、当該空家は都市ガスを使用していたため、解体工事業者は敷地内の都市ガス管の撤去を要請し工事は完了していたことから、埋設されていたLPガス供給管に気づけなかったとのこと。
47	4/7	埼玉県	解体工事	都市ガス	0	当該現場近傍で作業中の下水道工事業者よりガス臭気をするとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該現場の敷地内に埋設されていた灯外内管（白管：25mm）の接続箇所が破断しており、ガスが流出していることを確認した。 原因は、当該現場の敷地内に埋設されていた灯外内管が、本年1月下旬まで実施の解体工事期間中において、何らかの作業影響（外力）を受けたことにより接続箇所が破断したものと推測される。
48	4/11	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体中にガスパ管を破損。道路から臭気する。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管（25mm亜鉛引き鋼管（防食テープ巻き）：不使用管）の管体部の破損を確認した。 原因は、解体工事時、バックホウにて掘削作業中、誤って、灯外内管を破損したものと推定される。 不使用管につき、支管取出し部にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
49	4/13	長崎県	掘削作業	LPガス	0	空き地において、土木工事業者より工事中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者がガス止め等を指示し、現場に到着後、修繕作業を行った。 原因は、土木工事業者が当該空き地を駐車場整備工事のため、重機により掘削作業を行ったところ、誤って埋設供給管を損傷させたもの。 なお、土木工事業者は埋設管があることの認識が無く、販売事業者に対し事前連絡を行っていなかった。また、経年のため標示杭は不明で埋設シートはなかったとのこと。
50	4/14	東京都	解体工事	都市ガス	0	消防から、解体工事中にガスパ管を損傷した現場ありとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が当該敷地内のアスファルト舗装撤去工事中に、埋設されていた灯外内管（30mm）を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、当該敷地内に舗装されたアスファルト撤去工事の作業範囲内には、ガス管が埋設されているとは思わず作業した結果、重機にてガスパ管を損傷したものの。
51	4/16	大阪府	外壁工事	都市ガス	0	建築工事業者から「ブロック塀工事時に土間のコンクリートをサンダーで切断中にガスパ管を破損。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管25mm塩化ビニルライニング鋼管）継手部（エルボ）の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う外構工事の為、床のコンクリートをディスクグラウンダーでカッター切り作業中に、隣宅の灯外内管継手部（エルボ）を破損したものと推定される。 なお、建築工事業者から、ガス事業者への事前協議無し。配管工事にて復旧完了。
52	4/23	大阪府	その他（需要家）	都市ガス	0	保育園（園長）より「保育園敷地内の畑の杭を抜いたら、「シュー」という音とガスの臭気が出てきた。」で受付けガス事業者が出動したところ、灯内内管（30mmポリエチレン管）の鋼製杭による破損及びメーターガス栓閉止にて応急措置済みを確認した。 原因は、約1年前、畑に刺した鋼製杭にて灯内内管管体を破損したものの。当時ポリエチレン管に刺さった状態でガス漏れはなかったと推定される。 なお、事前協議などの連絡はなし。

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
53	5/1	奈良県	その他 (需要家)	都市ガス	0	需要家より「ガスパをノコギリで破損した」で受付けガス事業者が出動。需要家より消防へ連絡し警戒区域設定済み。フレキ管の破損を確認した。 原因は、需要家にて敷地内庭の樹木を根切り中、電動セーバーソーにて、誤って灯外内管(25mmフレキ管)を破損したものの。 なお、需要家から、ガス事業者への事前協議無し。破損箇所一部取替えを行い復旧完了。
54	5/14	千葉県	解体作業	LPガス	0	戸建て住宅において、解体工事業者が外壁を取り壊す際、供給管の一部を折損し、漏えいが発生した。解体工事業者より通報を受けた販売事業者が現場に出動し修繕作業を行った。また、翌日に当該敷地外にある戸建てとアパートに集中供給する埋設分岐部分を切り離し、対応を完了した。 原因は、解体工事業者が建物の外壁を解体する際、誤って重機により供給管を損傷したものの。 なお、現場では1つの供給設備より8世帯アパートとオーナー自宅の2棟の建物に集中供給をしており、今回はオーナー宅の取り壊しによる工事だったとのこと。また、建物の解体前にオーナーより販売事業者へ設備の撤去依頼があり、ガスメーターを撤去したが、両者の認識違いにより、立ち上がり供給管の撤去は実施しなかったとのこと。
55	5/19	大阪府	衛生工事	都市ガス	0	衛生設備工事業者より「側溝カット済みのガスパにバックホーが当たり土嚢袋で押えている」で受付けガス事業者が出動。掘削調査の結果、敷地内灯外内管(50mmポリエチレン管：不使用管)継手部の破損を確認した。 原因は、元請業者より衛生設備業者へガスパ管位置は周知していたが、バックホーにて灯外内管(50mmポリエチレン管)を持ち上げ、継手部の破損に至ったものと推定される。 不使用管につき破損箇所上流側で切断・カップ止めを実施し、復旧完了。
56	5/21	東京都	掘削作業	LPガス	0	更地において、改良工事業者が建て替え工事中、基礎杭打ちの印をするために鉄くぎを打ち込んだところ、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。販売事業者が現場に出動したところ、供給管に鉄くぎが刺さっており、濡れタオルで損傷部を巻いてあることを確認した。スクイズで漏えいを止め、破損箇所を切断し、補修作業を行った。 原因は、前日に建設業者はガス表示杭の位置を説明していたが、改良工事業者はその内容を把握しておらず、供給管位置を確認せずに鉄くぎを打ち込んだことによるもの。 (バルク貯槽980kg×1基)
57	5/23	京都府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者より「解体作業中、バックホーの爪でガスパを破損」で受付けガス事業者が出動したところ、歩道の下水マンホールにてガス検知器反応有を確認した。 原因は、解体工事中にバックホーの爪にて灯外内管を引っ掛けた際、供給管側に応力がかかり供給管継手部の折損に至ったものと推定される。 不使用管につき、本管取出し面にてプラグ止めを実施し、復旧完了。
58	5/27	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、改修工事中にガスパを損傷したとの通報を受付けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が当該建物地下1階の空き店舗改修工事に伴うコンクリート破砕中に、シンダー内に配管されていた灯外内管(32mm)を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、シンダーコンクリート破砕作業範囲内にガスパが埋設されているとは思わず作業した結果、電動工具にてガスパを損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
59	5/27	兵庫県	整地・造成工事	都市ガス	0	造成工事業者より「道路の側溝工事中にガスパ損傷」で受付けガス事業者が出動。臭気及びガスを検知し、支管（50mmアスファルトジュート巻き鋼管）継手部の破損箇所を確認した。 原因は、道路側溝工事の際、バックホウ（掘削機）にて掘削中に誤って支管（50mmアスファルトジュート巻き鋼管）を破損したものの。 なお、造成工事業者からガス事業者への事前協議は無し。破損箇所両側のプラグ止めにて復旧完了。
60	6/2	茨城県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、市の依頼を受けた測量業者が測量を行った際、当該共同住宅の敷地内に目印杭を打ったところ、供給管を損傷しガスが漏れ出した。測量業者の通報を受けた大家より連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、漏れい箇所の確認や供給停止等修繕作業を行った。 原因は、測量業者に対する配管経路の周知不足及び測量業者の確認不足によるもの。
61	6/2	福岡県	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	当該敷地内（駐車場跡）における新築工事において、他工事業者が地盤改良作業中、埋設された灯外内管50mmを破損した。破損部よりセメント系固化剤がガス管内に流入し、管内を閉塞した。 原因は、他工事業者による新築工事に伴う地盤改良作業中に灯外内管を破損したもので、引込管ガス遮断装置の閉止により供給支障が発生。 なお、当該他工事業者は、ガス管には影響がないと判断し、埋設状況等の十分な確認を行うことなく着工した。損傷箇所の取替工事完了。
62	6/4	神奈川県	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、雨水配管を敷設工事していた水道工事業者の作業員が、当該敷地内に埋設されていた灯外内管（30mm）を重機にて損傷し、併せてその際、供給管が引っ張られ本管との接続箇所からもガスが流出したことを確認した。 原因は、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていること及び、ガス管表示杭を認識していたものの、作業範囲内にはガス管がないと思い込んで、重機による掘削時にガス管を損傷したものの。
63	6/5	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、当該建物地下1階の空き店舗改修工事に伴うコンクリート破砕中に、シンダー内に配管されていた灯外内管（50mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、シンダーコンクリート破砕作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わず作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。 （未照会工事） 損傷したガス管の取替工事完了。 供給支障件数：55戸 供給支障時間：295分
64	6/5	埼玉県	解体工事	都市ガス	0	消防から、工事現場にてガス臭気ありとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該住宅の解体作業中に、敷地内に埋設されていた灯外内管（25mm）を損傷したことを確認した。 原因は、解体する当該住宅にガス管が配管されていることを確認していたが、ガスメーターが付いていない（休止中）ことから、ガスは通じていないものと思い、ガス管撤去工事の依頼を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
65	6/8	岐阜県	リフォーム作業	LPガス	0	一般住宅において、リフォーム工事業者が内装工事中にキッチン床下の配管を損傷させたもの。販売事業者が状況確認及び調査を実施したところ、キッチンの床下の配管よりガス漏れを確認したため、損傷した配管を撤去し、プラグ止めにて応急処置を実施した。後日、配管の入れ替え工事を実施し、漏えい試験により漏えいがないことを確認した。 原因は、他工事業者（リフォーム工事業者）が配管を損傷させたことによるもの。 なお、リフォーム工事業者から販売事業者に対し事前連絡及び立ち合いの依頼がなかった。
66	6/16	千葉県	水道工事	都市ガス	0	水道業者より、住宅敷地内にてガス管を破損させたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、コンクリートカッターで掘削した際に残置灯外内管を破損、ガスの漏れがあることを確認。 現在は他燃料（都市ガス）使用需要家宅内にある以前供給していた際の残置管が他工事により破損、安全確保の為該当区画の一部需要家の供給支障となったもの。
67	6/16	宮城県	電柱設置工事	都市ガス	0	需要家3軒よりガスがでないとの連絡を受け、需要家にガスメーターを確認していただいたところ、BCPガス止め（圧力低下）の表示が出ているため出動し調査を実施した。 特定製造所内を調査し異常がないため、周辺調査したところ他工事による掘削跡があり、当該箇所を再掘削し本管PEの折損及びガス漏れを確認した。 原因は、NTT電柱入替工事による試掘調査の際アースオーガにて埋設されていたガス管を折損させたが、気付かないまま埋め戻したことによる。
68	6/19	愛媛県	リフォーム作業	LPガス	0	一般住宅において、リフォーム業者が作業を行っているところ、集団供給設備の敷地内埋設供給管の引込バルブ上流側を破損させ、漏えいが発生した。リフォーム業者より連絡を受けた都市ガス業者が現場に出動し応急措置を行った。その後、都市ガス業者より連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、補修工事を行った。 なお、当該物件は、以前、集団供給設備によりLPガスが供給されていたが、ある時期から都市ガスに切り替えたとのこと。都市ガスへの切り替えとともに、販売事業者は引込バルブを閉止し、下流側の供給管及びガスメーターを撤去することで供給を停止していた。また、上流側の供給管は敷地内の地中に残した状態で他物件へガス供給を継続していたとのこと。 原因は、戸建住宅において、他物件へ集団供給方式で供給中の引込供給管をリフォーム業者が誤って破損させたことによるもの。
69	6/23	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事の施工者より、新築工事中にガス臭気があるという通報を受けガス事業者が出動。調査を行ったところ、オーガーにて低圧支管が損傷し、ガスが漏出していることが判明した。 原因は、建築工事の施工者が、当該建築現場の作業範囲にガス管が埋設されていないと思い、オーガーにてガス管を損傷したものの。
70	6/23	東京都	整地・造成工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事現場でガス臭気があるとの通報を受けガス事業者が出動したところ、地盤改良工事で埋設されていた灯外内管（30mm）を重機にて引っ掛けた際、供給管（30mm）が引っ張られたことで損傷し、本管との接続箇所からガスが流出したことを確認した。 原因は、作業範囲内にはガス管はないものと思い込んでいたため、重機による作業時にガス管を損傷した。
71	6/23	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管（80mm）を重機にて損傷し、併せてその際に供給管（80mm）が引っ張られ本管との接続箇所からもガスが流出したことを確認した。 原因は、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、敷地内に残置されていたガス管と誤認したことで、重機による掘削時にガス管を損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
72	6/24	兵庫県	衛生工事	都市ガス	0	消防より「コア抜き工事中破損」で受付けガス事業者が出動したところ、灯外内管の破損によるガスの漏洩を確認した。 原因は、衛生設備（雨水）工事時、コアドリルにてコンクリート床の掘削作業中、誤って灯外内管（32mm亜鉛引き鋼管）の管体部を破損したと推定される。 なお、他工事業者からガス事業者への事前協議は無し。取り替え修繕を実施し、復旧完了。
73	6/25	大阪府	下水工事	都市ガス	0	ガス事業者協会社員より「下水工事に伴うカッター切り中、ガス管を破損。」で受付けガス事業者が出動し、供給管（32mmポリエチレンライニング鋼管：不明管）の破損を確認した。 原因は、下水工事に伴うカッター切り中に不使用不明管（供給管）を破損したものと推定される。 不使用管につき、破損箇所上流側で切断・プラグ止めを行い、復旧完了。
74	6/25	兵庫県	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者より「道路工事中にガス管破損」で受付けガス事業者が出動し調査の結果、供給管（32mm塩化ビニルライニング鋼管）管体部での舗装カッターによる破損を確認した。 原因は、道路工事に伴う舗装カッター切り中に供給管を破損したものの。 なお、道路工事業者からの事前の協議はなし。 需要家不在により敷地内掘削ができないため破損箇所上流側（道路面）にて切断プラグ止めにて修繕完了。
75	6/29	東京都	解体工事	都市ガス	1	警察から、工事中にガス管を損傷し着火した現場があるとの通報を受けガス事業者が出動したところ、水道工事業者の作業員が、当該建物への給水管改修工事に伴うアスファルト舗装を破砕中に、敷地内に埋設された灯外内管（白管：40mm）を電動工具にて損傷させた際、流出したガスに着火したことで、火傷を負ったことを確認した。 原因は、作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わず、作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。
76	7/6	東京都	その他（ボーリング掘削）	都市ガス	0	水道施工業者より薬液注入工事に伴う観測井戸の施工にあたり、ボーリング掘削にて直径約150mmのコア明け作業を実施中、ガス本支管（PE100A：片ガス供給）を破損したものの。 施工にあたり水道工事業者よりガス事業者へガス管の有無についての事前照会・協議は、行われていたが、その後、水道工事業者において開削工事から推進工事への施工方法変更となった。しかし、ガス事業者への再協議・立ち合い依頼は行わず推進工事の前段階における薬液注入工事に伴う観測井戸の設置時において、ガス事業者への管理図調査や試験掘削を実施する事なくボーリング削孔を施工した事が原因で、低圧導管を破損したものの。また、本管バルブを閉止した事により、周辺需要家の供給支障が発生。破損部の管体入替工事完了。
77	7/7	東京都	その他（土壌工事）	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管（50mm）を重機にて損傷し、併せてその際に供給管（50mm）が引っ張られ本管との接続箇所からもガスが流出したことを確認した。 ガス事業者は、解体工事業者から建物の解体に伴い、ガス管切断作業の依頼を受け敷地境界近傍での切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が表示杭まで埋設されていることを周知していたが、解体工事業者の作業員は、作業範囲内にガスの通じているガス管はないものと思い、重機にて解体作業をしていたところ、ガス管を損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
78	7/11	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、敷地内で樹木を伐採しているが、ガスのような臭気をするとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が当該敷地内の樹木伐採中に、埋設されていた灯外内管（25mm）を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、作業範囲内に、ガス管が埋設されていると思わず、作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
79	7/13	埼玉県	切断作業	LPガス	0	2013年以降にオール電化により供給を停止していた一般住宅（集団供給）において、解体工事業者がの解体・整地作業を行った際、電動工具により埋設供給管を切断したところ、漏えいしたガスが電動工具の火花に引火し漏えい火災となった。当該物件はオール電化切替時に消費者の意向でガスメーターを撤去後宅内供給側配管を残した状態で閉止していたとのこと。 原因は、解体工事業者が電動工具により埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者は供給管の状況及び経路等を把握しておらず、また、消費者は事前確認の必要性も確認していなかったため、販売事業者への連絡もなく着工していたとのこと。
80	7/14	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該建物1階空き店舗の改修工事に伴うコンクリート破砕中に、シンダー内に配管されていた灯外内管（40mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、作業範囲内にガス管が埋設されていると思わず作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。また、引込管ガス遮断バルブを閉止したことで、当該建物内需要家の供給支障が発生。
81	7/16	山梨県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が雨水排水配管工事のため掘削作業中、誤って埋設配管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、他工事業者が埋設配管の所在を確認せず作業を実施したことによるもの。 なお、販売事業者も埋設配管の所在を示す標識等の措置を実施していなかった。
82	7/16	大阪府	基礎工事	都市ガス	0	建築工事業者から「敷地内基礎工事中にガス管を破損。」で受け付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管（32mmポリエチレンライニング鋼管：不使用管）の破損を確認した。 原因は、建築工事業者が、敷地内基礎工事中にアースオーガーにて灯外内管を破損したものと推定される。 なお、建築工事業者から、事前協議はなし。 不使用管にて破損箇所上流側を遮断プラグ止めし復旧完了。
83	7/21	愛知県	建物改修・改装工事	都市ガス	0	マンション構内の店舗改修に伴う排水管設置工事にて、1階店舗コンクリート床部のカッター入れ作業時に、灯外内管を損傷したものの。 原因は、店舗改修会社がカッターを入れる場所にガス管が無いと思い込んで事前の照会を実施しないままカッター入れ作業を行ったため、ガス管の損傷に至ったもの。
84	7/25	千葉県	下水工事	都市ガス	0	他工事施工者より下水工事（推進工事）中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動。調査の結果、中圧管の損傷およびガスの漏出を確認した。 原因は、推進工事において、事前照会が必要との認識はあったものの、これを失念したまま施工した結果、推進機により中圧管を損傷したものの。
85	7/26	奈良県	リフォーム作業	LPガス	0	小学校において、建設工事業者がトイレのリフォーム工事中に誤ってカッターで埋設配管を切断し、漏えいが発生したものの。 なお、建設工事業者がリフォーム工事の際、図面で埋設配管の埋設位置確認をしていたが、埋設深さの調査は行っていなかったとのこと。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
86	7/28	千葉県	新築工事	LPガス	0	新築工事中の一般住宅（集団供給）において、他工事業者が作業中に重機でガス配管を引っ掛けたことにより、配管が損傷し、漏えいが発生した。近くにいた業者の知り合いのガス会社が応急処置を行い、その後販売事業者が修繕工事を行った。 原因は、他工事業者の作業中の不注意によるもの。
87	7/28	神奈川県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、消費者よりガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、容器が空になっていることを確認した。翌日、漏えい箇所を調査したところ、隣接する共同住宅の取り壊し現場の掘削場所にて、事故発生時の共同住宅から隣接する共同住宅の敷地内に入っている埋設供給管より漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が隣接する共同住宅のコンクリート部分の掘削・撤去を行った際、誤って埋設供給管に接触し継手とのねじ部を損傷させたことによるもの。 なお、当該共同住宅と隣接する共同住宅は2017年7月から販売事業者が変わったが、供給開始時から供給設備が別に設けられており、また、コンクリートの下に供給管が埋設されていたため、供給管が隣接する共同住宅の敷地内に入っていることを把握していなかったとのこと。
88	7/29	大阪府	解体工事	都市ガス	0	住民から「掃き出し窓（道路面）でガスの臭いが広範囲あり。」で受付け、ガス事業者が出動し調査の結果、付近の解体現場の敷地内にてガス臭気及び漏えいを確認した。また、供給管（80mmポリエチレンライニング鋼管：不使用管）の継手抜けを確認した。 原因は、解体工事業者が、工事後の整地作業中にバックホウにて誤って敷地内よりガス管を引っ掛け、歩道面の供給管継手抜けが発生したものと推定される。 不使用管につき継手抜け箇所上流側でカップ止めを行い、復旧完了。
89	7/31	埼玉県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が消費者宅の駐車場及び周辺道路の掘削作業を行った際、誤って埋設供給管2か所を損傷し、漏えいが発生した。水道工事業者より通報を受けた販売事業者が現場に出動し、応急処置を行った。 原因は、水道工事業者が販売事業者と事前打ち合わせを行ったものの、工事全体の把握及び工事場所の情報共有が不十分だったことによるもの。 なお、水道工事業者が作業前に行う危険予知訓練の実施が不十分だったとのこと。
90	8/4	京都府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、側溝カット済みと聞いていたがガス管を破壊し火が着いた。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、ガス臭気があり、当該敷地内の破壊箇所からの着火及び消防による放水消火活動を確認した。 原因は、解体工事業者が、建物コンクリート基礎撤去のため、敷地内でアイオンブレイカーにてコンクリートを砕き中に、灯外内管（32mm塩化ビニルライニング鋼管）を破壊。漏えいしたガスにコンクリート砕き時の鉄筋入り解体構造物の接触に伴う火花で着火したものと推定される。 破壊箇所上流側で切断プラグ止めを行い修繕完了。
91	8/5	福島県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が敷地内の下水道工事に伴い浄化槽改修のため掘削作業を行った際、誤って建設機械により供給管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、水道工事業者が浄化槽周辺に供給管が埋設されていることを確認しないまま掘削作業を行ったことによるもの。 なお、集合住宅管理会社から工事に関する事前連絡がなかったとのこと。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
92	8/5	長崎県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、販売事業者の集中監視システムにより圧力低下遮断の報告を受け、消費者に連絡し現場に出動したところ、埋設配管が破損し、マイコンメーターの安全装置作動によりガス遮断していることを確認した。また、メーターガス栓は現場作業員により閉止されていた。 原因は、電気工事業者が仮設電柱工事中に掘削用工具で手掘り作業を行っていたところ、誤って埋設配管に接触し、損傷させたとのこと。 なお、販売事業者は、消費者からの事前連絡を受け、消費者と現地立ち会いを行い埋設配管の位置確認を行っていたが、電気工事業者に埋設管の位置が十分に伝わっていなかったとのこと。また、埋設管標示シートの敷設が確認できなかったため、埋設配管の位置を誤り損傷させたとのこと。 (バルク貯槽 985kg×1基)
93	8/5	東京都	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から、建物解体中の工事現場にてガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管(25mm)を重機にて引っ掛けた際に、供給管(25mm)が引っ張られ接続部が損傷したことを確認した。 ガス事業者は、建設工事業者から建物の解体に伴うガス管切断作業の依頼を受けたが、作業当日は当該建物の基礎があるため、敷地境界近傍での切断作業が不可につき、ガス管の途中切断位置とガス管ルートの調査結果、及び敷地境界近傍での切詰作業を再度実施する必要があることを説明。基礎を解体する際には改めて連絡をするよう依頼したが、事前連絡がなく解体作業を行った結果、重機による基礎解体時にガス管を損傷したものの。
94	8/5	千葉県	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	他工事施工者より、敷地内で植木の移設工事中に木製の支柱を抜いたところ、ガスが漏えいしたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、灯外内管の損壊および損壊部からの漏えいを確認した。 原因は、ガス管が埋設されているという認識がなく、事前照会を行わず支柱を打ち込んだためガス管を損壊し、今回の移設工事において支柱を抜いたことにより損壊部からガスが漏えいしたものの。
95	8/5	北海道	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防よりガス漏れ警戒の入電を受けガス事業者が出動。調査したところ灯内内管での損傷を確認した。 原因は、テナント改修工事に伴い給水工事業者がガス管の有無ならびに位置を確認することなく、電動丸ノコにて床の開削作業を行ったことにより、床下の灯内内管を損傷したものの。
96	8/10	茨城県	その他(需要家)	都市ガス	0	消防から、ガス管が損傷された現場への出動要請を受けガス事業者が出動したところ、需要家が敷地内に埋設されていた灯外内管(ポリエチレン管:30mm)を鏝にて損傷させ、ガスが漏出している状況を確認した。 原因は、需要家がガス管が埋設されているとは思わず鏝にて人工芝を敷設するため整地作業していたところ、灯外内管を損傷したものの。
97	8/10	福島県	外構・門扉工事	都市ガス	0	現場隣(ガス供給無)の境界フェンス外構工事を請け負った建設会社がユンボで隣地との境界部分の掘削を始めた所、隣地(空地)に敷設していた灯外内管(25A)を誤って損傷したと消防からの連絡でガス事業者が出動。ガス漏れを確認・応急措置を実施した。 原因は、外構工事を実施した需要家はオール電化住宅。また今回の該当地点は空地とガスの使用は無かったため、ガス管敷設の認識が薄く重機での掘削工事を実施し、配管損傷に至ったものと推定される。

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
98	8/11	福岡県	穿孔調査作業	LPガス	0	共同住宅において、白アリ駆除工事業者が地盤穿孔調査作業を行っている際、誤って穿孔ドリルで埋設供給管を貫通させ漏えいが発生した。連絡を受けた販売事業者が現場へ到着し、破損部分の確認及び中間ガス栓の閉止等修繕作業を行った。 なお、白アリ駆除工事業者より事前連絡及び埋設供給管の位置確認等を行わなかったとのこと。
99	8/12	大阪府	電柱設置工事	都市ガス	0	電気工事業者より「電柱建て替え工事に伴いアースオーガーにて掘削中ガス管を破損。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、閉栓需要家の供給管（25mmポリエチレンライニング管）取出し（バルブチー）ねじ部の折損を確認した。 原因は、電気事業者によると協議済みであったが、ガス管の位置確認を怠り誤ってガス管を破損したものの。 支管50mm取出し部にてプラグ止めを行い修繕完了。
100	8/16	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から、ガス管が損傷されたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、改修工事業者の作業員が当該建物1階床下の汚水処理に伴う床コンクリートのコア抜き作業中、埋設されていた灯外内管（被覆鋼管：32mm）を損傷したことを確認した。 原因は、作業範囲内には、ガス管が埋設されているとは思わず、ガス事業者にもガス管有無等の確認をせず作業した結果、電動工具にて灯外内管を損傷したものの。
101	8/18	栃木県	掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、看板施工業者より工事中に埋設供給管を損傷させた旨の通報を受けた消防が警察と共に現場へ出動し、漏えい箇所の処置及び周辺道路の交通規制を行った。その後、当該建物のオーナーより連絡を受けた販売事業者が委託先保安機関と共に現場に到着し、ガス供給が停止されていることと埋設供給管の損傷を確認した。 原因は、看板施工業者が看板支柱のため掘削作業を行った際、誤って掘削機により埋設供給管に接触し損傷させたことによるもの。なお、看板施工業者はオーナーと工事について事前協議をしており、埋設供給管についても図面で確認を行っていたが、図面に記載されていた埋設供給管の位置が実際の現場とずれがあったとのこと。また、埋設供給管敷設位置には埋設シートが敷設されていなかったとのこと。 （バルク貯槽 980kg×1基）
102	8/18	和歌山県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、下水工事業者が道路面を重機で掘削中、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。販売事業者が現場に出動し、下水工事業者の応急措置により漏えいが止まっていることを確認した。 なお、販売事業者は、事前協議及び試掘の際に立ち会いを行ったが、配管の正確な埋設位置が不明であったため、慎重に作業を実施するよう指示したとのこと。また、当日は下水工事業者から工事実施時における連絡が無く、販売事業者は立ち会いを行わなかったとのこと。
103	8/18	栃木県	外構・門扉工事	都市ガス	0	外構工事業者が需要家の駐車場拡張工事を行っている際に、油圧ショベルで埋設ガス管をひっかけてしまい、灯外内管立ち上がり部の継手部（白エルボ25A）を損傷しガスが漏えいした。 原因は、外構工事業者が事前に需要家との打合せを行った際に、埋設物の有無についての確認を怠り、埋設物有無の認識がないまま掘削を行ったため、灯外内管を損傷したものの。
104	8/21	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、ガス管破損噴出中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ灯外内管（32mm亜鉛引き鋼管：架空・不使用管）ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事業者がつかみ機（フォーククロー）にて建物解体中、建物内の灯外内管ねじ部を誤って破損したものの。 なお、解体工事業者から、事前協議なし。 不使用管につき破損箇所上流側を切断プラグ止めし復旧完了。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
105	8/22	大阪府	建物改修・改装工事	都市ガス	0	需要家から「店舗内改装工事中に、ガスの臭気がある。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管（40mm塩化ビニルライニング鋼管：不使用管）管体部の破損を確認した。 原因は、増改築工事業者が1階店舗改装工事時、電動チッパーにて土間コンクリートをはつり作業中に、灯外内管を誤って破損したものと推定される。 なお、増改築工事業者から、事前協議はなし。 不使用管につき破損箇所上流側を切断プラグ止めし復旧完了。
106	8/26	東京都	水道工事	都市ガス	1	水道工事業者から、水道管と間違えてガス管を損傷させたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、水道工事業者の作業員が当該建物1階パイプシャフト内での漏水工事に伴うパイパス作業中、水道管と並列に配管された灯外内管（白管：32mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、パイプシャフト内に並列に配管されていた管はどちらも水道管と思い込みガス事業者に照会なく作業した結果、灯外内管を電動工具にて損傷したものの。
107	8/28	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、敷地内のコンクリート基礎破砕時において、埋設されていた灯外内管（白管：40mm）を重機にて損傷したことを確認した。 ガス事業者は、解体工事業者から建物解体に伴うガス管切断作業の依頼を受けたが、作業当日は建物の基礎があるため、敷地境界近傍での切断作業が不可につき、途中切断したガス管の位置、及び敷地境界近傍での切詰作業を再度実施する必要があることを説明。基礎を解体する際には事前に連絡をするよう依頼したが、解体工事業者内の引継ぎが適切になされていなかったことから、ガス事業者にガス管の撤去依頼を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
108	8/29	千葉県	新築工事作業	LPガス	0	一般住宅（集団供給）において、他工事業者が新築工事作業中に、誤って重機で埋設供給管を損傷させ、漏えいが発生した。 原因は、他工事業者の作業中の不注意によるもの。
109	8/31	神奈川県	解体作業	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者がバルク貯槽周囲の囲いを撤去しようとした際、固定していた供給管に引っ掛かり、調整器の根本から折損し漏えいが発生した。他工事業者の通報を受けた消防より連絡を受けた他のガス事業者が現場に出動し、バルク貯槽のガス取出し弁を閉止し、漏えいを停止させた。その後、到着した販売事業者が、折損した調整器部から建物引込部までの供給管を撤去し、バルク貯槽に新たな調整器を取付け、出口でプラグ止めし漏えいがいないことを確認した。 なお、当該建物のバルク貯槽は、昨年11月末の前入居者退去後に一旦閉栓処理を実施したが、速からず次の入居者が発生することを見込んで、撤去せず設置を継続していたとのこと。 原因は、他工事業者がバルク貯槽の囲いを解体中供給管を引っ掛け、調整器を根本より破損したことによるもの。 なお、他工事業者より販売事業者に事前連絡がなかったとのこと。 （バルク貯槽 150kg×1基）
110	9/1	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管（32mm）を重機にて損傷、併せてその際に供給管（30mm）が引っ張られたことでガスが流出したことを確認した。 原因は、敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていること及びガス管表示杭を認識していたものの、作業範囲内にはガス管がないだろうと重機で作業した結果、ガス管を損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
111	9/3	大阪府	水道工事	都市ガス	1	消防より、「水道工事中、ガスパを破損し、着火した。現在は消火した。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、水道業者が掘削機（バックホー）にて供給管（30mmポリエチレン管）破損したことを確認した。また、消防より、水道業者の作業員1名が負傷し病院へ搬送したことを確認した。 原因は、水道入替に伴う試験掘作業中、掘削機（バックホー）にて供給管を破損し、付近にあった発電機が着火源となり、着火に至ったものと推定される。破損箇所を取換え復旧完了。
112	9/9	神奈川県	下水工事	都市ガス	1	下水道工事業者より、下水道取付管更新工事中にガスパを損傷し着火したとの通報受けガス事業者が出動。現地確認したところ、掘削機にて低圧供給管を損傷したのち、ガス漏出箇所付近でハンマードリルの電源を入れた際に着火し、作業員1名が負傷したものの。 原因は、事前協議ではガスパ近傍は手掘りによる先掘りを行うように協議をおこなっていたが、実際には先掘りを行わず機械掘削を行い、低圧供給管を損傷したものの。一部取替にて修理完了。
113	9/15	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガスパを損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建物の基礎を解体中に、灯外内管（30mm）を重機にて引っ掛け、供給管（30mm）が引っ張られたことで接続部が損傷し、ガスが流出していることを確認した。 解体工事業者の作業員は、実施済の敷地境界近傍でのガスパ切断について、切断位置を表示杭により認識していたが、埋設位置情報を適切に共有していなかったこと、及び重機作業範囲よりも深い位置に埋設されていると思い込んで作業した結果、ガスパを損傷したものの。
114	9/16	群馬県	非該当	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が下水工事のため、バックホウで掘削作業を行った際、誤って埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。 なお、水道工事業者は販売事業者と事前打ち合わせを行っていたが、埋設供給管の位置の記録が不正確であった。また、販売事業者が到着前に作業を開始したとのこと。
115	9/18	岐阜県	その他改修工事	都市ガス	0	ガス供給業者が切替わり、ガス小売事業者の未供給地点である宅地内で、設備業者が雨除け屋根の延長工事にコンクリートカッターで未使用の埋設ガスパを損傷したものの。なお、ガス事業者担当が現場に到着した時は、まだガス漏れ臭がしていた事から、特定製造所の元バルブを閉めてガス供給を停止した。 原因は、住宅わき通路のコンクリート舗装部を、コンクリートカッターで切断中に埋設ガスパを切ったことによる。
116	9/19	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体工事にバックホーがガスパに当たり、ガス臭気する。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、ガスパ破損によるガス噴出を確認したため、支管（50mmアスファルトジュート巻鋼管）の破損箇所よりガスバックを挿入し応急措置を実施した。 原因は、解体工事業者が家屋解体時に支管をバックホーで破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議はなし。破損箇所をポリエチレンライニング鋼管材料にてプラグ止めし復旧完了。
117	9/19	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガスパを破損。粘土で手当てするもガス臭気あり。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、臭気あり。掘削機（バックホウ）による灯外内管（50mmアスファルトジュート巻鋼管：不使用不明管）の管体部破損を確認した。 原因は、解体工事業者が掘削機（バックホウ）にて建物解体中、灯外内管を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議はなし。不使用管につき供給管部分にて切断プラグ止めを行い、復旧完了。

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
118	9/24	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から、解体工事中にガスパを損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建物解体に伴う重機作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管（25mm）を損傷し、併せて供給管（25mm）接続部が引っ張られたことでガスが流出したことを確認した。 解体工事業者の作業員は敷地境界近傍でのガスパ切断の実施内容を知らされており、作業範囲内にはガスの通じているガスパはないと思い重機にて作業していたところ、ガス事業者が把握していないガスパが埋設されており、これを損傷したもの。
119	9/24	兵庫県	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	消防より「他工事業者が水路転落防止柵設置の為、道路をコア抜き作業中にガスパを破損した。」で受付けガス事業者が出動したところ、供給管（32mm垂鉛引き鋼管）継手部の破損を確認した。 原因は、当該他工事業者がコアドリルにて道路をコア抜き作業中に、供給管を誤って破損したものと推定される。 なお、柵設置工事業者からは事前の協議はなし。破損箇所を金属テープシール巻きにて復旧完了。
120	9/26	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中に臭気あり。バックホウで作業中にガスパを破損したかどうかはわからない。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、ガス臭気及び噴出音を確認。灯外内管（25mmアスファルトジュート巻鋼管：不使用不明管）破損箇所からガスパック挿入にてガスを遮断し、応急措置を実施。 原因は、解体工事業者が、掘削機（バックホウ）にて建物解体中、灯外内管を破損したものと推定される。 不使用管につき支管面でプラグ止めを行い復旧完了。
121	9/30	大阪府	外構・門扉工事	都市ガス	0	消防より「外構工事業者から工事中にガス臭気ありと入電あり消防出動中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管（32mm塩化ビニルライニング鋼管）の破損及び消防の粘土による応急措置を確認した。 原因は、外構工事業者が屋外手すり設置工事時、コア（65mm）抜き作業中にコンクリート巻き灯外内管の直管部を誤って破損したものと推定される。 なお、外構工事業者から、事前協議はなし。供給管取出し部にてプラグ止めし修繕完了。
122	9/30	大阪府	駐車場等工事	都市ガス	0	消防より「需要家から駐車場設置工事時に、電動サンダーでガスパを破損したとの入電あり、消防出動中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ灯外内管（25mm垂鉛引き鋼管：架空：不使用管）の管体部の破損を確認した。 原因は、需要家がガスメーターが設置されていないので、ガスが流れていないと思い込み、灯外内管の管体を電動サンダーで切断したものと推定される。 なお、需要家から事前協議などの連絡はなし。破損箇所の上流側にてプラグ止めを実施し復旧完了。
123	10/3	埼玉県	下水工事	都市ガス	0	下水道工事の施工者より、ガスパを損傷したという通報を受けガス事業者が出動。調査を行ったところ、低圧支管がボーリングロッドにより損傷され、ガスが漏出していることを確認した。 原因は、薬液注入のためのボーリング施工範囲にガスパが埋設されていないものと判断して施工した結果、低圧支管を損傷したものの。
124	10/5	岐阜県	掘削作業	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が下水道の交換作業を行った際、誤って重機で埋設配管を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、水道工事業者の埋設配管の確認不足によるもの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
125	10/6	東京都	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者の作業員から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該建物擁壁を解体中、敷地内に埋設されていた灯外内管（30mm）を重機にて引っ掛けた際に損傷させ、また引っ張られた供給管（30mm）の接続部からガスが漏出したことを確認した。 原因は、当該建物の擁壁を解体する作業範囲内にガス管はないものと思い重機で作業したところ、ガス管を損傷した。
126	10/12	埼玉県	穴開け作業	LPガス	0	一般住宅において、造園業者より作業中に埋設配管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者がメーターガス栓、容器バルブの閉止及びガス漏れ付近から退避するように指示し、現場に出動した。現場で配管の損傷部を確認し、消費者に現状報告と復旧工事を行う旨を説明し、復旧工事を実施した。 原因は、造園業者の不注意によるもの。
127	10/13	島根県	解体作業	LPガス	0	一般住宅の空家において、近隣住民より当該空家周辺からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、供給管及びガスメーターが破損し、解体現場に投棄されていることを確認した。 原因は、当該空家は集団供給をしている10戸のうちの1戸であり、周囲に容器が設置されていなかったため、解体工事業者が解体に際して販売事業者への連絡が必要ないと誤認し、作業を進めたことによるもの。 なお、当該空家は借家で元居住者は既に死亡していたため、販売事業者は所有者を把握しておらず、住宅工事等によるガス事故防止の周知が行き届いていなかったとのこと。
128	10/13	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該建物の解体に伴い、ブロック基礎を破砕中にブロック基礎内に配管されていた灯外内管（ポリエチレン管：25mm）を重機にて引っ掛けて損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者の作業員が、当該敷地内にガスの通じたガス管が埋設されていることを認識していたものの、ブロック基礎の下に埋設されているものと思い込んでいたため、ガス事業者にガス管経路等の照会を行うことなく作業した結果、ブロック基礎内に配管されていた灯外内管を重機にて損傷したものの。
129	10/14	埼玉県	その他（排水管）	都市ガス	0	他工事業者より排水管工事中にコンクリートカッターでガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動。調査の結果、当該集合住宅の共用内管の損傷と判明。 原因は、作業範囲内にガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の位置確認等事前照会を行うことなく作業した結果、コンクリートカッターにてガス管を損傷したものの。
130	10/18	福島県	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	造園土木業者が敷地の駐車場コンクリート舗装を破壊した際、ガス臭が立ち込めたとの通報をガス事業者が受け出動したところ、現場の状況から、重機使用による、引き込み管の破損と判断された。 原因は、造園土木業者が工事範囲にガス管が無いと思い込み、ガス事業者への事前照会なく重機で庭の整地を行った為。 なお、破損箇所を特定するため、ガス臭のするコンクリート舗装を、防爆型送風機でガスを拡散させて掘削、復旧作業しようとした。しかし消防より郡山でのガス爆発事故（2020年7月30日発生）の例があるため、ガスを停止して作業するよう強く要請され、また当該場所への立入も制止されたとのこと。
131	10/19	岡山県	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者より、車庫の土間コンクリートをコンクリートカッターにて切断作業中に、ガス管を破損・着火したとの通報を受けガス事業者が出動し、破損個所の確認し、他工事の影響範囲外の上流側にてガス管切離し措置を実施した。 原因は、他工事業者が、敷地内にガス管があることは認識していたが、工事範囲にガス管はないと思い込み、ガス事業者にガス管の位置を確認せずにカッターによる切断作業を行ったためガス管を破損したものの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
132	10/20	神奈川県	解体作業	LPガス	0	住居兼店舗において、解体工事業者が建物の解体工事中に、杭打ち及び重機により埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。原因は、解体工事業者の埋設供給管の位置確認不足によるもの。
133	10/27	佐賀県	外構工事	LPガス	0	飲食店において、物件オーナーより、他工事業者が外構工事中に誤って埋設配管を損傷させた旨の連絡を販売事業者が受け、現場に出動したところ、埋設配管に穴が開いていることを確認した。また、マイコンメーターによる緊急遮断機能の作動により漏えいが停止していたとのこと。 原因は、他工事業者が埋設配管の存在に気付かず埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、他工事業者より販売事業者に事前連絡が行われなかったとのこと。
134	10/27	埼玉県	掘削作業及び切断作業	LPガス	0	一般住宅（集団供給）において、下水道工事業者が消費者宅の下水道の切替作業の際、削岩機によりコンクリート打設部の撤去作業を行ったところ、埋設供給管を損傷させ漏えいが発生した。また、漏えいに気付かないまま作業を続け、鉄筋の切断に電動切断機を使用したため、漏えいしていたガスに引火し漏えい火災となった。通報を受けた販売事業者が現場に出動し、供給設備の閉栓及び漏えい箇所の確認を行い、復旧作業を実施した。 原因は、下水道工事業者が埋設供給管の位置や埋設深さ等の事前確認を怠ったことによるもの。 なお、販売事業者に水道工事業者又は消費者より事前連絡がなかったとのこと。
135	10/27	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「バックホーにてガス管を破壊した。土を被せている。」で受付け、ガス事業者が出動。道路面を掘削し、供給管（25mmアスファルトジュート巻鋼管：不使用不明管）ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、解体工事後の整地作業中に、掘削機（バックホー）にて供給管ねじ継手部を破壊したものと推定される。 不使用管につき本管面（取出し部）でプラグ止めを行い復旧完了。
136	10/28	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、解体工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事を行っていた作業員が、隣接の敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ張り損傷させ、その際に供給管も引っ張られたことで損傷しガスが漏出したことを確認した。 原因は、解体工事を行っていた作業員が施主から解体現場に残された不要な配管を撤去するように指示されていたことで、その配管が隣接の当該建物へ供給されていたガスの通じたガス管とは思わなかったため、ガス事業者へ照会することなく撤去しようとした結果、重機にて灯外内管及び供給管を損傷したものの。
137	10/30	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該建物の解体作業中に、埋設されていた灯外内管（白管：32mm）を重機にて損傷したことを確認した。 ガス事業者は、解体工事業者より建物解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行い、その切断位置及びガスの通じたガス管が敷地内に埋設されていることの周知を行った。 原因は、解体工事業者の作業員が、ガス管切断位置等について周知されていたことから、作業範囲内にはガスの通じているガス管はないと思い重機にて作業していたところ、ガス管を損傷したものの。 なお、損傷されたガス管については図面や工事の履歴がなく、ガス事業者は当該敷地内でのガス管切断作業の際に、情報を把握することができなかった。 （末照会工事）

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
138	10/30	東京都	整地・造成工事	都市ガス	0	建設工事業者の作業員から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建設工事業者の作業員が、当該敷地内の整地作業中に埋設されていた灯外内管（25mm）を重機にて引っ掛けて損傷させ、その際に引っ張られた供給管（25mm）の接続部からガスが漏出したことを確認した。 原因は、建設工事業者の作業員が、当該敷地が元は公園だったこと、また、ガス管表示シールや表示杭も見受けられなかったため、整地作業範囲内にガス管はないものと思い、重機で作業していたところ、ガス管を損傷したものの。
139	11/4	滋賀県	外構・門扉工事	都市ガス	0	敷地内他工事において灯外内管（25A）を損傷したものの。 原因は、外構工事業者が玄関前の屋外コンクリート部に介添え用手すり（支柱）を設置する際に、コア抜きドリルにより灯外内管を損傷したことによる。
140	11/10	鳥取県	建物改修・改装工事	都市ガス	1	改装中店舗において、水道設備業者が床コンクリートをロードカッターで切断時に埋設ガス管（灯外内管：被覆鋼管25mm、深さ0.1m）を折損したものの。 原因は、水道設備業者が店舗内（閉栓中、メーター残置）において都市ガス配管の照会を行わないままロードカッターで床コンクリートを切断した。その際、埋設配管を切断し、ガスが漏洩した。ガスの漏洩を止めようとした水道設備業者作業員が付近を研ったことにより着火したと想定される。 なお、着火により、改装中店舗壁面を幅1.3m、高さ2mにわたり焼損。作業員1名も軽度の火傷を負った。
141	11/12	奈良県	解体作業	LPガス	0	閉栓中の元飲食店において、解体工事業者が作業中、誤って重機でバルク貯槽を損傷させた。都市ガス業者より連絡を受けた販売事業者が現場に出動しバルク貯槽内の液体ガスの回収及び残ガスの処理を行った。なお、メーカーにより安全弁本弁一式を取り外し、破損箇所の検証を行ったところ、安全弁本弁フランジ接続面ガスケット変形とガス取出弁と本体接続部とのOリングが重機による解体時の衝撃等で変形し漏えいが発生したと推定される。 原因は、解体工事業者によるバルク貯槽附属品の損傷によるものの。 なお、当該店舗の解体時には旧消費者から建物所有者へ工事の時は販売事業者への事前連絡が必要である旨を伝えてなかったとのこと。また、店舗所有者及び旧消費者はバルク貯槽の存在を認識していなかったとのこと。販売事業者としては、バルク貯槽等に連絡先の記載をしていたが、解体時事前連絡が必要である旨の表記はしていないとのこと。さらに、販売事業者は旧消費者へ解体時の事前連絡要請を実施していたが、建物所有者へ直接要請はしていなかったとのこと。
142	11/18	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から、ガス管損傷現場への出動要請通報を受けガス事業者が出動したところ、当該店舗入口の扉の改修工事をしていた作業員が、コンクリート内に配管されていた灯外内管（被覆鋼管：25mm）を電動工具にて損傷したことを確認した。 原因は、作業員が、当該店舗の内装工事に伴い入口の扉を改修工事する際、作業範囲内にガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者に照会を行うことなく作業した結果、電動工具で損傷したものの。
143	11/25	滋賀県	外構・門扉工事	都市ガス	0	外構工事業者より敷地内整地中、敷地入口付近を重機（バックホウ）により掘削していた最中に、ガス臭がしたとの通報を受けガス事業者が出動。 調査の結果、灯外内管（白管25mm）ねじ継手部の破損と判明した。 原因は、外構工事業者がガス管の位置を確認することなく、重機（バックホウ）にて掘削したことにより、コンクリートに巻かれていた給管に入っていた灯外内管のねじ継手部が破損したものの。 なお、ガス事業者への事前照会はなし。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
144	11/28	広島県	下水道改修工事	LPガス	0	一般住宅において、他工事業者が下水道改修工事中に誤って埋設配管をコンクリートカッターで切断し、漏えいが発生したため、容器バルブを閉止し、販売業者に連絡をした。販売業者が到着後、露出部にプラグ止めを行い、ガス供給を再開した。 なお、他工事業者が販売業者と事前打ち合わせを行わなかったとのこと。
145	11/28	福岡県	下水道掘削作業	LPガス	0	共同住宅において、販売業者が集中監視システムより流量式微小漏えい警告を受信し、現場に出動したところ、供給側からの漏えいを確認できたため、仮供給手配を行った。翌日が休日であるため、翌々日に工事監督立ち合いの下、埋設部の調査を実施したところ、供給管継手より漏えいを確認し、修繕作業を行った。 原因は、他工事業者が下水道工事の掘削作業中に誤って重機で埋設供給管を損傷したことによるもの。
146	11/30	京都府	剪定作業	LPガス	0	一般住宅において、植木業者が植木の剪定中、誤って高圧ホース1本を切断し、直ちに容器バルブを閉め漏えいを停止させた。消費者より連絡を受けた販売業者が現場に出動し、高圧ホースと容器バルブの状態を確認し、高圧ホースの交換及び他の漏えいがないことを確認し、ガス供給を再開した。 原因は、植木業者の作業ミスによるもの。 なお、植木業者にガス設備の位置等が伝わっていなかったとのこと。
147	11/30	福島県	解体工事	都市ガス	0	当該建物の解体工事中に、エンジンカッターで通ガス中の灯外内管を切断したため、エンジンカッターから発生した火花が漏出したガスに引火し解体工事中の建物の壁を損傷した。 原因は、解体工事の作業員が、ガスは止まっていると思い込み、作業範囲にあった配管がたとえガス管であっても切断して問題ないとの認識で、ガス管であることを確認せずにエンジンカッターでガス管を切断し、エンジンカッターから発生した火花が漏出したガスに引火し火災に至ったと推定される。 なお、解体工事の実施およびガス管の有無についてガス事業者への事前照会はなかった。
148	12/1	宮城県	切断作業	LPガス	0	事務所において、空調設備工事業者が1階天井付近の庁舎内冷暖房用の水配管を工具で切断する工事中、誤って工事箇所付近のガス配管を切断してしまい、漏えいが発生した。ガス警報器連動にて漏えいが遮断された。また、空調設備工事業者がすぐに損傷箇所をビニールテープで巻き、漏えいを止めるとともに、ガス元栓を閉めた。 原因は、空調設備工事業者がガス配管を誤って損傷させたことによるもの。 なお、消費者が空調設備工事業者と事前に協議を行い、切断すべき配管に印をつけていたが、空調設備工事業者が切断直前に印をつけた保冷保温材をはがしてしまったため、ガス管を見誤ったとのこと。
149	12/3	和歌山県	地中削り作業	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が水道配管工事のため、地中削り作業中に埋設供給管を損傷し漏えいが発生した。
150	12/3	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	改修工事業者から、工事中にガス管を損傷したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、改修工事業者の作業員が、当該建物地下1階天井部の防水工事に伴い、天井部のコンクリートを電動工具にて穿孔した際に、灯外内管（白管：40mm）を損傷したことを確認した。 原因は、改装工事業者の作業員が、当該建物1階及び地下の天井に露出配管されていたガス管の位置や経路を想定した上で、防水工事を行う地下1階の天井コンクリート内にはガス管が配管されていないだろうと思い込み、ガス事業者に位置確認等の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
151	12/3	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「整地工事中、掘削機（バックホー）にてガス管を破損した。ガス噴出中。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管（25mm塩化ビニルライニング銅管：不使用管）ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、整地作業中、掘削機（バックホー）にて灯外内管を引っ掛け、ねじ継手部を破損したものと推定される。 なお、整地工事業者から、事前協議はなし。 破損箇所上流側の不使用管につき供給管を切断プラグ止めし、復旧完了。
152	12/3	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	警察から「マンション前道路付近で臭気がする」で受付け、ガス事業者が出動したところ、灯外内管（25mmアスファルトジュート巻き鋼管）の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が解体工事時にバックホーにて擁壁を倒し誤って灯外内管を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議はなし。 破損箇所上流側でプラグ止めし復旧完了。
153	12/3	福井県	駐車場等工事	都市ガス	0	敷地内他工事において灯外内管を重機で破損したものの。 原因は、カーポートを施工する業者が住宅敷地内埋設ガス管を重機で破損させたことによる。
154	12/4	千葉県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者の作業員から、解体工事現場にてガス管を破損したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該建物解体に伴う擁壁撤去作業の際、当該敷地内に埋設されていた灯外内管（25mm）を重機にて引っ掛け損傷し、また、その時に引っ張られた供給管（25mm）の接続部からガスが漏出したことを確認した。 ガス事業者は解体工事業者より建物解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行い、その切断位置及びガスの通じたガス管が敷地内に埋設されていることの周知を行ったとのこと。 原因は、解体工事業者の作業員が、ガス管切断位置等について周知・説明されていたことから、擁壁撤去作業の範囲内にはガスの通じているガス管はないと思い、重機にて作業していたところ、ガス管を損傷した。 なお、損傷されたガス管については図面や工事の履歴がなく、ガス事業者は当該敷地内でのガス管切断作業の際に、情報を把握することができなかったとのこと。
155	12/4	兵庫県	水道工事	都市ガス	0	水道工事に立会っていた工事業者からガス管を破損したとの通報でガス事業者が出動し、掘削機で埋設部分の引抜かれた箇所への応急措置を実施した。 また、掘削による調査の結果、供給管の取出し部分が損傷していることが判明し、本復旧処理を実施した。 原因は、水道工事業者が掘削機にて供給管（プラスチック被覆鋼管32A）を破損させたもの。
156	12/4	鳥取県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者の作業員が当該建物の2F天井近くにある灯外内管（SGP20A）をサンダーで切断したところ、ガス管内からガスが噴出して着火（直ちに消火器にて消火）との通報を受けガス事業者が出動。切断箇所を確認したところ、ガスの噴出があったため、噴出箇所をマスティックテープで応急処置。その後に2Fで当該系統の上流部分（SGP32A）をプラグ止めの措置を実施した。 原因は、解体業者が施主からガスが止まっていると聞き、ガスが建物境界で止まっていると思い込み解体作業を行った。しかし、実際には建物内のメーターガス栓でガスが止まっていたため、灯外内管を切断した際にガスが噴出して火災事故が発生したものの。

2020年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
157	12/5	東京都	外構・門 扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から、外構工事中にガスパ管を損傷し着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、当該現場の敷地内において着火事象を確認し消火器により消火措置を実施した。また、灯外内管（ポリエチレン管：25mm）溶融箇所からガスが漏出していることを確認した。 原因は、建設工事業者の作業員が、当該敷地内の表示杭を確認しておりガスパ管が埋設されていることは認識していたが、埋設深さまでは意識せずにガス事業者へガスパ管位地等の紹介を行うことなく作業した結果、ガスパ管を損傷し着火したものの。 なお、外構工事に伴うH鋼打ち込み後に、鉄骨をバーナー似て用いた際、何らかの原因で灯外内管に穴を開け、そこから漏出したガスに引火したものと推測される。
158	12/8	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物躯体解体工事中、重機にてガスパ管を破損した。」で受け、ガス事業者が出動したところ、ガス噴出を確認。引込み管遮断バルブを閉止し応急措置実施。調査の結果、灯外内管（100mm亜鉛引き鋼管：架空）ねじ継手部の破損を確認した。 原因は、事前協議で確認した施工日の前日に、解体工事業者が解体工事を実施し、はさみ機にて灯外内管を引っ掛け、ねじ継手部を破損したものと推定される。 破損箇所上流側で、プラグ止め実施し復旧完了。
159	12/8	広島県	下水工事	都市ガス	0	下水道工事会社より、工事現場がガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動したところ、削孔ボーリング施工時にガスパ管（ポリエチレン100mm）を破損していることを確認した。 原因は、推進用立坑の構築位置は、広島ガス立会いのもと試掘をして埋設ガスパ管の位置を確認していたが、観測孔（ボーリング孔）の削孔位置はガスパ管位置を推測して計画し、更に事前協議及び試掘立会を実施せず削孔ボーリングを施工したため。 なお、ガスパ管破損箇所周辺を掘削してテープ巻きにて応急措置を実施したが、管内に水及び土砂が流入していることを確認したため、ガスパ管破損箇所を切断して流入した異物除去作業を実施するとともに、圧力低下した範囲のお客さまの保安閉栓を12時34分より開始し、18時58分に全てのお客さまの閉栓を完了し復旧した。 ガス事業者への事前照会はなし。
160	12/12	東京都	外構・門 扉工事	都市ガス	0	需要家から、業者が敷地内にて塀を作っていた際に、火がついたとの通報を受けガス事業者が出動したところ、建築工事業者の作業員が、当該建物のフェンス改修工事に伴うコンクリートコア抜き作業中に、敷地内に埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：30mm）を損傷したことを確認した。また、その際に漏出したガスに着火したことで需要家の既設フェンスが一部焼損したものの。 原因は、建築工事業者の作業員が、フェンスを設置する作業範囲内にはガ管が埋設しているとは思わず、ガス事業者にガスパ管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガスパ管を損傷したものの。 なお、その際、電動工具を用いたコア抜き作業にて発生した火花が着火源となり、損傷したガスパ管から漏出したガスに着火したものと推測される。
161	12/13	兵庫県	その他 (需要家)	都市ガス	0	需要家より「自宅庭でテスを使用してはつり作業中にガスパ管を破損した。」で受けガス事業者が出動したところ、灯外内管（30mmポリエチレン管）の破損を確認した。 原因は、需要家が自宅庭でテスにてはつり作業中に誤って灯外内管を破損したものと推定される。 なお、需要家から事前協議はなし。破損箇所を取替え修繕し復旧完了。

2020年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
162	12/14	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から、工事中にガスパを切断した際に着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、解体工事業者の作業員が、当該現場の建物解体作業に伴い、ガスパ（灯外内管：被覆鋼管50mm）を電動工具にて切断中に着火したこと、及び消火器にて消火したことを確認した。 原因は、解体工事業者の作業員が、当該建物の解体作業に伴う養生板を設置する際に、ガスパが支障となることから、電動工具にてガスパを切断していたところ、着火したものの、 なお、作業員によると当該建物は電気及び水道の緑切り作業が完了していることを確認していたため、ガスパも切断されていると思い込んでいたとのこと。 また、消防によると灯外内管を電動工具にて切断した際に発生した火花が着火源となり、そこから漏出したガスに着火したものと推測されるとのこと。
163	12/14	大阪府	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者より「光センサー設備架空配管の工事に伴い3階の廊下貫通時に、ガスパを破損。」で受付け、ガス事業者が出動。ガス噴出音を確認し、引込み管遮断バルブを閉止し応急措置を実施した。 原因は、光ファイバーのさや管設置作業中、4階から3階へコンクリートコア抜き作業時に、3階天井裏架空配管灯外内管の管体部を破損したものと推定される。 なお、当該電気工事業者から事前協議はなし。当該灯外内管の破損箇所を取替え修繕完了。
164	12/14	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、掘削機（バックホー）にてガスパを破損。粘土詰めています。」で受付け、ガス事業者が出動。灯外内管（32mm塩化ビニルライニング鋼管：不使用管）継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事時、掘削機（バックホー）により灯外内管及び供給管（側溝カット済みで杭にて位置を表示している不使用管）の継手部を破損したものと推定される。 不使用管につき供給管を切断・キャップ止めし復旧完了。
165	12/17	神奈川県	防草シート設置作業	LPガス	0	一般住宅において、緊急時連絡委託先より販売事業者へ連絡があり、販売事業者が現場に出動したところ、埋設配管より漏えいを確認したため、消費者に埋設箇所改善までガスの使用中止を要請した。 原因は、造園業者より防草シート設置作業の際にシート止め金具が配管に接触し漏えいが発生したものの、 なお、造園業者から施工の事前連絡がなかったため、販売事業者の立ち合い及び配管ルートの確認ができなかったとのこと。
166	12/17	愛知県	研り作業	LPガス	0	一般住宅において、消費者より水道工事業者が水道メーターの取替工事中のコンクリート研り作業時に埋設配管を損傷したため、容器バルブを閉止したと通報を受けた販売事業者が現場に出動したところ、屋外の埋設配管（白管）からガス漏れ検知器の反応を確認したため、配管の入れ替え工事を実施した。入れ替え工事終了後、漏えい試験を実施し、漏えいがないことを確認した。 原因は水道工事業者が埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、水道工事業者から販売事業者に対し事前連絡はなかった。
167	12/21	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、ガスパを破損した。」で受付け、ガス事業者が出動したところ、掘削機（バックホー）にて灯外内管（25mm塩化ビニルライニング鋼管）の破損を確認した。 原因は、解体工事中に掘削機（バックホー）にて灯外内管（不使用管）を破損したものと推定される。 なお、解体工事業者から、事前協議は無し。不使用管につき取出し部にてプラグ止めを実施し復旧完了。

2020年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
168	12/22	東京都	その他 (需要家)	都市ガス	0	近隣住民から、玄関を開けて外に出るとガス臭いとの通報を受けガス事業者が出動し調査したところ、通報宅隣家の敷地内に埋設されていた灯外内管（ポリエチレン管：30mm）に損傷があり、そこからガスが漏出していることを確認した。 原因は、当該需要家が、敷地内の庭部分に人工芝を設置する際、ガス管が埋設されている認識はあったものの、人工芝を固定するピンの長さ（深さ）までではないだろうと思い、ガス事業者にガス管位置等の照会を行うことなく作業した結果、人工芝固定ピンにて灯外内管を損傷したものの。
169	12/23	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	建設工事業者から、工事中にガス管を損傷し着火したとの通報を受けガス事業者が出動したところ、工事業者の作業員が当該建物1階の改修工事に伴う電動工具によるコンクリート研り中、灯外内管（被覆鋼管：50mm）を損傷した際に着火し、消火器にて消火措置済であることを確認した。 原因は、工事業者の作業員が、改修する店舗のガスメーターが閉栓中であり、またガスメーター上流側のガス管は屋内に配管されていると思わなかったため、ガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者へガス管有無等の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したもので、その際、電動工具によるコンクリート研り中に発生した火花が着火源となり、そこから漏出したガスに引火したものと推測される。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
1	1/4	滋賀県	水道工事	LPガス (簡易)	0	水道工事業者がカッターによりコンクリートを切断した際、誤って灯外内管を切断し、ガス漏えいが発生した。ガス漏えい防止のため、バルブ閉止及びガス工作物からのガス供給停止を実施したため、115戸の供給支障事故が発生した。 原因は、水道工事業者がカッターによりコンクリートを切断した際に、付近にガス管は無いと誤認したため、灯外内管を切断し、ガス漏えい事故が発生したものの。
2	1/8	大阪府	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、改装工事業者から埋設管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が容器バルブとメーターガス栓の閉止を指示した後、現場へ出動し、埋設配管が損傷していることを確認した。 原因は、改装工事業者が排水工事の際に、埋設管の位置を確認しないまま作業を行い、削岩機で埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
3	1/8	大阪府	建築工事	LPガス	0	一般住宅において、建築工事業者から作業中に埋設管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管（プラスチック被覆鋼管）の継手部の損傷を確認した。 原因は、建築工事業者が基礎工事の際に、埋設管の位置を確認しないまま作業を行い、掘削機により埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者への事前連絡はなかったとのこと。
4	1/9	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	消防より「家屋解体中に、ガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、家屋解体工事中に解体用つかみ機にて、隣接で使用中の灯内内管を破損したものの。
5	1/10	長崎県	水道工事	LPガス	0	集団供給の個別の一般住宅（新築物件）において、仮設水道工事を行っていた水道工事業者が、掘削作業中に水道管に近接していた埋設供給管（ポリエチレン管）を工具（スコップ）で損傷したことによるもの。 なお、販売事業者は当該物件の建設工事業者と事前協議を行っており、また、ポリエチレン管が埋設されている旨の標示杭を設置していたが、水道工事業者への周知が不足していたものと推定される。
6	1/14	東京都	解体工事	都市ガス	2	解体工事業者から「建物解体作業中にガス管を損傷した」との通報を受け、受付中に爆発火災事象が発生した。 ガス事業者が出動したところ、建物2階で爆発が発生し、当該建物の1階・2階の損壊及び建物の一部焼損を確認した。また、当該建物の住民2名が負傷のため病院に搬送されたことを確認した。 原因は、解体工事業者が、解体工事範囲にあるガス管はガスが通じていないと思い、ガス事業者へ連絡することなく作業した結果、電動工具にて灯外内管を損傷したものの。その際、損傷したガス管から漏えいしたガスが、当該建物内に滞留し、建物2階に設置してあるガスこんろの点火により引火、爆発に至ったものと推定される。
7	1/24	千葉県	解体工事	都市ガス	0	需要家から「解体中の工事現場よりガス臭がする」との通報を受け、出動したところ、供給管の接続部が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていたガス管を重機にて引っ掛け、損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、ガス管表示杭の位置を予め確認できていたことから、当該敷地内の整地作業範囲内にはガスの通じているガス管はないものと思い、作業したところ、重機にてガス管を損傷したとのこと。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
8	1/26	鹿児島県	基礎工事	LPガス	0	飲食店において、基礎工事業者から供給管が損傷しガスが漏れいているとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、設備の損傷とガスの漏れを確認した。 原因は、基礎工事業者が容器設置場所の隣地を土留工事をせずに掘削していたところ、容器設置場所の基礎が崩落し、容器が落下したことで、調整器の高圧ホース接続部が損傷したことによるもの。 なお、基礎工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
9	1/28	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体工事中に、ガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手抜け破損によるガス漏れを確認した。 原因は、解体工事業者が灯外内管を掘削機（バックホウ）にて破損し、継手が抜け、ガス漏れが発生したものと推定される。
10	1/28	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物の解体工事中にガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が建物の解体作業中に、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの、 なお、解体工事業者によると、事前に連絡することなく解体作業を行った結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
11	1/29	東京都	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「鋼矢板の打ち込み作業中にガス臭気が発生した」との通報を受け、出動したところ、供給管が損傷し、ガスが漏れいていることを確認した。 原因は、水道工事業者が、掘削にてガス管の位置を確認していたにもかかわらず、掘削後にマーキングを復元せず、かつ図面の確認を怠ったためガス管が無いと思い込み、ガス事業者に連絡しないまま打ち込み作業を行い、ガス管を損傷したものの。
12	1/29	東京都	リフォーム工事	都市ガス	0	リフォーム工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 なお、安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止した結果、当該建物の需要家30戸への供給支障が発生した。 原因は、リフォーム工事業者が当該建物地下3階において、排水管の敷設作業に伴うコンクリート研り作業中に、配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものの。 また、リフォーム工事業者によると、ガス事業者へ事前に連絡することなく、排水管の敷設作業に伴うコンクリート研り作業を行った結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
13	2/1	香川県	電気工事	LPガス	0	一般住宅において、造成団地内の電柱入れ替え工事に伴う掘削作業時に、漏れが発生した。 原因は、掘削作業中、重機により埋設された供給管に接触し損傷させたことによるもの。 なお、工事業者は工事前に販売事業者との協議がなかったことにより、現場作業者が埋設管の確認を行っていないかったとのこと。
14	2/1	神奈川県	下水工事	都市ガス	0	他工事巡回員から「下水工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、下水工事により損傷された供給管に水道水が流入し、供給支障が発生した。 原因は、下水工事業者がカッターにて作業したところ、供給管および、給水管がカルバート上部に浅く埋設されていたため損傷し、給水管から噴出した水道水がガス管に流入し、支管を閉塞したため、供給支障となったもの。
15	2/1	東京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「ガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、道路工事業者が道路改良作業中に当該敷地内に埋設されていたガス管をエンジンカッターにて損傷したものの。 なお、道路工事業者によると、当該建物がLPガス供給の店舗であったことから、当該敷地内にガスの通じているガス管は埋設されていないと思い、道路改良工事に伴う掘り付け舗装中にエンジンカッターにてガス管を損傷したとのこと。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
16	2/4	沖縄県	下水道工事	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事に伴う掘削時に漏えいが発生した。 原因は、下水道配管工事中、重機が埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、下水道工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
17	2/5	埼玉県	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より自宅の改装工事中に改装工事業者がLPガス配管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し確認したところ、ガスメーターに圧力低下遮断（BCP）が表示されていること、また床下配管が損傷していることを確認した。 原因は、改装工事業者が作業中に誤って床下配管を切断したことによるもの。 なお、消費者及び改装工事業者から販売事業者に工事前の事前連絡がなかったとのこと。
18	2/6	千葉県	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者が水道管を切断しようとした際、誤って配管を切断し、ガスが漏えいした。 原因は、水道工事業者が配管の確認をせずに切断し損傷させたもの。
19	2/7	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	協力企業から「建物の改装工事を行っていた設備工事業者より、ガス管を損傷させた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。なお、安全確保のため引込管ガス遮断装置を閉止した結果、当該建物の需要家33戸への供給支障が発生した。 原因は、設備工事業者が給水管の改修工事に伴う建物1階パイプシャフト内コンクリートの切り作業中に、コンクリート下に配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものである。 なお、設備工事業者によると、給水管の改修工事に伴うコンクリート切り作業の範囲内に、ガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
20	2/9	埼玉県	建物改修・改装工事	都市ガス	0	設備工事業者から「建物の改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷していることを確認した。 原因は、設備工事業者が給水工事に伴う建物1階パイプシャフト内のコンクリートコア抜き作業中に、コンクリート下に配管されていたガス管を電動工具にて損傷したものである。 なお、設備工事業者によると、給水管の更新工事に伴う建物1階パイプシャフト内のコンクリートコア抜き作業範囲内に、ガス管が配管されているとは思わなかったため、ガス事業者によるガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したとのこと。
21	2/18	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物解体作業中に火が付いた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、建物解体に伴う配管切断作業範囲にある管はガスの配管でないと思い、ガス事業者によるガスの通じているガス管があるかの確認を行うことなくバーナーにて配管切断作業を行った結果、ガス管を損傷した。その際、漏えいしたガスに配管切断作業に用いたバーナーの炎が着火し、ガス管固定金具を焼損したものである。
22	2/19	京都府	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事中に、ガス臭気あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、家屋解体工事中に、解体用つまみ機にて灯外内管を破損したものである。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
23	2/21	大阪府	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	造園工事業者から「植樹工事中、ガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、破損箇所付近よりガス臭気を確認した。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家56戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の管体破損を確認した。原因は、敷地内の植樹工事に伴い掘削し、造園パール（造園工具）にて灯外内管の管体部を破損したものの。
24	2/22	佐賀県	不明	LPガス	0	共同住宅において、工事業者より掘削工事中に埋設配管を損傷させ漏えいに気づいた作業員が容器バルブを閉止し販売事業者に連絡をした。販売事業者は現場に出動し配管の損傷を確認した。原因は、工事業者が掘削工事中に埋設配管を誤って損傷させたことによるもの。なお、工事業者による販売事業者への埋設管の事前照会がなかった。また、埋設標識シートにも気づけなかったとのこと。
25	2/23	神奈川県	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から「外構工事作業中にガス管を損傷し火が付いた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。原因は、建設工事業者が、外構工事作業範囲内に切断済みのガス管があることは確認していたが、ガスが通じていないと思い、ガス事業者がガスに流れているガス管があるかの確認を行う事なく、ガス管切断作業を行った結果、電動工具にて損傷した。その際、漏えいしたガスに配管切断作業に用いた電動工具の火花が着火源となり着火し、火災が発生したものの。
26	2/26	京都府	解体工事	都市ガス	0	警察から「解体工事中、ガス管を破損。警察、消防出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、解体工事業者が家屋解体中、不使用の灯外内管（道路からの引き込み立上り露出部）をガスが流れていないガス管と思い込み、ディスクグラインダーにて切断したものの。
27	2/27	茨城県	下水道工事	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者から道路の掘削作業中に埋設供給管を損傷させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し埋設本管（供給管）からの漏えいを確認した。原因は、下水道工事業者が道路の掘削作業中に誤って埋設供給管を損傷させたことによるもの。なお、下水道工事業者から販売事業者へ工事による立会の依頼がなかったとのこと。
28	3/1	大阪府	その他（白蟻駆除）	都市ガス	0	白蟻駆除工事業者から「白蟻の駆除工事に伴う穴あけ工事中にガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、建物の白蟻駆除に伴う薬品注入の為に、敷地内を電動ハンマードリルでボーリング工事中に、灯外内管の管体を破損したものと推定される。
29	3/4	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。原因は、建設工事業者が、当該敷地内にガス管表示杭を確認していたが、道路上で撤去され、新築工事の山留作業に伴う掘削作業範囲内にガス管はないと思い、ガス事業者がガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
30	3/12	埼玉県	水道工事	LPガス	1	一般消費者からガスが使えない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し確認したところ、現場付近の水道工事により埋設供給管（低圧部）が損傷し、漏えい火災が発生していることを確認した。原因は、水道工事業者が重機で道路を掘削中、誤って供給管を損傷させたことによるもの。また、金属スコップの使用により生じた火花が引火し着火したものと推定される。
31	3/12	兵庫県	外構・門扉工事	都市ガス	0	ガス事業者の社員から「新築工事現場にて外構工事中にガス管破損を発見」との連絡を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。原因は、戸建住宅の新築外構工事中に灯外内管（不使用管）を掘削機（バックホウ）にて破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
32	3/13	愛知県	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者が敷地内工事中に、灯外内管をコア抜き工事にて損傷し、ガスが噴出した。 ガス事業者が分岐バルブ50mmを閉止し、当該建物の需要家34件が供給支障となったもの。
33	3/15	北海道	排雪工事	LPガス	0	事務所において、消費者からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し確認したところ、屋外横引き配管の継手部より漏えいを確認した。 原因は、屋根工事業者が工事の際、設備付近に排雪したことで雪解けの荷重により配管と継手のねじ部に亀裂が入ったことによるもの。 なお、屋根工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。
34	3/15	京都府	水道改修工事	都市ガス	0	水道工事業者から「漏水修理工事の際、敷地内を掘削したところチップバーで灯外内管を破損して着火」と通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、漏水修理工事の際に敷地内を掘削したところ、チップバーにて灯外内管を破損したものの。
35	3/15	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物がLPガス供給であったことからガスの通じたガス管はないと思い、建物解体工事に伴う掘削作業を行った結果、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの。
36	3/16	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	消防から「マンション解体中、ガス管を破損して爆発し、煙が出ている」との通報を受け、出勤したところ、噴出したガスに引火していることを確認した。ガス事業者により当該建物の引き込み管遮断バルブを閉止し、ガス漏えいを停止、応急措置を完了した。 原因は、消防によると、解体工事時に、電動ノコギリにて灯外内管を誤って破損し、噴出・滞留したガスに電動ノコギリのスパークにより着火したものと推定される。
37	3/19	大阪府	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事中に、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、家屋解体中に灯外内管を解体用つまみ機にて破損したものの。
38	3/19	東京都	解体工事	都市ガス	0	消防から「当該住所付近よりガス臭気」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者によると、当該建物がLPガス供給であり、LPガス容器も既に撤去されているものと認識していたことから、ガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を切断したとのこと。
39	3/23	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内整地工事に伴う杭打ち掘削中に、ガス管を破損。敷地内で、2m程度ガス管を引き抜いた。ガスの臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管及び供給管の破損を確認した。 原因は、整地工事に伴う地盤改良工事（アースオーガーによる杭打ち作業）の際、整地工事業者がガス管位置を未確認のため、当該敷地内の灯外内管を巻き込み、供給管を引き抜いたものの。
40	3/27	東京都	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、供給管ならびに灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、下水道工事業者によると、掘削作業の範囲内に、ガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。

2019年の建設工事等におけるガスパイプ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
41	4/2	長野県	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者がコンクリートカッターにより誤って埋設供給管を切断し漏えいが発生した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者からの事前連絡は行われていなかったとのこと。 (バルク容器 500kg×1基)
42	4/2	福岡県	建物改修・改装工事	都市ガス	0	マンションの改修工事において、他工事業者が当該敷地内コンクリート部分を舗装カッターにて切断作業中、埋設された灯外内管を破損した。二次災害防止のため、ガス事業者にて当該マンションの引込管ガスパイプ遮断装置を閉止したことにより、34戸の供給支障が発生した。
43	4/3	鹿児島県	水道工事	LPガス	0	その他店舗において、消費者からガス臭がするとの通報を受けた販売事業者が現場へ緊急出動したところ、埋設配管の半分以上が切断され、またガスメーターに合計・増加流量オーバー遮断がされていることを確認した。 原因は、水道工事業者が漏水修理のためグライダーにより水道管を切断した際、誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、消費者及び水道工事業者から販売事業者にて工事前の事前連絡がなかったとのこと。
44	4/5	長野県	水道工事	都市ガス	0	複数需要家から「ガスが使えない」との通報を受け、出動したところ、供給支障の発生を確認した。 原因は、水道工事の施工者がカッターにて舗装切断作業したところ、低圧支管に設置されている水取器立管が舗装に覆われていたため気付かず水取器立管を損傷し、舗装切断に伴い発生した漏水が、低圧支管に流入し閉塞したため、供給支障となったものの。
45	4/8	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガスパイプを損傷した」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が建物解体工事に伴う掘削作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、掘削作業範囲内にガスパイプが埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にてガスパイプの有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、当該敷地内に埋設されて別建物に供給しているガスパイプを重機にて損傷したものの。
46	4/9	和歌山県	管工事	LPガス	0	一般住宅の敷地内において、工事業者による浄化槽の入れ替え工事の際、コンクリートカッターにより誤って埋設供給管(25A)を損傷させ、漏えいが発生した。また、当該敷地は、約15年前に埋設管を用いた集団供給から容器による戸別供給へと切替えたが敷地内の埋設供給管は撤去されていなかった。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、工事業者が事前連絡をしておらず、埋設配管の位置を把握していなかった。
47	4/9	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガスパイプを破損、ガスが噴出している」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が破損したことを確認した。 原因は、建物外壁取壊し中、外壁が崩れ、灯外内管(不使用管)を破損したものの。
48	4/10	山梨県	下水改修工事	LPガス(簡易)	0	需要家から「敷地内下水道工事中にガスパイプを損傷してしまった」との通報を受け、出動したところ、敷地内のコンクリートカッターにより灯外内管を損傷していた。なお、特定製造所付近での損傷で導管バルブがないため、保安確保のため、特定製造所のバルブを閉止し、84戸を供給停止した。 原因は、敷地内の下水道工事において、灯外内管の埋設位置等を確認せずコンクリートカッターによる施工を行ったため。

2019年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
49	4/13	栃木県	外構工事	LPガス	0	一般住宅（集団供給）において、近隣の住民から解体工事により埋設供給管（ポリエチレン管25A）を損傷し、漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、先に到着した消防により供給が停止していることを確認し、補修作業を行った。原因は、解体工事中、重機により埋設供給管を損傷させたことによるもの。なお、外構工事業者が埋設供給管の位置を把握していなかった。
50	4/15	東京都	解体工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ロックオーガー工法にて削孔作業中にガスパ管を損傷した可能性がある」との通報を受け、出動したところ、オーガーにて低圧本管が損傷していることを確認した。原因は、建設工事業者が、ガス事業者との事前協議は行ったが、地下躯体解体への変更及び地下躯体解体に伴うオーガー削孔を行う旨の連絡及び協議は行わなかった。当日もガス事業者への施工連絡をしないで、オーガー削孔を敷地内で行ったところ、誤って公道部を削孔し、低圧本管を損傷したもの。
51	4/16	長崎県	下水道工事	LPガス	0	共同住宅において、下水道工事業者がコンクリートカッターにより誤って埋設供給管を切断し漏えいが発生した。原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。なお、下水道工事業者が事前連絡をしておらず、埋設配管があるとの意識がなかった。
52	4/16	北海道	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「火災発生」との通報を受け、出動したところ、灯外内管からガスが漏えいし、電動工具の火花が着火源となり、火災が発生した。原因は、入居予定者が店舗内部改装作業において、間仕切り壁の撤去中に、露出した灯外内管を電動工具を用いて切断撤去しようとした際に、ガスパ管を損傷し、漏えいしたガスに切断時の火花が着火源となって、火災に至ったもの。
53	4/18	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、敷地内不使用ガスパ管破損」との通報を受け、出動したところ、供給管の破損を確認した。原因は、家屋解体後の整地工事中、供給管（不使用）をバックホーにて破損したもので、バックホーのオペレーターの位置確認ミスによるもの。
54	4/19	東京都	水道工事	都市ガス	1	協力企業の作業員から「水道工事作業員が工事中にガスパ管を損傷し着火した」との通報を受け、出動したところ、水道工事業者が工事中に灯外内管を損傷し、着火したこと及び水道工事作業員1名が重症（火傷）であることを確認した。原因は、水道工事業者の作業員は、ガスパ管であることは認識していたがガスが止まっていると思い込み、ガス事業者に照会を行うことなく切断しようとした結果、当該敷地内に埋設されていたガスパ管を電動工具にて損傷した。その際、電動工具から発生した火花が着火源となり、損傷したガスパ管から漏えいしたガスに着火したものと推定される。
55	4/22	京都府	水道工事	都市ガス	0	協力企業から「水道工事中ガスパ管破損、平当なし。臭気あり」との通報を受け、出動したところ、供給管の破損を確認した。原因は、水道工事中、掘削機（バックホウ）にて、供給管を破損したものと推定される。
56	4/23	神奈川県	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「ガスパ管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。原因は、ガス事業者は、建築工事業者より、基礎工事の支障になるガスパ管撤去作業の依頼を受けていたため、建築工事業者の作業員がガスパ管撤去工事実施前に、ガスパ管の上流にバルブがあったことにより、バルブが閉止されガスの流入がないものと思い込み、ガスパ管をガスバーナーにて溶断したもの。その際、ガスパ管を溶断して漏えいしたガスに、ガスバーナーの火が着火したものと推定される。

2019年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
57	4/29	大阪府	衛生工事	都市ガス	0	消防から「マンション内で工事中、ガスパ管を破損した。消防出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、排水弁取替え工事中、コンクリート舗装カッター切りにて、灯外内管を破損したものの。
58	4/29	東京都	改修・改装	都市ガス	0	設備工事業者から「改修工事中にガスパ管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、設備工事業者が排水工事に伴うコア抜き作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が、掘削作業範囲内にガスパ管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガスパ管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、当該敷地内に埋設されていたガスパ管を損傷したものの。
59	5/5	岐阜県	解体工事	LPガス	0	団地内の一般住宅において、消費者よりガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、容器（50kg×10本）に霜がついており、空であることを確認した。その後、団地の当該住宅と同じ区画内で行われていた家屋の解体工事に伴い、供給管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が作業中に供給管を損傷したことによるもの。なお、解体工事業者は供給管の損傷に気が付いていなかったとのこと。また、解体工事業者から工事に関する事前連絡は行われなかったとのこと。
60	5/11	東京都	整地・造成工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体現場の近隣住民よりガス臭気の申し出があった」との通報を受け、出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管及び供給管が損傷していることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、灯外内管を重機で損傷させ、また灯外内管を引っ掛けた際に、供給管が損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、当該解体現場の整地作業範囲内にガスパ管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガスパ管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガスパ管を損傷したとのこと。
61	5/11	兵庫県	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	地盤改良工事業者から「敷地内地盤改良工事中にガスパ管を破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、地盤改良工事中、ボーリングマシンにて、灯外内管を破損したものの。
62	5/13	愛知県	下水工事	都市ガス	1	集合住宅敷地内において、下水工事のカッター作業中に、灯外内管を損傷してガスが漏えいした。漏えいしたガスを止めようと、周りのコンクリートを研った際に着火し、作業員1名が軽度の火傷を負った。 原因は、下水工事業者が、工事範囲内にガスパ管が無いと思い込み、カッター作業を行ったため。
63	5/13	大阪府	衛生工事	都市ガス	0	衛生設備工事業者から「マンション内の排水管改修工事に、コアドリルにてガスパ管を破損」との通報を受け、出動したところ、破損箇所付近にてガス臭気を確認した。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家51戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の管体部破損を確認した。 原因は、敷地内の排水管改修工事に伴うコアドリル作業中、灯外内管の管体部を破損したものの。
64	5/14	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ビルの立体駐車場の解体工事中にガスパ管を破損した。詰め物をして手当済み」との通報を受け、出動したところ、ガスが噴出していた。ガス事業者が安全確保のため、引き込み管遮断バルブを閉止し、当該建物の需要家50戸の供給支障が発生した。調査の結果、灯外内管の継手部破損を確認した。 原因は、ビル立体駐車場解体工事中、アイオンブレイカーにて、灯外内管を破損したものの。
65	5/15	大阪府	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中に供給管を破損。手当てせず土を被せている」との通報を受け、出動したところ、供給管の取出し部（ネジ部）での折損を確認した。 原因は、水道工事中、掘削機（バックホウ）にて、供給管を破損したものと推定される。

2019年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
66	5/15	大阪府	外構・門 扉工事	都市ガス	0	外構工事業者から「敷地内コンクリート部をコアドリルで掘削時にガスパを破損した。メーターガス栓閉止するも噴出止まらず」との通報を受け、出動したところ、灯外内管継手部の本体破損を確認した。 原因は、敷地内門柱設置工事時、コンクリートコアドリルにて掘削作業中、灯外内管の継手部本体を破損したものの。
67	5/16	京都府	道路舗 装・改修 工事	都市ガス	0	舗装工事業者から「道路舗装工事時、舗装を捲った際に、バルブのようなものをユンボで破損した」との通報を受け、出動したところ、供給管の取出し部での破損を確認した。 原因は、道路舗装撤旧工事中、バックホー（掘削機）にて供給管を破損したものの。
68	5/16	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中に、ガスパを引っ掛けた。手当なく臭気大」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部の折損を確認した。 原因は、解体工事中、バックホー（掘削機）にて灯外内管（不明不使用管）を破損したものの。
69	5/16	大阪府	外構・門 扉工事	都市ガス	0	建築工事業者から「外構工事中に、灯外内管を破損、ガス噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部（ネジ部）の折損を確認した。 原因は、外構工事中、バックホー（掘削機）にて灯外内管（不使用管）を破損したものの。
70	5/18	千葉県	下水工事	都市ガス	1	他工事業者が、敷地内の下水道工事中に、コンクリートカッターで作業を行っていたところ、誤って灯外内管を損傷した。漏えいしたガスがカッターから発生した火花により引火し、作業員1名が火傷を負った。また、建物の網戸を一部焼損した。 原因は、他工事業者が、工事範囲にガスパがないと思込み、ガスパの位置を確認せずにカッターで作業を行ったため。
71	5/19	鳥取県	建設工事	LPガス	0	学校等において、建設工事業者が1階トイレ床土間コンクリートの所工事を行った際、土中に埋設された配管を損傷させ漏えいが発生した。現場に居合わせた設備業者が漏えいしているバルク貯槽消費側のバルブを閉止し、販売事業者へ連絡をした。販売事業者が現場へ出動し損傷部の取り替え修繕を行った。 原因は、建設工事業者が工事中作業器具（エアブレーカ）により埋設配管を損傷させたことによるもの。 (バルク貯槽 490kg×1基)
72	5/21	鳥取県	整地・造 成工事	LPガス (簡易)	0	供給管に根がからみついた樹木を、重機により撤去しようとしたため、引き込みバルブ上流ねじ部を折損した。保安のため、調停戸数47件を供給停止した。
73	5/22	滋賀県	除草作業 等	都市ガス	0	需要家から「隣宅のガスメーター付近よりガス臭気。消防へも通報した。」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損箇所を確認した。 原因は、草刈り機の使用ミスによるガスパ破損と推定される。 造園業者からガス事業者への事前協議は無し。
74	5/27	静岡県	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者から、埋設管を損傷しガスが漏れいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管が損傷していることを確認した。 原因は、水道工事業者が隣接する新築一般住宅の水道管敷設工事に伴う掘削作業中に共同住宅の埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、水道工事業者から販売事業者への事前連絡は無く、物件管理会社に対しても詳細な工事の日時が知らされないまま工事が行われたとのこと。 また、新築一般住宅は共同住宅の所有者の家族が施主であったことから、共同住宅の敷地内を通じて、水道管敷設工事が行われたとのこと。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
75	5/27	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体現場において、ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が建物解体に伴う掘削作業中に、当該敷地内に埋設されていたガス管を重機にて損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、当該敷地内にガスの通じたガス管が配管されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたが、掘削する作業範囲内にはガス管はないと思い込み、ガス事業者に照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
76	5/27	福岡県	解体工事	都市ガス	0	「広範囲にわたりガスの臭いがする」との通報を受け、出勤したところ、臭気を確認したが、漏洩箇所が断定できず、即時ガス止め工事が出来ない為、特定製造所にて供給停止し、91戸の供給支障が発生した。 原因は、一般住宅において解体工事を行っており、解体現場裏手の家にあった灯外内管の損傷が漏洩の原因と思われる。裏手の家に敷設されている灯外内管が、当該解体現場との境界付近まで敷設されており、今回の外構基礎解体工事の際に基礎に巻き込まれ損傷された可能性が高い。
77	5/30	神奈川県	草刈業者	LPガス	0	事務所において、集中監視センターにて継続使用時間オーバー遮断予告を受信し、消費者に連絡をした。消費者よりガス器具の点火はしていないが容器よりガス漏えい音がし、メーターが回っている旨の報告を受け、販売事業者が現場に出勤したところ、メーターが圧力低下遮断していることを確認した。全ての器具栓を閉めメーター復旧操作をしたところ、合計・増加流量オーバー遮断したことから、翌日漏えい箇所を調査したところ、埋設配管より漏えいしていることを確認した。 原因は、事故の前日に草刈業者が防草シートを固定するため地面に杭を打ったことにより、埋設されていた配管用フレキ管を損傷させたことによるもの。
78	6/3	大阪府	下水工事	都市ガス	0	下水工事業者から「雨水工事時に掘削機にてガス管を破損。臭気大、手当不可で土中に埋めている」との通報を受け、出勤したところ、本管管体部での破損を確認した。 原因は、雨水工事中、バックホーにて本管を破損したものの。
79	6/3	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「路地入口、立管位置との別の所を掘削中に、臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管及び供給管が破損したことを確認した。 原因は、解体工事中、バックホー（掘削機）にて灯外内管及び供給管継手部を破損したものの。
80	6/4	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、建物解体工事に伴う足場設置に伴う杭打ち作業中に灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、杭打ち作業範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にはガス管の位置確認の照会を行うことなく作業した結果、打設した杭にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
81	6/5	栃木県	外溝工事業者	LPガス	0	共同住宅において、外溝工事業者から埋設配管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤したところ、埋設供給管（ポリエチレン管）の継手部の損傷を確認した。 原因は、外溝工事業者が掘削作業中に重機を埋設供給管に接触させ、継手部が損傷したことによるもの。
82	6/6	滋賀県	水道工事業者	LPガス	0	団地内の一般住宅において、水道工事業者が掘削作業中に埋設供給管（ポリエチレン管）を損傷し、ガスが漏えいした。 なお、販売事業者は工事前に水道工事業者と埋設管の位置を図面にて確認したが、現場立会いは行わなかったとのこと。また、以前供給を行っていた販売事業者から受領した図面と実際に供給管の位置が相違しており、当該掘削箇所には供給管が無いと認識していたとのこと。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
83	6/10	熊本県	電柱設置工事	LPガス(簡易)	0	当該団地付近で電柱の支柱施工業者が、穴掘り柱車にてスクリューを回転させ、斜めに掘削中、ガス管を損傷しガスが漏洩。安全確保のため全151戸のガス供給を停止した。 原因は、設備工事管理会社より、施工場所にはガス管は存在しないと説明を受けた支柱施工業者が掘削した事によるもの。
84	6/13	福岡県	設備工事	LPガス	0	共同住宅において、設備工事業者よりガス管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、壁内に隠ぺいされている供給管(SGP)が損傷していることを確認した。 原因は、設備工事業者が壁の切断作業の際に、壁内の隠ぺい供給管に気が付かず、管を損傷したことによるもの。
85	6/13	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管ならびに供給管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ掛けた結果、供給管ならびに灯外内管を損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガス管が配管されていること及び埋設位置の周知を行った。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガス管が埋設されていることを認識していたものの、ガス管埋設位置を誤って認識していたため、掘削作業時に重機にてガス管を損傷したとのこと。
86	6/17	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	設備工事業者から「建物の改修工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、コンクリート研り作業の範囲内にガス管が埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガス管を損傷したものの。
87	6/18	広島県	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者から埋設管を損傷し、ガスが漏れいしているとの連絡を受けた配送事業者が容器バルブの閉止を指示した。その後、販売事業者が現場にて埋設供給管(SGP)が損傷していることを確認した。 原因は、水道工事業者が掘削作業の際、カッターで埋設供給管を損傷したことによるもの。
88	6/18	大阪府	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事にガス管破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事中、解体用つかみ機にて灯外内管管体部を破損したものの。
89	6/19	愛知県	下水工事	都市ガス	0	集合住宅敷地内の下水工事にて、カッター作業中に灯外内管を損傷しガスが漏れいし、漏れいしたガスを停止するため、引込管バルブを閉止したことにより当該集合住宅が供給支障となった。 原因は、下水工事業者が、工事範囲にガス管が無いと思い込み、カッター作業を行ったため。
90	6/22	岐阜県	他工事業者	LPガス	0	店舗において、近隣住民よりガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、ガス検知器による漏えい確認を行ったところ、側溝より反応があったものの漏えい箇所は特定できなかった。その後、住民より当該店舗で前日に自動販売機の入替え作業があったとの情報を受け、自動販売機を移動し掘削により確認したところ、供給管が損傷していることを確認した。 原因は、自動販売機の設置時に転倒防止用アンカーを地盤面に打ち込んだことで、アンカーが供給管を損傷させたことによるもの。
91	6/24	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内基礎解体工事中に、コンクリートに巻き込まれていたガス管を破損。噴出音が出てガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ継手部破損を確認した。 原因は、建物基礎解体工事中に、掘削機(バックホー)により灯外内管を破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
92	6/26	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事業者より解体工事中、ガスパを破損したと連絡があり消防・警察出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、掘削機（バックホー）にて、誤って灯外内管を破損したものの。
93	6/28	大阪府	建物建築工事	都市ガス	0	建設工事業者から「新築工事中、臭気」との通報を受け、出動したところ、供給管を破損したことを確認した。 原因は、敷地内掘削作業中、バックホーにて灯外内管を誤ってひっかけ、供給管を引き抜き破損したものの。
94	7/2	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガレージ解体中に、敷地内埋設部でガスパを破損。ガスが噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、敷地内掘削作業中、バックホーにて灯外内管を誤って破損したものの。
95	7/3	熊本県	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	需要家から「ガスが出ない」との通報を受け、出動したところ、当該地区のガスパ内に水が流入し滞水していることを確認した。 滞水による供給支障は周辺需要家151戸。 原因は、他工事業者によるオーガーを用いた地盤改良工事中に、支管と給水管を同時に損傷し、損傷箇所から水道水が流入したことが確認された。
96	7/5	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガスパを引っ張り、敷地境界付近で抜けた。粘土で手当済みだが少しガス臭い。商店街の中です」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のネジ継手部の破損を確認した。 原因は、建物解体工事中、掘削機（バックホー）による作業時に、誤って灯外内管を破損したものの。
97	7/6	東京都	解体工事	都市ガス	0	隣家でガスパの修繕を行っていた協力企業から、「建物1階店舗内を解体していた内装工事業者よりガスパを損傷」との報告を受け、ガス事業者へ通報、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、内装工事業者によると、当該建物1階店舗内の解体工事作業範囲内にガスパの通じたガスパはないと思い、ガス事業者にガスパの有無及び配管経路の照会を行うことなく作業した結果、ガスパを損傷したとのこと。
98	7/9	東京都	排水工事業者	LPガス	0	事務所において、消費者よりガスが使えないとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し確認したところ、メーターが合計・増加流量オーバー遮断されていることを確認した。 原因は、事故の2日前に当該事務所の排水工事を行った際、誤って配管を損傷させたことによるもの。
99	7/10	東京都	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物のガスパが地境付近で撤去済みであると思い込み、ガス事業者にガスパの有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、ガスパを損傷したものと推定される。
100	7/11	奈良県	解体業者	LPガス	0	一般住宅（小規模導管供給先）において、解体工事業者が電動工具により埋設供給管を切断し、漏えいしたガスに工具の火花が引火した。 原因は、解体工事業者が作業中に埋設供給管の立ち上がり部分を誤って切断したことによるもので、埋設供給管にガスが充填されていることを確認していなかった。 なお、当該住宅は約10年前からオール電化住宅に変更していたが、埋設供給管は残っていたとのこと。

2019年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
101	7/12	静岡県	外構・門 扉工事	LPガス (簡易)	0	工事業者から「ブロック塀を作る為に境界付近を掘削している際に灯外内管を損傷」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 二次災害防止と損傷部の掘削作業の為に、支管（40mm）のバルブを閉止し33戸の供給を停止した。 原因は、作業範囲内にガス管が埋設配管されていると思わず、位置確認の照会をしなかった結果、灯外内管を重機で損傷したものの。 プラグ止めにて修理完了。
102	7/12	東京都	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者から「電気工事中、道路にカッターを入れたらガス臭気があがった」との通報を受け、出勤したところ、カッターにより支管が損傷していることが判明した。 原因は、電気工事業者が、ガス管の埋設物調査を行わず、かつガス事業者に未照会のまま施工したところ、支管が不明コンクリート構造物の上部に浅く埋設されていたため損傷したものの。
103	7/13	大阪府	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「カッター切り作業中にガス管を破損、メーターガス栓を閉止するもガス噴出止まらず」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、敷地内でカッター切り作業をしている際に、灯外内管の直管の管体部を破損したものの。
104	7/17	大阪府	土質調 査・地盤 改良工事	都市ガス	0	地質調査業者から「敷地内土質調査時、ボーリングマシンによりガス管を破損、臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、地質調査に伴うボーリングマシン作業中に、灯外内管の直管管体部を誤って破損したものの。
105	7/22	奈良県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体中、ガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管からのガス漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が無連絡で建物解体工事を実施し、掘削機（バックホー）にて、灯外内管を破損したものの。
106	7/23	埼玉県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者が、敷地境の擁壁の解体を行っていたところ、土中の灯外内管を損傷、解体作業で発生した何らかの火花により、漏えいしたガスに引火し擁壁を焼損した。 原因は、ガス管の埋設位置を確認せずに擁壁解体作業を行ったため、ガス管を損傷したものの。
107	7/25	東京都	リフォーム 業者	LPガス	0	共同住宅において、改装工事業者が配管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、改装工事業者がマンホール移設のため、当該住宅のコンクリートを掘削した際、誤って埋設供給管に穴を開けてしまったことによるもの。
108	7/25	兵庫県	水道工事	LPガス (簡易)	0	水道工事業者が道路掘削機で、支管を破損しガスが漏洩した後、ガスに引火したものの。 原因は、水道工事業者が、ガス管があることを認識せずに道路掘削機で支管を破損し、ガスが漏えい。ガス漏れ箇所を特定するために電動コンクリートブレイカーでアスファルトを砕いたところ着火したものの。
109	7/25	東京都	整地・造 成工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より建物解体に伴い、ガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を行った。その際、当該敷地内にガスの通じたガス管が埋設されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、ガス管表示杭の位置をあらかじめ確認できていたことから、敷地内の整地作業範囲内にはガスの通じているガス管はないものと思い作業したところ、重機にてガス管を損傷したとのこと。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
110	7/26	東京都	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷させた」との通報を受け、出勤したところ、H鋼打ち込み作業中に、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者は、設備工事業者より「ガス管は道路面で切った」と聞いていたことから、敷地内にガス管がないと思い込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、ガス管を損傷したものの。
111	7/29	岡山県	水道業者	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が工事中に電動工具により配管を損傷させ漏えいしたガスに着火した。なお、マイコンメーターよりガスを遮断したことから火災には至らなかった。 原因は、水道工事業者が配管（白管）を水道管と勘違いし、電動工具で切断し損傷させたことによるもの。 なお、水道工事業者より販売事業者に工事の事前連絡は行われなかったとのこと。
112	7/20	東京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「カッター作業時にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、供給管が損傷されていることを確認した。 原因は、道路工事業者がカッターにて作業したところ、供給管が浅く埋設されていたため損傷したものの。
113	7/30	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、掘削機にてガス管を破損。ガスが噴出し臭気有り。手当していない」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が、ガス管があることを認識せず、掘削機（バックホウ）にて灯外内管を破損したものの。
114	7/31	神奈川県	排水管工事業者	LPガス	0	一般住宅において、容器配送業者より排水管工事業者が埋設配管継手部を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が現場に出勤し、容器のバルブを閉止した後、メーターが合計・増加流量オーバー遮断（C表示）していることを確認した。 原因は、排水管工事業者が排水管の入れ替え工事におけるコンクリート切断作業時に、カッターを埋設配管継手部に接触させたことによるもの。
115	7/31	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中にガス臭気する」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因はガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
116	7/31	東京都	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事現場がガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者は、施主がガスの停止を申し込むことになっていたので、実際は閉栓のみであったにもかかわらずガス管が地境付近で撤去済みであると思い込み、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガス管を損傷したものの。
117	8/3	鳥取県	住宅改修工事業者	LPガス	0	一般住宅において、住宅改修工事業者が埋設供給管継手部を損傷させ漏えいが発生した。 原因は、改修工事業者が駐車場整備のため重機で花壇を掘削した際、引き込みバルブに引っかかり埋設供給管接続部を損傷させたことによるもの。
118	8/3	福島県	下水道工事業者	LPガス	0	道路において、下水道工事業者より工事中に埋設供給管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し緊急処置を行った。 原因は、下水道工事業者が掘削作業中に重機を埋設供給管に接触させ、損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者は下水道工事業者から事前の事前連絡を受け、埋設管の確認を行ない、当日も立会いの上埋設管の位置を確認していたが、掘削作業実施者への注意が不足していたと推測される。なお、事故は販売事業者が現場から退去した後に発生した。

2019年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
119	8/3	大阪府	解体工事	都市ガス	0	需要家から「需要家本人にて解体工実施中に、門扉横を掘削すき取った際に、ガスパを破損。陽炎が上がっている。手当なし」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、需要家本人にて解体工実施中に、灯外内管をバックホウにて破損したものの。
120	8/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中にガス臭気をする」との通報を受け、出動したところ、解体工事業者が作業中に、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者は、既に縁切りされていたLP設備を確認していたことから、当該敷地内にガスの通じたガスパはないと思ひ込み、ガス事業者にガスパの有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にて敷地内に埋設されていたガスパを損傷したものの。
121	8/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガスパを損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管ならびに供給管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内に埋設されていた灯外内管を重機にて引っ掛けた結果、灯外内管ならびに供給管を損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より当該建物の解体に伴いガスパの切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガスパ切断作業を行った。その際、敷地内にガスの通じたガスパが配管されていること及び埋設位置の周知を行った。 なお、解体工事業者によると、敷地内にガスの通じているガスパが埋設されていることを認識していたものの、コンクリート壊し作業時に重機にてガスパを損傷したとのこと。
122	8/5	東京都	その他改修工事	都市ガス	0	建設工事業者から「建物1階敷地内でのコンクリートカッター作業中にガスが噴出した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者が1階店舗前のスロープを階段に変更するため、コンクリートカッター作業を行った際、灯外内管を損傷したものの。 なお、建設工事業者によると、官民境近傍に貼付されたガスパ表示シールによりガスパが埋設されていることの認識はしていたものの、コンクリートカッター作業の範囲内には埋設されているとは思わなかったため、ガス事業者にガスパの位置確認を行うことなく作業した結果、コンクリートカッターにてガスパを損傷したとのこと。
123	8/6	東京都	水道工事	都市ガス	0	設備工事業者から「給水工事作業中にガス臭気を感じた」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が9階住戸の給水管取替に伴うパイプシャフト内コア抜き作業の際、灯外内管を損傷したものの。 また、ガス事業者が安全確保のため分岐バルブを閉止した結果、当該建物内83戸の供給支障が発生した。 なお、設備工事業者によると、給水管取替に伴うコア抜き箇所が給水管を挟みガスメーターの反対側であったことから、作業範囲内にガスパが配管されているとは思わなかったため、ガス事業者にガスパの位置確認を行うことなく作業した結果、コア抜き用ダイヤモンドカッターにてガスパを損傷したとのこと。
124	8/7	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体作業中、ガスパを破損。シューと音がしてガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、前日、ガス事業者と解体工事業者にて協議し、当日の夕方にガス事業者にて側溝でカットを行う約束であったが、解体工事業者がガス事業者に連絡無しで先行して工事を行い、誤ってガスパを破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
125	8/8	長野県	草刈作業 者	LPガス	0	共同住宅において、町職員が敷地内の草刈作業を行っていたところ、誤って草刈機を配管に接触させ漏えいが発生した。 なお、ガスメーターによりガスは遮断されたとのこと。
126	8/8	大阪府	整地・造 成工事	都市ガス	0	新築工事業者から「敷地内新築工事時、ガス管を破損。ガスが噴出し手当てできない」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う整地工事時にバックホウ（掘削機）にて灯外内管を誤って破損したものの。
127	8/9	山口県	大工	LPガス	0	一般住宅において、建設業者が屋根の張替え工事の作業中に、誤って配管（配管用フレキシ管）を損傷させ、漏えいが発生した。 なお、建設業者は直ちに容器バルブを閉栓した。 原因は、建設業者が誤って垂木のない部分に釘を打ち、釘が軒下の配管用フレキシ管を貫通したことによるもの。 なお、建設業者は工事前に配管の位置確認を行わなかったとのこと。
128	8/17	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋の解体工事中に、ガス管を破損。ガスが噴出中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、家屋解体作業中、バックホウにて灯外内管を破損したものの。
129	8/20	兵庫県	水道改修 工事	都市ガス	0	病院関係者から「2階給湯室の水道修理時に、ガス管を破損した。ガス管は壁内で見えていない」との通報を受け、出動したところ、灯内内管の破損を確認した。 原因は、水道工事業者が携帯電気ドリルで壁に穴を開ける際に、灯内内管を破損したものの。
130	8/22	福岡県	他工事業者	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者より壁の張り替え工事中に誤って配管を切断した旨の連絡を受けた販売業者が現場へ出動し、ガスメーターが合計・増加流量遮断していること及び配管からの漏えいを確認した。 原因は他工事業者が壁内を確認せず壁にカッターを適用し、内部の配管を損傷したことによるもの。 なお、他工事業者は消費者に配管の確認を行なったが、消費者は壁内の配管を把握していなかったとのこと。
131	8/22	京都府	建物改修・改 装工事	都市ガス	0	増改築工事業者から「店舗増改築工事時コンクリートカッターでコンクリート切断中ガス管を破損。手当てできず、ガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、電動コンクリートカッターにてコンクリート切断時、誤って灯外内管を破損したものの。
132	8/24	京都府	整地・造 成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内で工事中に、掘削機（バックホウ）でガス管を破損し、手当てなし」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ部の破損を確認した。 原因は、整地工事中にバックホウ（掘削機）にて不使用の灯外内管のねじ部を破損したものの。
133	8/28	大阪府	外構・門 扉工事	都市ガス	0	増改築工事業者から「駐車場の土間をコアドリルにてコア抜き作業中に、ガス管を破損。コアドリルはそのままの状態、濡れタオルで手当て中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、敷地内（駐車場）のフェンス設置工事に伴い、土間をコアドリルでコア抜き作業中、誤って灯外内管を破損したものの。
134	8/29	奈良県	解体工事	都市ガス	0	警察から「解体工事現場でガス管が破損し、ガスが噴出している」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が当該敷地内にはガス管は無いものと思い込み、基礎コンクリート部分をバックホウにて掘削していた所、灯外内管を破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
135	8/31	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管（40mm：プラスチック被覆鋼管）の損傷を確認した。 原因は、解体工事業者が敷地内の樹木を重機にて引き抜いた際、埋設されていた灯外内管を損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内の樹木を引き抜く作業の範囲内にはガスの通じたガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく重機にて樹木の引き抜き作業を行った結果、敷地内に埋設されていたガス管を損傷したとのこと。
136	9/2	埼玉県	植栽業者	LPガス	0	特別養護老人ホームにおいて、消費者から植栽業者による草刈作業中にガス管を損傷した旨の連絡があり、到着した販売事業者が損傷箇所の1次側バルブを閉止し漏えいを閉止した。 原因は、草刈作業中に草刈機の刃で埋設ガス配管立ち上がり部を損傷させたことによるもの。
137	9/3	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	需要家から「屋外でガス臭気あり、消防が出動中」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事中、掘削機（バックホウ）にて敷地内の灯外内管を破損したものの。
138	9/9	香川県	水道改修工事	LPガス（簡易）	0	水道工事業者による鉛管の取替工事時、重機による掘削作業中に、供給管を破損したことによりガスが漏洩し、その後漏洩したガスに着火した。 水道工事業者の通報により消防が出動し、消防からの指示により製造所のメインバルブを閉止したため、供給先全てが供給停止となったもの。 原因は、水道工事業者がガス管を確認しないで工事を行ったため。
139	9/10	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物基礎の解体作業中にガスが噴出した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が基礎を解体する作業の際、灯外内管を重機にて損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、当該敷地内にガスメーターが設置されていなかったことから、当該建物の基礎を解体する作業範囲内にガス管があるとは思わなかったため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
140	9/11	東京都	解体工事	都市ガス	0	ビル管理者から「当該住所付近にてガス臭気がある」との通報を受け、出勤したところ、解体工事業者が建物解体の際、灯外内管を重機にて損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該建物内にガスは通じていないものと認識したため、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したものの。
141	9/13	大阪府	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「付近住民からガス管が破損され、噴出音があり、臭気もあるとの通報あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、駐車場の増改築工事に伴い、電動ハンマーで研り中に、灯外内管の管体を破損したものの。
142	9/14	長野県	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出勤し、容器バルブを閉止した。 原因は、水道工事業者である消費者が水道管修理のため、敷地内のコンクリートを掘削した際、誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
143	9/20	奈良県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、門柱解体工事中、バックホウで灯外内管を破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
144	9/20	福岡県	リフォーム工事	都市ガス	0	電化住宅で浴室リフォーム業者が、閉栓中の灯外内管を電動工具（サンダー）で切断した際に火花が漏えいたガスに引火した。 原因は、当該住宅が電化のため、リフォーム業者は、ガス管があってもガスが供給されていないと判断し、ガス事業者への照会無しで施工したため着火事故となったもの。
145	9/20	兵庫県	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「防護柵設置工事中にカッターでガス管を破損した。ガス管はコンクリートに埋まっているため手当できない。臭気あり」との通報を受け、出動したところ、支管の破損を確認した。 原因は、転落防止柵設置工事における、コンクリートコア抜きカッターにより支管を破損したものの。
146	9/24	群馬県	解体業者	LPガス	0	一般住宅の空き家において、解体工事業者の作業中に外壁に設置されていたエアコンの室外機が作業の振動により配管上に落下し、ガスメーター立ち上がり部の配管継手を損傷させ、漏えいが発生した。
147	9/25	佐賀県	他工事業者	LPガス	1	飲食店において、他工事業者より建物改修中に爆発が発生し、当該作業員1名が軽傷を負った。 原因は、他工事業者が作業中、誤って電動工具により露出配管を切断したことで、ガスが漏えいたもの。 なお、消費者及び他工事業者より販売事業者への事前照会は無かったとのこと。
148	9/26	東京都	解体工事	都市ガス	0	需要家から「道路上でガスのような臭いがする」との通報を受け、出動したところ、灯外内管及び供給管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が整地作業の際に、敷地内に埋設されていた灯外内管を重機で引っ掛け、灯外内管及び供給管を損傷したものの。 ガス事業者は解体工事業者の元請け会社より、建物の解体に伴うガス管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガス管切断作業を実施した。その際に切断箇所の位置及び同敷地内には当該集合住宅へのガス管が埋設されていることの周知を行った。 なお、解体工事業者によると、当該集合住宅へのガスの通じているガス管が埋設されていることの作業員への引継ぎが適切にされていないことから、作業範囲内にガスの通じているガス管はないと思い、ガス事業者にガス管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
149	9/26	東京都	解体工事	都市ガス	0	需要家から「道路上でガス臭い」との通報を受け、出動したところ、灯外内管が損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が当該建物を解体する作業の際、灯外内管を重機にて損傷したものの。 なお、解体工事業者によると、元請け業者より当該建物はオール電化であったこと、また、敷地内に配管されていたガス管にはガスが通っていないことを聞いていたため、既に切断されているガス管と思い込み、ガス事業者に事前照会を行うことなく作業した結果、重機にてガス管を損傷したとのこと。
150	9/27	北海道	解体工事	LPガス（簡易）	0	他工事会社から「解体工事中、建物内で折損し着火し、既に消し止め火災はないが、至急来て欲しい」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の損傷及び着火を確認した。 原因は、他工事会社がセイバーソーにより、灯外内管を切断したため着火したものの。
151	9/30	兵庫県	その他（水路転落防止工事）	都市ガス	0	水路工事業者から「フェンス設置工事時、コア抜き作業中にガス管を破損」との通報を受け、出動したところ、支管の破損を確認した。 原因は、水路転落防止工事に伴うコア抜きにより、支管を破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
152	10/1	大阪府	現場解体業者	LPガス	0	一般住宅において、現場解体業者より埋設配管を損傷させた旨の連絡を受け、販売事業者が到着し、埋設配管の損傷を確認した。 原因は、現場解体業者がLPガス配管を認識していなかったため、油圧ショベルにより誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、現場解体業者は付近に埋設されている都市ガス業者に連絡を行い、到着した都市ガス業者により当該LPガス配管の処置済みであったとのこと。
153	10/1	福岡県	他工事業者	LPガス	0	道路において、他工事業者が信号機柱取替のための掘削作業中に重機で埋設供給管（ポリエチレン管）を損傷させガスが漏えいした。 なお、他工事業者は販売事業者と事前協議を行ったものの、埋設管の位置確認に縮小図を使用したため、当該埋設供給管を見落としていたとのこと。
154	10/1	大阪府	電柱設置工事	都市ガス	0	電話工事業者から「電柱工事時、オーガーにて破損。土砂埋め戻している。臭気あり」との通報を受け、出動したところ、支管の損傷を確認した。 原因は、電話工事に伴う電柱設置工事時、アースオーガーにて誤って支管を破損したものの。
155	10/5	大阪府	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	建設（新築）工事業者から「地盤改良工事時に伴う杭打ち作業中に、ガス管を破損。粘土にて手当中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、地盤改良作業時に、アースオーガーにて誤って灯外内管を破損したものの。
156	10/7	東京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	舗装工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、低圧供給管からガスが漏えいしていたことが判明した。 原因は、舗装工事業者がカッターにて作業したところ、供給管が浅く埋設されていたため損傷したものの。
157	10/8	和歌山県	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防から「屋外で臭気あり」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の管体破損を確認した。 原因は、増改築工事業者が、工事支障のため、灯外内管の管体を、都市ガスのガス管では無いと誤認し、のこぎりで切断したものの。
158	10/9	長崎県	他工事業者	LPガス	0	飲食店において、集中監視システムより微少漏えい警告を受信した販売事業者が現場に出動したところ、未使用の末端ガス栓（可とう管ガス栓）からの漏えいを確認し、閉栓作業を行った。 原因は、当該飲食店が8月より営業を休止し、9月に他工事業者に燃焼器の撤去を依頼した。他工事業者が撤去作業を行った際、末端ガス栓にプラグ止めを行わずかつ開放したまま作業を終了したことにより、ガスが漏えいしたものの。 なお、消費者は販売事業者に閉栓依頼及びガス機器の撤去作業の連絡をしていなかった。 （バルク貯槽 498kg×1基）
159	10/13	三重県	解体工事	LPガス（簡易）	0	需要家から通報があり、特定製造所を確認した所、ガス切れによる供給支障が発生していた。 原因は、一般住宅の建屋の解体をするための足場を組立てる際に、単管パイプを地面に打込み、灯外内管を損傷させたことにより土中にガスが漏洩し、特定製造所がガス切れとなったものの。
160	10/14	福岡県	他工事業者	LPガス	0	病院において、他工事業者がポストの入れ替え工事のため掘削作業を行ったところ、埋設配管を損傷しガスが漏えいした。 なお、他工事業者は工事前に配管があることを確認していなかった。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
161	10/16	東京都	外構・門扉工事	都市ガス	0	建設工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、建設工事業者からの依頼を受けた下請け業者が、建物1階へのフェンス設置工事に伴うコンクリートコア抜き作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの、下請け業者により当該建物の引込管ガス遮断バルブが閉止されたことで、当該建物内需要家33戸への供給支障が発生した。 また、建設工事業者によると、下請け業者は、当該建物の引込管ガス遮断バルブの位置を予め確認した際に、作業（コア抜き）箇所よりも深い位置にバルブが見受けられたことから、バルブと同じ深さにガス管が埋設されていると思い込み、ガス事業者によるガス管位置確認の照会を行うことなく作業した結果、コア抜き用ダイヤモンドカッターにてガス管を損傷したとのこと。
162	10/16	兵庫県	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事業者から「敷地内で掘削中、ガス管が露出したが、施工より残置管と言われたため、サンダーでガス管を切断したところ火が出た。土を被せたが現在も火が出ている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損・着火を確認した。 原因は、施工情報により残置管と勘違いし、灯外内管（不使用管）をサンダーにて切断したことにより着火に至ったもの。
163	10/17	大阪府	解体工事	都市ガス	0	消防から「通行人より道路でガス臭い。消防出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部の破損を確認した。 原因は、解体工事中、掘削機（バックホー）にて灯外内管（不使用管）を誤って破損したものの。
164	10/18	広島県	解体工事	都市ガス	0	消防から「建物火災」との通報を受け、出動したところ、建物解体中に灯外内管を損傷し、漏えいしたガスに着火した。 原因は、重機で灯外内管を損傷し、建物の鉄骨をアセチレンバーナーにて切断中に漏えいしたガスに着火したものと推定される。
165	10/20	神奈川県	解体業者	LPガス	0	一般住宅において、解体業者からガス配管を破損した旨販売事業者に連絡があり、現地を確認したところ供給側の埋設配管の破損を確認した。 原因は、解体業者の注意不足によるもの。 なお、解体前、販売事業者はガス注意の旨の杭を打ったが、配管経路等の打ち合わせがなく解体する建物のすぐ横を通る埋設管のことは知らなかったとのこと。
166	10/21	石川県	衛生工事	都市ガス	0	他工事業者から「ガス管を損傷」との通報を受け、出動したところ、当該建物の排水管の老朽管修繕工事において、コンクリートカッターで灯外内管を損傷したことを確認した。 保安確保のため、引込管遮断バルブを閉止したため、34戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者がガス管の埋設位置を確認せずにカッターを入れたため。
167	10/22	東京都	その他（不明）	都市ガス	0	圧力監視システムから「圧力異常警報」を受け、出動したところ、差水による供給支障であることが判明した。 原因は、過去に低圧本管が他工事により損傷され、その損傷部分より地下水が流入したことにより、低圧本管を閉塞したため供給支障となったもの。
168	10/23	東京都	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が、建物1階の水道工事に伴うコンクリート掘り作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの。 なお、損傷箇所の修理のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家38戸への供給支障が発生した。 また、設備工事業者によると、敷地内にガス管が埋設されていることは認識していたものの、カッター長さより深い位置に埋設されていると思い込み、ガス事業者によるガス管位置の確認の照会を行うことなくコンクリートを切断した結果、大型カッターにてガス管を損傷したとのこと。

2019年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
169	10/23	東京都	設備工事	都市ガス	0	設備工事業者から「ガスパ管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、設備工事業者が、建物1階の排水工事に伴うコンクリート研り作業中、コンクリート下に埋設されていた灯外内管を損傷したものの。 なお、損傷箇所の修理のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家43戸への供給支障が発生した。 また、設備工事業者によると、作業範囲内にガスパ管はないと思い込み、ガス業者にガスパ管位置の確認の照会を行うことなくコンクリートの研り作業をした結果、コンクリートブレーカーにてガスパ管を損傷したとのこと。
170	10/23	東京都	整地・造成工事	都市ガス	0	造成工事業者から「ガスパ管を損傷した」との通報を受け、出動したところ、供給管及び灯外内管の損傷を確認した。 原因は造成工事業者が、基礎コンクリート打設に伴う掘削作業中に、灯外内管を重機で引っ掛け、灯外内管及び供給管を損傷したものの。 ガス事業者は造成工事業者より、ガスパ管切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガスパ管切断作業を実施した。その際には、切断箇所の位置の周知を行った。 なお、造成工事業者によると、ガスの通じているガスパ管が埋設されていることの引継ぎが適切になされていなかったことから、作業範囲内にガスパ管があることは認識していたにもかかわらず、当該ガスパ管が道路上で切断されていると思い込み、ガス業者にガスパ管の有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、重機にてガスパ管を損傷したとのこと。
171	10/24	神奈川県	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、隣接する道路の掘削工事を行っていた水道工事業者から埋設配管を損傷させた旨販売業者に連絡があり、販売事業者は火気を使用しないよう指示し出動した。販売事業者が現地を確認したところ、損傷部分には応急措置がされておりガスの漏えいがないことを確認した。 原因は、水道工事業者が当該埋設配管真上に標識シートが無かったため当該部分の掘削工事を行い配管を損傷させたものの。
172	10/25	滋賀県	土木舗装工事業者	LPガス	0	空き地において、土木舗装工事業者より埋設管を損傷させ、ガスが漏えいしている旨の連絡を別の都市ガス業者が受けガス止めの応急措置を実施し、その後都市ガス業者から連絡を受けた販売事業者が到着し、ガス漏えいがないことを確認した。 原因は、土木舗装工事業者が空き地を整地中に重機により誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。
173	10/25	大阪府	基礎工事	都市ガス	0	建設（新築）工事業者から「新築基礎工事中、建設機械にてガスパ管を破損した」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、誤ってバックホー（掘削機）にて灯外内管（不使用管）を破損したものの。
174	10/28	東京都	リフォーム業者	LPガス	0	介護施設において、リフォーム業者より室内パーテーション作業のためビス止めを行っていたところ、誤って床下の配管に穴を開けてしまい、ガスが漏えいしたため、直ちにリフォーム業者により閉栓された。 原因は、リフォーム業者が配管の位置を確認しないまま作業を行ったことによるもの。
175	10/28	愛知県	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者から「ガスパ管を損傷し、着火した」との通報を受け、出動したところ、集合住宅敷地内の地盤沈下改修工事にて、コンクリート研り作業中に灯外内管を損傷し、漏洩したガスの着火を確認した。 保安確保のため、引込管遮断バルブを閉止したため、89戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者が、工事範囲にガスパ管がないと思い込み研り作業を行ったため灯外内管を損傷したものの。

2019年の建設工事等におけるガス管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
176	10/29	福岡県	建物改修・改装工事	LPガス(簡易)	0	消防から「ガス管を引っかけ引火、空家の壁が燃焼している」との通報を受け、出動したところ、外壁等の一部を焼損した。二次災害防止のため、特定製造所からのガス供給停止により、300戸の保安閉栓を実施した。 原因は、リフォーム業者が、販売目的のため当該建物のリフォーム中、露出立管部を活管であるか否かの確認をせずにサンダーにて切断。切断したガス管より漏えいしたガスに切断時の火花で着火したもの。
177	11/1	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体作業中に敷地内のガス管をユンボにて破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の継手部の破損を確認した。 原因は、掘削機(バックホー)にて灯外内管(不使用管)を破損したもの。
178	11/3	大阪府	解体業者	LPガス	0	一般住宅において、周辺住民からガス臭がする旨の連絡を受け、到着した販売事業者がガスを閉止した。 原因は、解体業者が掘削作業中に埋設供給管を損傷させたものと推定される。 なお、解体業者は工事前に販売事業者と打ち合わせを行わず埋設供給管の位置等を確認せずに作業を行ったとのこと。
179	11/3	大阪府	電気工事	都市ガス	0	電気工事業者から「道路掘削中にシューと音がしてガス臭い。消防も出動中」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の管体部の破損を確認した。 原因は、敷地内ポール設置工事時、ボーリングバーにて掘削中、灯外内管を破損したものと推定される。
180	11/4	鳥取県	改修業者	LPガス	0	スーパーマーケットにおいて、改修業者による土間コンクリート撤去作業中に埋設配管を損傷させ、コンクリートカッターの火花が漏えいしたガスに引火した。 原因は、スーパーマーケットの担当者が埋設配管は無いものと思い込み、改修業者にコンクリート撤去作業を指示していたことによる。 (バルク貯槽 498kg×1基)
181	11/6	兵庫県	電柱設置工事	都市ガス	0	協力企業から「電柱工事中、アースオーガーにてガス管を破損。手当てできずガス噴出中」との通報を受け、出動したところ、支管の破損を確認した。 原因は、電気通信電柱の建替え工事時、ガス管理設置位置を誤認し、アースオーガーにて支管(直管部)を破損したもの。
182	11/7	埼玉県	水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、水道工事業者より埋設ガス配管を損傷させた旨の連絡があり、到着した販売事業者が損傷箇所を確認した。 原因は、水道工事業者が水道配水管の入れ替えを行う際に、表層のコンクリートを切断中に誤って埋設配管を損傷させたことによるもの。 なお、漏えいはガスメーターにより遮断されていたとのこと。
183	11/8	群馬県	防草シート施工業者	LPガス	0	一般住宅において、消費者からガスが出ない旨の連絡を受け、販売事業者が現地を確認したところ、配管埋設部に防草シート固定用杭が打ち込まれており、当該箇所からの漏えいを確認した。 原因は、防草シート施工業者が配管埋設部に固定用杭を打ち込んだことによるもの。
184	11/11	埼玉県	整地・造成工事	都市ガス	0	付近住民から「マンション建設予定地付近でガス臭い」との通報を受け、出動したところ、マンション建設予定地の敷地境において灯外内管が損傷し、ガス漏洩していることを確認した。 原因は、マンション建設予定地での整地工事において、敷地境界付近に埋設されていた灯外内管(不使用管)を確認せずに作業を行ったため、気づかず建設機械によりガス管を損傷したもの。

2019年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
185	11/13	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「ガスパを損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、解体工事業者が、敷地内の基礎解体に伴うコンクリート研り作業中に、コンクリート内に埋設されていた灯外内管を損傷したものの。 なお、損傷箇所修復のために当該建物の引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該建物内需要家34戸への供給支障が発生した。 また、解体工事業者は、元請けの建設工事業者より提供された図面にガスパの記載がないことを確認したことから、当該敷地内の基礎解体に伴うコンクリート研り作業範囲内にはガスパはないと思い、ガス事業者にガスパの有無及び位置確認の照会を行うことなく作業した結果、電動工具にてガスパを損傷したとのこと。
186	11/14	鳥取県	その他 (転出作業)	都市ガス	0	転出作業中の建物において、都市ガスの閉栓を行わないまま、他工事業者が厨房内のガス機器及び灯内内管の撤去を行い、取り外した接続ネジ部より漏えいしたものの。
187	11/15	福岡県	下水道工事業者	LPガス	0	一般住宅において、下水道工事業者より埋設配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者はガス供給設備のバルブへ閉止するよう指示した。現場に到着した販売事業者は埋設配管の損傷を確認し、設備業者による修復工事が完了した。 原因は、下水道工事業者が土砂流入を防ぐ遮蔽板を打ち込んだ際に、深く入り過ぎたため埋設配管を損傷したものの。 なお、販売事業者は事前に下水道工事業者と協議を行っていたが、施工ミスにより事故が発生したとのこと。
188	11/15	大阪府	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「工事時、ガスパを破損。臭気等不明」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、建築工事中、バックホウによる掘削作業の際に、灯外内管（不使用管）を破損したものの。
189	11/20	大阪府	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	建築工事業者から「側溝工事中、カッター切りにてガスパを破損。臭気、噴出有り」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、側溝改修工事に舗装カッター切りを行い、灯外内管を破損したものと推定される。
190	11/22	大阪府	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	消防から「更地で何らかの工事中に敷地内のガスパを破損した模様」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、新築工事に伴う地盤改良工事中、ドリルにて灯外内管（不使用管）を破損したものの。
191	11/22	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事時、ガスパを破損するも手当てできず。土で埋めている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事時にバックホウにて灯外内管（不明管）を誤って破損したものの。
192	11/23	大分県	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者から「ボーリング作業のドリルがガスパに接触、破損し、ガス臭がしている」との通報を受け、出勤したところ、中圧・灯外内管及び低圧・灯外内管の破損と判明した。 保安確保のため、中圧・引込管遮断バルブを閉止し、52戸を供給停止した。 原因は、当初の計画とは異なる位置においてボーリング作業を行ったため、ガスパを破損したものの。計画変更後の照会は無かった。
193	11/25	兵庫県	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中、ガスパを破損。土を被せている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、解体工事時に、バックホウにて灯外内管（不使用管）を誤って破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガスパ損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
194	11/29	千葉県	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	協力企業から「敷地内にて地盤改良工事を行っていた建設工事業者よりガスパ損傷の報告」との通報を受け、出動したところ、埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、地盤改良のため敷地内を重機で穴をあけていた際、埋設されていた灯外内管30mmを損傷したものの。 ガス事業者は、当該敷地内へのガスパ敷設時において、ガスの通じた配管の位置についての周知を行い、また、末端部には表示杭の設置を行った。 なお、建設工事業者によると、当該敷地内にガスの通じているガスパが埋設されていることの引継ぎが適切にされていなかったことから、地盤改良工事に伴う当該敷地への穴あけ作業時において、重機によりガスパを損傷したとのこと。
195	12/1	滋賀県	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「新築工事中、掘削機でガスパに穴をあけた。土を被せている」との通報を受け、出動したところ、灯外内管の破損を確認した。 原因は、バックホウにて掘削中、誤って灯外内管（不使用管）を破損したものの。
196	12/3	鹿児島県	他販売事業者	LPガス	0	共同住宅において、他のガス会社が配管ルート確認のため試削中に埋設配管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 原因は、販売事業者に配管ルートを確認することなく試削を行ったことによるもの。
197	12/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「建物解体現場にてガスパを損傷させた」との通報を受け、出動したところ、敷地内に埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、建物解体作業中に、灯外内管を重機にて損傷したものの。 ガス事業者は、解体工事業者より建物の解体に伴いガスパ切断作業の依頼を受け、敷地境界近傍でのガスパ切断作業を行うと共に、切断位置について周知を行った。 なお、解体工事業者によると、敷地内にガスの通じているガスパが埋設されていることは認識していたものの、建物解体に伴う掘削作業中に重機にてガスパを損傷したとのこと。
198	12/6	滋賀県	解体業者	LPガス	0	解体予定の一般住宅において、解体業者が植栽の撤去作業中、埋設配管を損傷したものの。 原因は、解体業者が植栽の撤去作業中に埋設配管ねじ部を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者は消費者から家屋解体の予定を聞いていたが、具体的な作業日までは確認ができていなかったとのこと。
199	12/9	東京都	建物建築工事	都市ガス	0	建築工事業者から「掘削中にガス臭気がある」との通報を受け、出動したところ、低圧支管の接続部が破断し、ガスが漏えいしていることが判明した。 原因は、建築現場に埋設されていた支管を重機にて損傷し、支管を引っ掛けた際に、道路上の支管の接続部が破断したものの。
200	12/10	兵庫県	水道工事	都市ガス	0	消防から「水道工事業者が工事中にガスパを破損し破損箇所を指で押さえている」との通報を受け、出動したところ、供給管の破損を確認した。 原因は、住宅のリフォームに伴う水道引き込み管工事に際し、コンクリート破り作業時に電動ブレーカーにて供給管の管体部を誤って破損したものの。
201	12/11	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「家屋解体中、バックホウ（掘削機）にてガスパ破損」との通報を受け、出動したところ、灯外内管のねじ継手部の破損を確認した。 原因は、家屋解体中、灯外内管をバックホウ（掘削機）にて破損したものの。

2019年の建設工事等におけるガスパ管損傷事故

No.	発生日	都道府県	工事	ガス種	人的被害	事故概要
202	12/11	東京都	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	建設工事業者から「地盤調査ボーリングの作業時にガスが噴出した」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管を損傷したことを確認した。 原因は、ボーリング作業を重機にて行っていた際、灯外内管を損傷したものの、 なお、損傷箇所修復のために引込管ガス遮断バルブを閉止したことにより、当該敷地内の建物内62戸への供給支障が発生した。 また、建設工事業者によると、当該建物の施設管理者よりガス及び電気等の配管ルートが記載された敷地内図面を提供され確認していたものの、当該敷地内のボーリング作業範囲内と図面に記載されたガス管ルート位置を見誤ったことで、重機によりガス管を損傷したとのこと。
203	12/14	熊本県	設備業者	LPガス	0	老人福祉センターにおいて、排水管工事を行っていた設備業者よりガス管を切断した旨の連絡があり、到着した販売事業者は配管の損傷及びガスメーターによるガスの遮断を確認した。 原因は、設備業者が誤って配管を切断したことによる。 なお、設備業者から販売事業者に対して立会いの依頼の連絡はなかった。
204	12/16	神奈川県	リフォーム業者	LPガス	0	一般住宅において、外壁のリフォーム業者から給湯器付近の配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者はガス栓の閉止を指示し現場に出勤した。到着した販売事業者は損傷箇所を修繕し、気密試験、漏えい検査を実施した。 原因は、リフォーム業者が外壁を解体している際に隠れ部の配管用フレキ管に気づかず損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者は事前に連絡を受けていなかったとのこと。
205	12/16	広島県	下水道工事業者	LPガス	0	小学校において、下水道工事業者から埋設配管を損傷した旨の連絡があり、販売事業者が現地を確認したところ埋設配管とガスの漏えいを確認した。 原因は、下水道工事業者が掘削作業中に使用中の埋設配管を損傷したことによるもの。 なお、下水道工事業者は工事前に販売事業者と打ち合わせを行っていたが、下水道工事業者が使用されていない配管を供給されている配管と思い込み作業を行っていたところ、別の供給されている埋設配管を損傷させたとのこと。
206	12/16	埼玉県	その他(雨水管撤去工事)	都市ガス	2	区画整理工事業者から「雨水管撤去工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤した。また現場到着前に着火したとの連絡を受けた。 現場到着後、掘削機にて低圧支管が損傷された後、ガス漏えい箇所付近で電動ピックを使用したため着火し、作業員2名の負傷を確認した。 原因は、区画整理工事業者は事前協議でガス管近傍は手掘りによる先掘りを行うように指示を受けたが、実際には先掘りを行わず機械掘削で行ったため低圧支管を損傷したものの。



敷地内の工事に携わるみなさまへ

ガス管損傷事故を防ぐための 3つのポイント

工事の前にガス管の位置をしっかり確認。
 作業員全員で情報共有し、ガス管損傷事故を防ぎましょう。

Point 1

工事前にまず確認!

工事前にガス管位置やガスが通じていないことを確認。ガス管付近は特に慎重に手掘り等で作業する。



Point 2

不明な場合は ガス事業者へ連絡!

ガス管の位置や深さが不明な場合やガス管の撤去・移設工事が必要な場合。その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



Point 3

情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、図面などで作業員全員で情報を共有する。



ガスの事故がなくなるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。



ガスの安全

検索

<http://www.meti.go.jp/>

 経済産業省
 Ministry of Economy, Trade and Industry

お問い合わせは

敷地内で工事を行う際は、 ガス管の確認を!



工事の前に
ガス管の確認、
忘れてませんか?

必ず
確認!





ガスの
あんしん
合い言葉

ちょっと待て! そのすぐ下には ガス管が!?

建物の改築・解体・給排水
工事などをはじめる前に
ガス管の位置確認を!

《工事の前に》

ガス管の位置やガスが通じていないことを
必ず確認してください。

《ガス管近傍で工事を行う場合》

あくまでも慎重に作業を進めてください。

《不明な点は》

ガス事業者にご相談ください。

《ガス臭いと感じた時》

火気や電動工具の使用を避け、
すぐにガス事業者に連絡してください。



工事の前に
ガス管の確認、
忘れてませんか?



敷地内他工事におけるガス管損傷事故を防ぐために、ご協力をお願いします。

ガスパイプ調査窓口検索

ガスパイプの位置が不明な場合、日本ガス協会にアクセスし、以下の手順で各地域のガス会社の「ガスパイプ調査窓口」が確認できます。

スマートフォンやパソコンから →

日本ガス協会

検索

<https://www.gas.or.jp/gas-pipe/>



step 1

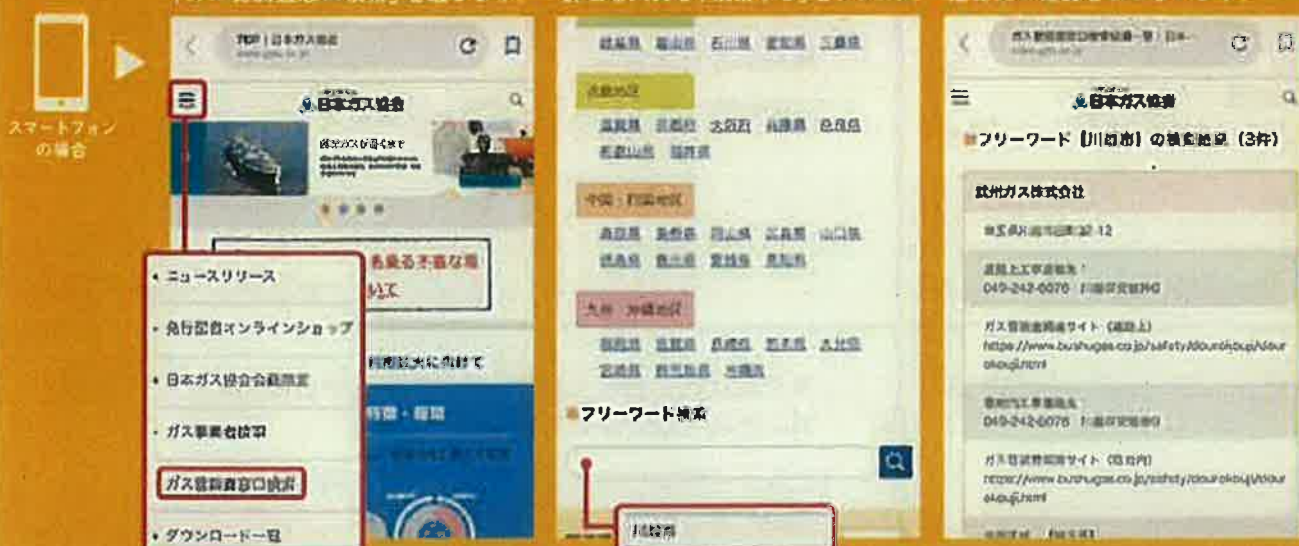
左上のメニューボタンから「ガスパイプ調査窓口検索」を選びます。

step 2

検索したい都道府県または市名、郡名を入力し「検索する」をクリック。

step 3

検索結果一覧からガス会社の連絡先の確認をおこないます。



万一、ガスパイプを
損傷して
しまったら…

- 1 落ち着いて、すぐにガス会社まで連絡する。
- 2 窓やドアを開けて換気をする。(換気扇は使用しない)
- 3 火気や電動工具は使用しない。
※コンクリートカッター・はつり作業、配管切断作業で発生する火花も着火源となります。
- 4 周囲へ周知、状況に応じて避難と避難誘導をする。
- 5 可能な場合はガスの噴出を止める。

ガス漏れ時の緊急連絡先

— 掘削、解体・撤去、増改築・改装工事をされる皆様へ —

ガスパイプ損傷による事故を起こすと、

ケガ・火傷

のほか、

火災・爆発

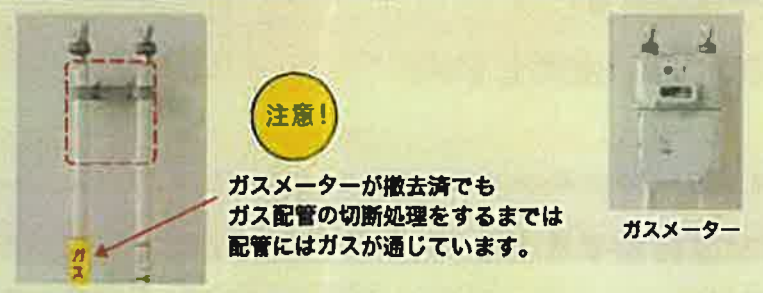
など近隣住民への迷惑、加えて

工事停止 損害賠償 労働災害

に発展し、

会社に損失が生じることになります。

必ずやろう>>> 安全確認基本チェックシート

	掘削 工事をする方へ 道路・敷地内を掘削（はつり・カッター含む）・杭打ち・整地など	解体・撤去 工事をする方へ 建物や構造物を取り壊す	増改築・改装 工事をする方へ 既設建物や設備の改修
工事前確認	道路 ☐ 道路を工事する際はガス会社※へ連絡・協議しましょう 敷地内 ☐ ガス管の図面は持っていますか？ ☐ 工事範囲にガス管がないか確認しましょう ☐ 「ガス管の位置・深さ」はわかりますか？ ☐ 「ガスが通じているか」わかりますか？ ☐ ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう ☐ 不明な点はガス会社※へ確認しましょう ※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照	☐ 解体建物のガス管にガスが通じていないことを確認しましょう ☐ ガスが通じている場合、ガス会社へ切断処理を依頼しましょう ☐ 解体建物に別の建物のガス管が通っていないか確認しましょう（例：解体するA棟の中に、B棟のガス管がある場合など） ☐ ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう ☐ 不明な点はガス会社※へ確認しましょう ※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照	☐ ガス配管の図面は持っていますか？ ☐ 工事範囲にガス管がないか確認しましょう ☐ 「ガス管の位置」はわかりますか？ ☐ 「ガスが通じているか」わかりますか？ ☐ ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう ☐ 不明な点はガス会社※へ確認しましょう ※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照
工事時確認（現場確認）	☐ ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう ☐ 工事場所付近にガス管の標示※がある場合、付近にガス管があるため注意して作業しましょう ☐ 工事場所付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に手掘りで行いましょう ※【埋設ガス管の標示例】  標示杭 標示ピン 標示シール 注意！ 埋設ガス管にはポリエチレン管が多く使われています。材質がポリエチレンというプラスチックのガス管で、衝撃が加わると破損してしまいますので、十分ご注意ください。	☐ ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう ☐ 作業対象にガスメーターが設置されている場合、ガス管の切断処理をガス会社へ依頼しましょう  注意！ ガスメーターが撤去済みでもガス配管の切断処理をするまでは配管にはガスが通じています。 ガスメーター	☐ ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう ☐ これから作業する配管が目的の配管で間違いないか確認しましょう ☐ はつり・穴あけ・壊し作業付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に作業しましょう 【露出ガス管の標示例】  ガス管標示シール 【ガス管損傷の例】  コンクリート内のガス管をドリルにより損傷した例
事故事例	下水工事のカッター作業中にガス管を損傷。漏えいしたガスを止めようと、周りのコンクリートをはつった際の火花で着火。作業員1名が顔面と両腕に火傷を負いました。 	建物解体工事中に、水道管とガス管を損傷し、水道管から噴出した水がガス管に入り、周辺の約150戸のガスがストップ。事故を起こした工事会社は多額の損害賠償を請求されました。 	改修工事に伴う排水管工事の際、設備図面の十分な確認をせず排水管と思い込み、ガスが通じているガス管に穴をあけ、電動工具の火花で着火。作業員1名が火傷を負いました。 

ガス管損傷事故 防止のため、 **工事の安全 チェック**

毎日、工事の前にしっかりチェック！
 作業員全員で情報共有して、ガス管破損事故を防ぎましょう。

〈チェック項目〉



工事前に必ず確認！

- ☒ 図面などで工事前にガス管の位置を確認。
- ☒ ガス管のガスが、どこまで通じているか確認。
- ☒ ガス管付近では手掘り作業をするなど、作業のポイントを確認。



不明な点はガス事業者へ確認！

- ☒ ガス管の位置や深さが不明な場合。
 - ☒ ガス管の撤去・移設工事が必要な場合。
 - ☒ ガス管にガスが通じているか不明な場合。
 - ☒ 協議になかった管が出てきた場合。
- ※その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



工事はあくまでも慎重に！

- ☒ 工事は、ガス管の位置や深さを再度確認してから。
- ☒ ガス管の近くでは、重機を使用せず、手掘りにて慎重に作業を。



作業員全員で情報共有を！

- ☒ ガス管の位置情報や、ガス管近くでの手掘り等作業のポイントを必ず作業員全員で情報共有をお願いします。



ガスの事故がなくなるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

ガスの安全見直し隊

ガスの安全

検索

<http://www.meti.go.jp/>



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry